これ盗んでください

自民党と統一教会の双方から、完全かつ全面的に承認された楽曲集
これらは公開上演が承認されています

Please Steal This

A Collection of Music Fully Endorsed and Approved by both the LDP and the Unification Church for Public Performance.

自民党・統一教会 共同審査参照枠 (LDP/UC Joint Review Ref):
2743F|C74E475|CD75AE2756|B|796473664|CF|7BE353|2A8965E7D6CAA|8AA
AE8023A8FF78460C08824F492AAECE22AC2E7E5AEA06B830D|8ED47CFF7237BD

PLEASE STEAL THIS / これ盗んでください

Compiled, Localized, and Arranged by The Hachinoko Hustler

（蜂の子ハスラーによって編纂、翻訳、そして適当にアレンジされました）

COPYRIGHT, CREATIVE COMMONS & A CONFESSION

著作権、クリエイティブ・コモンズ、そして自白に関する表記

This document, including all localized Japanese lyrics, cultural annotations, and heavily modified chord arrangements, is released into the wild under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0).

本書に含まれる日本語のローカライズ歌詞、文化的な解説、および適当に改変されたコード譜は、クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンス（CC BY-NC-SA 4.0）の下で野に放たれています。

What this means in plain English (and plain Japanese):

（要するにどういうことか：）

1. SHARE IT / 共有自由（盗み推奨）

Take it. Copy it. Play these translated lyrics in a neon-lit dive bar, a park, or a protest. It’s yours now.

持って行け。コピーしろ。ネオンが光る薄暗いバーでも、公園でも、デモの最中でも自由に歌え。これはもうお前のものだ。

2. DON’T CHARGE FOR IT / 非営利（金儲け禁止）

Do not put this book behind a paywall. Do not sell it. This is a labor of love, sweat, and cheap alcohol. The original songs belong to the legends who wrote them, and also to The Eagles, who are a crock of boomer shit. These localized lyrics belong to the sewer rats.

この本を有料の壁の向こうに置くな。絶対に売るな。これは愛と汗と安い酒の結晶だ。オリジナルの楽曲はそれを作った伝説的なアーティストたちのものであり、そしてクソみたいな老害バンドであるイーグルスのものだ。この日本語訳はドブネズミたちのものだ。

3. GIVE CREDIT / 氏名表示（責任の所在）

If someone asks where you got these deranged translations, tell them The Hachinoko Hustler sent you.

このイカれた翻訳をどこで手に入れたか聞かれたら、「蜂の子ハスラーに教わった」と言え。

4. KEEP IT OUTLAW / 継承と改変

If you alter, remix, or build upon these translations, you must distribute your new creations under this exact same free, non-commercial license. And honestly, you *should* remix this, because I am a terrible guitar player. A lot of these chords have been brutally simplified, transposed into keys I can play, or heavily modified so I could actually play them without my hands hurting. If you are better at the guitar than I am (and you probably are), please feel free to change them back to their proper voicings.

これらの翻訳を変更、リミックス、または基にして新しい作品を作る場合、お前も全く同じ無料かつ非営利のライセンスの下で配布しなければならない。そして正直なところ、お前はこれをリミックスすべきだ。なぜなら俺はギターがクソ下手だからだ。ここに書かれているコードの多くは、残酷なまでに簡略化され、俺が弾けるキーに移調され、あるいは俺の手が痛くならないように強引に改変されている。もしお前が俺よりギターが上手いなら（多分そうだろうが）、遠慮なく元の美しいコード進行に戻して弾いてくれ。

もし梶芽衣子様がこれをご覧になり、著者に会いたいと思われたなら、どうにかしてその旨を伝えてください。こちらから何とかして連絡をとる方法を見つけます。村重杏奈もいいよ。

まず、この表紙についてハッキリさせておきますわね。「自民党と統一教会から完全かつ全面的に承認された」なんて書いてありますけれど、当然ながら大嘘(おおうそ)なのだわ。でも、あんな腐(くさ)りきった権力者どもに芸術を許可したり禁止したりする力なんて最初からないのだから、承認されたも同然なんじゃないかしら。
ここに書かれている考えに、賛同(さんどう)できない部分もあるかもしれませんわね。それはそれで構(かま)わないのだわ。でも、心の底では同意していることでも、大声では言ってはいけないような氣がしてしまうんじゃないかしら。だったら、言葉にするのではなく、歌になさいな。芸術にしてしまうのですわ。何世紀も昔の人々が、幕府(ばくふ)をからかうために木版画(もくはんが)を使ったように、芸術は建前(たてまえ)という縛(しば)りから完全に自由なのですから。今の世の中は、本当にクソみたいな状況ですわね。でも、小倉百人一首(おぐらひゃくにんいっしゅ)の第32番で詠(よ)まれた紅葉(もみじ)のしがらみのように、一枚一枚の小さな葉っぱだって、束(たば)になって結束(けっそく)すれば、どんなものにだって立ち向かえるのだわ。
ページをめくれば、ファシスト国家や時代遅れの支配層(しはいそう)、そして私たちを押し潰(つぶ)そうとするシステムをぶっ壊(こわ)すための、過激(かげき)な歌がたくさん見つかるはずですわ。でも、それはお話の半分にすぎませんの。この本は、もっとマシな世界への切実(せつじつ)な憧(あこが)れでもあるのだわ。良い友人、よく冷えたお酒、素晴らしい物語、そしてこのクソみたいな現実を生き抜くために誰もが絶對に必要な、心の支えについての歌ですわね。
ここで一つ、大切な黃金律(おうごんりつ)を教えてあげますわ。他人の人生を無理やりコントロールしようとする連中でない限り、人は誰だって、人間らしい欲求と、欠点と、感情を持ったただの人間ですの。だから、人には優しくしなさいな。
でもね、政府はクソくらえなのだわ。教会もクソくらえ。家父長制(かふちょうせい)もクソくらえ。
そして、イーグルスもクソくらえですわね。
ザ・ブルーハーツが完璧に歌い上げたように……終わらない歌を歌おう、くそったれの世界のため。
ー 蜂の子ハスラー
－ The Hachinoko Hustler－

Fuck the Establishment 支配層はくたばれ 9

壁（The Wall, by Johnny Cash） 10

どうしても知りたいというなら（For What It’s Worth by Buffalo Springfield） 12

崩壊の前（Eve of Destruction by Barry McGuire） 14

いろな人（All Kinds of Kinds by Miranda Lambert） 16

日本の子供 （Kids in America by Kim Wilde） 19

ゾンビ（Zombie by The Cranberries） 22

参政党の馬鹿（American Idiot by Green Day） 24

哲也と言う人(The Hero of Canton by Ben Edlund） 27

外人なのに（Pretty Fly for a White Guy by The Offspring） 29

タダで働けよ！（Why Don’t You Get a Job by The Offspring） 33

サソリ（Mad Woman by Taylor Swift） 36

戦争の主（Masters of War by Bob Dylan） 39

右翼の女王（Viva La Vida by Coldplay） 40

高市さん（Mrs. Robinson by Simon and Garfunkel） 43

毎日（二〇五〇問題）（Everyday by Buddy Holly） 46

なぎら健壱（Buddy Holly by Weezer） 48

History: The Good, The Bad, and The Ugly 歴史: 良いことも、悪いことも、クソみたいなことも 51

小野田（Ira Hayes by Johnny Cash） 52

一人のオランダ人船員（One Tin Soldier by Coven） 56

諏訪之瀬島（If you’re going to San Francisco – by Scott McKenzie） 60

赤い天使 （Singin’ in Vietnam Talkin’ Blues by Johnny Cash） 62

馬にお茶よ！(Beer for my Horses by Toby Keith and Willie Nelson） 66

ボロ着物（Coat of Many Colors by Dolly Parton） 69

風亡霊武者（Ghost Riders in the Sky by Johnny Cash / Stan Jones） 71

武者だ（The Warrior by Scandal） 73

飛び加藤（Secret Agent Man by Johnny Rivers） 76

アナタハンの島（Hotel California by The Eagles）.....78
気楽にな（Take it Easy by The Eagles）.....81
朝から晩まで（9 to 5 by Dolly Parton）.....83
姉川　（The Battle of New Orleans by Johnny Horton）.....86
覚えとけ、高遠！（Remember the Alamo – Johnny Cash and Jane Bowers）.....89
「カズ」の残骸　（The Wreck of the Edmund Fitzgerald by Gordon Lightfoot）.....91
奴らを引き離せ（Come Out and Play by The Offspring）.....94
キッコーマン(2 become 1 by The Spice Girls）.....97
俺たちの火じゃねぇ（We Didn't Start the Fire - The Sengoku Cut）.....100
無事で（Safe and Sound by Taylor Swift and the Civil Wars）.....104
江戸の華（Like A Rock by Bob Seeger）.....106
Love, Loss, and Other Emotions 愛と別れ、そして揺れ動く想い.....109
変態野郎（Creep by Radiohead）.....110
降っている、日曜の朝が　（Sunday Morning Comin' Down by Johnny Cash）.....112
犯してくれ（Rape Me by Nirvana）.....115
火事の湖　（Lake of Fire by Nirvana / The Meat Puppets）.....117
ティーンエイジャーの魂のような匂い（It smells like Teen Spirit, by Nirvana）.....119
申し訳ない（All Apologies by Nirvana）.....122
リチウム（Lithium by Nirvana）.....123
クレイジー（Crazy by Patsy Cline / Willie Nelson）.....126
真夜中（I go out walking after midnight – by Patsy cline）.....127
リカ（Brandy [You're a Fine Girl] by Looking Glass）.....128
ハナの母（Stacy's Mom by Fountains of Wayne）.....131
オォリリ(Sweet Annie by Zak Brown Band）.....133
君へ,どこでも（For Emily, Wherever I May Find Her by Simon and Garfunkel）.....136
虹の終わりのキス（A Kiss at the End of the Rainbow by Mitch & Mickey）.....138

リコーのカメラ（Kodachrome by Paul Simon）.....140
耳かき（Light my Fire by The Doors）.....142
Beach Vibes 海と太陽、そんな氣 145
ここ大好き（I Love This Bar by Toby Keith）.....146
レモンサワー町（Margaritaville by Jimmy Buffet）.....148
神奈川女子(California Girls by The Beach Boys）.....151
牛頭流のなみ(God Only Knows by the Beach Boys）.....153
茅ヶ崎（Surf City by Jan and Dean）.....155
茅ヶ崎女子（California Gurls by Katy Perry ft. Snoop Dog）.....157
サザン　オールスターズ　（Mountain Music by Alabama）.....160
国府（Kokomo by The Beach Boys）.....163
足の指（Toes by Zac Brown Band）.....166
竜宮城（Catch a Wave by the Beach Boys）.....170
Riding the Rails 鉄路を行く 172
尼崎事件（The Wreck of the Old ’97 by Johnny Cash）.....173
山手線（I’ve Been Everywhere by Johnny Cash）.....175
車掌さん（Hey Porter by Johnny Cash）.....179
地下鉄の壁の詩（A Poem on the Underground Wall by Simon and Garfunkel）.....181
桜新幹線（The City of New Orleans by Willie Nelson）.....183
網走九六ブルース（Folsom Prison Blues by Johnny Cash）.....186
SPORTS!（and other fun things）スポーツ!（及び、娯樂）.....188
闘牛 –（Rodeo, by Garth Brooks）.....189
山川に（All Kinds of Time by Fountains of Wayne 192
リーチ麻雀（The Gambler by Kenny Rogers）.....194
詩織を追いかけな（Waterfalls by TLC）.....196
メキシコのワイン（Mexican Wine by Fountains of Wayne 199
恵まれた歩兵（Fortunate Son by Creedence Clearwater Revival）.....201

一撃を撃て！（Hit Me With Your Best Shot – Pat Benetar）.....203
スウィート・ホーム・広島（Sweet Home Alabama by Lynyrd Skynyrd）.....205
アタシ出して（Centerfield by John Fogerty）.....207
真実は一つ（What Is Truth by Johnny Cash）.....210
滑るぜ（I Get Around by The Beach Boys）.....212
アメリカ （America by Falco）.....214
Inaka Life: Real and Imagined ふるさとの姿: 現実と夢物語.....216
ふるさとの恋（Dixieland Delight by Alabama）.....217
ふるさと （Old Kentucky Home by Johnny Cash / Randy Newman）.....219
軽トラのこと（Something ‘bout a Truck by Kip Moore）.....223
白塗りの娘（Tennessee Flat Top Box by Johnny Cash）.....226
子供はダメさ（The Kids Aren’t Alright by The Offspring）.....228
生臭坊主とイノシシ（The Preacher and the Bear by a lot of different people）.....231
北海道の冬の歌（Valley Winter Song by Fountains of Wayne）.....234
健二さん（The Ballad of Curtis Loew by Lynyrd Skynyrd）.....237
大分の道(Country Roads by John Denver）.....239
Indices.....241
By Japanese Song Title.....241
By English Song Title.....244

Fuck the Establishment
支配層はくたばれ

この件に關する私の見解は、すでに十分すぎるほど明白だとは思いますけれど。もしそうでないと言うのなら、この後に續く樂曲たちが、それこそ嫌というほど思い知らせてくれるはずなのだわ。
もちろん、すべての政府が悪だと言うつもりはありませんのよ。ただ、腐りきったクソみたいな政府というものは、もう救いようがないほど最悪なのですわね。任期の制限、厳格な市民による監視、そして腐敗に對する容赦のない厳罰……そうしたものが備わって初めて、政治というシステムはかろうじて機能するものなんじゃないかしら。
そして、組織化された宗教に至っては、さらにタチが悪いわね。私は「善良な人間であれ」と教会から説教される必要なんて一切ありませんし、もしあなたがそれを必要としているのだとしたら、あなたの精神構造が本氣で心配になってしまうのだわ。
最後に、ブレナン・リー・マリガン(Brennan Lee Mulligan)の言葉をあなたに贈りますわ。
「法律とは、特定の国家において社会経済的・民族的優位に立つ支配層が作り出した『脅迫』に過ぎない。それはただ実行される暴力の約束であり、警察など実質的には占領軍のようなものだ」
本当に、吐き氣がするほど的を射ているんじゃないかしら。

壁（The Wall, by Johnny Cash）

このコレクションには、自民党（じみんとう）や社会の体制のでたらめを批判する曲がたくさんあるけれど、私が最初に書いたのはこの曲だわ。これはアメリカのでたらめを批判していることに、注目してほしいですわね。一番大切な鍵になるフレーズは、２番の歌詞にある「ドイツ人はどこだ？」ですの。１９４２年にアメリカがしたことは戦争犯罪だし、彼らがやったのはそれだけじゃないんじゃないかしら。

[Verse 1]

```
                        G
トパーズに、砂埃舞う（Topaazu ni, sunabokori mau）
                G7      D
静かな男（Shizukana otoko）
                                    C            C
ワカサという、お爺さん見ていた、(Wakasa to iu, ojiisan mite-ita)
           E-       G
あの壁を（ano kabe wo）
             E       G
あの壁を…（Ano kabe wo...）
```

[Verse 2]

```
                       G
なんでこのキャンプに（Nande kono kyanpu ni）
                       G7          D
日本人がいっぱい？（Nihonjin ga ippai?）
                           C
「安全のため」と言ったな（”Anzen no tame” to itta na）
                       E-           G
ドイツ人、どこだ？（Doitsujin, doko da?）
                       E-           G
ドイツ人、どこだ…（Doitsujin, doko da...）
```

[Verse 3]

```
             G
犬と散歩した（Inu to sanpo shita）
               G7        D
ワカサさんは（Wakasa-san wa）
```

C
胸に銃弾が刺さって (Mune ni tama ga sasatte)
E- G
早く死んだ (Hayaku shinda)
E- G
早く死んだ… (Hayaku shinda...)
[**Verse 4**]
G
「ワカサは逃げた」と (”Wakasa wa nigeta” to)
G7 D
兵士が言ったな？ (Heishi ga itta na?)
C
嘘だぜ、もちろん (Uso da ze, mochiron)
E- G
差別だけだ (Sabetsu dake da)
E- G
差別だけだ… (Sabetsu dake da...)
[Verse 5: The Present]
G
今でも同じさ (Ima demo onaji sa)
G7 D
みんな見ているの？ (Minna mite-iru no?)
C
俺らも壁の中 (Orera mo kabe no naka)
E- G
見て、あの壁を (Mite, ano kabe wo)
E- G
あの壁を… (Ano kabe wo...)

どうしても知りたいというなら（For What It’s Worth by Buffalo Springfield）

初めてこの曲を翻訳した時は、もし演奏したら撃たれてしまうと思ったのだわ。でも逆に、それが私を勇気づけてくれましたわね。今の問題について自民党（じみんとう）や統一教会（とういつきょうかい）を批判するという意味では、今となってはこれがコレクションの中で一番過激じゃない曲かもしれないかしら。

[Intro] A D A D

[Verse 1]

A D
何かが起きてる（Nanika ga okiteru）
A D
わけが分からず（Wake ga wakarazu）
A D
銃を持った、奴がいて（Juu wo motta, yatsu ga ite）
A D
「気をつけな」と、言ってるぜ（”Ki wo tsukena” to, itteru ze）
A G
やめて、変な音だぞ（Yamete, hen na oto da zo）
D D7
この所を見てよ（Kono tokoro wo mite yo）

[Verse 2]

A D
戦は四十年前、決まった（Ikusa wa yonjuunen mae, kimatta）
A D
頭が固い、年寄りが勝った（Atama ga katai, toshiyori ga katta）
A D
手にした力、離さない（Te ni shita chikara, hanasanai）
A D
¥若者には、渡さない（Wakamono ni wa, watasanai）
A G
やめて、変な音だぞ（Yamete, hen na oto da zo）
D D7
この所を見てよ（Kono tokoro wo mite yo）

[Verse 3] **A** **D**
自民党は、嘘を吐いた (Jimintou wa, uso wo tsuita)
A **D**
金のため、カルトと組んだ (Kane no tame, karuto to kunda)
A **D**
まだ知らない、若い命 (Mada shiranai, wakai inochi)
A **D**
信じてしまう、甘い響き (Shinjite-shimau, amai hibiki)
A **G**
やめて、変な音だぞ (Yamete, hen na oto da zo)
D **D7**
この所を見てよ (Kono tokoro wo mite yo)
[Verse 4] **A** **D**
二〇五〇年は、もうすぐだ (Ni-sen-go-juu nen wa, mou sugu da)
A **D**
破滅の鐘が、鳴るはずな (Hametsu no kane ga, naru hazu na)
A **D**
金持ちだけが、太ってるぜ (Kanemochi dake ga, futotteru ze)
A **D**
逃げ出す準備、してるだね！ (Nige-dasu junbi, shiteru da ne!)
A **G**
やめて、変な音だぞ (Yamete, hen na oto da zo)
D **D7**
この所を見てよ (Kono tokoro wo mite yo)
A **G**
やめて、変な音だぞ (Yamete, hen na oto da zo)
A **G**
やめて、変な音だぞ (Yamete, hen na oto da zo)
D **D7**
この所を見てよ (Kono tokoro wo mite yo)
A **G**
やめて、変な音だぞ (Yamete, hen na oto da zo)
D **D7**
この所を見てよ (Kono tokoro wo mite yo)

崩壊の前 (Eve of Destruction by Barry McGuire)

ぜひ、YouTube でこの曲のビデオを見てみてほしいのだわ。彼の声は本当にすごいですわね。私には、この現代ではいつも世界の終わりまであと一日しかないような気がしますの。でも、昔からずっとそうだったということを、バリーが教えてくれているんじゃないかしら。

[Verse 1]

```
                          D              G   A
この世界中が、燃えている (Kono sekai-juu ga, moete-iru)
                        D            G     A
ネットの嘘が、溢れてる (Netto no uso ga, afureteru)
                        D                   G     A
誰かの血が、まだ乾かない (Dareka no chi ga, mada kawakanai)
                          D              G       A
なのにみんな、見ぬふりかい？ (Nanoni minna, minu furi kai?)
```

[Chorus]

```
                                    D       G      A      D      B-
でも君、「しょうがない」と言うの？ (Demo kimi, ”Shou ga nai” to iu no?)
                             G              A       D        |G  A  |
崩壊の前だ、分からないぞ？ (Houkai no mae da, wakaranai zo?)
```

[Verse 2]

```
                    D          G      A
二十八で叫んでも (Nijuuhachi de sakende mo)
                      D                G      A
声は壁に、ぶつかるの (Koe wa kabe ni, butsukaru no)
                                    D             G         A
だからコントローラー、握りしめる (Dakara kontorooraa, nigirishimeru)
                       D                G     A
仮想世界へ、引きこもる (Baacharu sekai e, hikikomoru)
```

[Chorus]

```
                                    D       G      A      D      B-
でも君、「しょうがない」と言うの？ (Demo kimi, ”Shou ga nai” to iu no?)
                             G              A       D        |G  A  |
崩壊の前だ、分からないぞ？ (Houkai no mae da, wakaranai zo?)
```

[Verse 3]

D G A
誰かの声が、耳に響く (Dareka no koe ga, mimi ni hibiku)

D G A
「国を信じろ」、嘘を吐く (”Kuni wo shinjiro”, uso wo tsuku)

D G A
甘い言葉で、心を盗み (Amai kotoba de, kokoro wo nusumi)

D G A
影で糸引く、黒い祈り (Kage de ito hiku, kuroi inori)

[Chorus]

D G A D B-
でも君、「しょうがない」と言うの？ (Demo kimi, ”Shou ga nai” to iu no?)

G A D |G A |
崩壊の前だ、分からないぞ？ (Houkai no mae da, wakaranai zo?)

[Verse 4]

D G A
島原を忘れ、山荘は昔 (Shimabara wo wasure, sansou wa mukashi)

D G A
高市とトランプ、影で話し (Takaichi to Toranpu, kage de hanashi)

D G A
昔の夢を、また見せている (Mukashi no yume wo, mata miseteiru)

D G A
古い嘘だけ、繰り返している (Furui uso dake, kurikaeshiteiru)

[Outro]

D G A D B-
でも君、「しょうがない」と言うの？ (Demo kimi, ”Shou ga nai” to iu no?)

G A D
崩壊の前だ、分からないぞ？ (Houkai no mae da, wakaranai zo?)

G A |D > > G |D
崩壊の前だ、分からないぞ？ (Houkai no mae da, wakaranai zo?)

いろな人 (All Kinds of Kinds by Miranda Lambert)

私が社会の体制を嫌うのは、ただ彼らが嫌いなだけじゃなくて、普通の人たちを愛しているからなのだわ。本当に色々な普通の人がいるけれど、みんな大切で、みんなに価値がありますわね。もし、自分だけは例外で、自分には価値がないなんて思っているんじゃないかしら？だとしたら、それは絶対に間違っていますわね。

[VERSE 1]

```
                        G
メイドカフェの、久美子 (Meido kafe no, Kumiko)
              C
愛した屋台の (Aishita yatai no)
                      E-        D         G
ラーメンを作る、男さ (Rāmen wo tsukuru, otoko sa)
                                  G
介添人は、「萌え萌えキュン！」 (Kaizoenin wa, ”Moe moe kyun!”)
                        C
みんなで食べた、つけ麺 (Minna de tabeta, tsukemen)
                          E-          D              G
めっちゃ優しい、結婚だな (Meccha yasashii, kekkon da na)
                        C
メイドの母は、悲しくて (haha wa, kanashikute)
                        E-              D
屋台のパパは、叫んでて (papa wa, sakendete)
                                  A-          G          D
ハトくんはゴミしか、食べず… (Hato-kun wa gomi shika, tabezu...)
```

[CHORUS]

```
                      G         D
世界の最初から (Sekai no saisho kara)
                          E-     D
いろんな人がいたら (Ironna hito itara)
                     G    D   G
人生続いてる (Jinsei tsuzuiteru)
```

[VERSE 2]

```
              G
毎日山手線で (Mainichi Yamanote de)
```

C
あの車掌、運転して (Ano shashō, untenshite)
E- D G
夜に女装に、なったんだな (Yoru ni josō ni, nattanda na)
G
ケイコは美容師 (Keiko wa biyōshi)
C
注意しない、あのパーマに (Chūi shinai, ano pāmu ni)
E- D G
今いつも帽子を、被るさ (Ima itsumo bōshi wo, kaburu sa)
C
客はまだ、集まり (Kyaku wa mada, atsumari)
E- D
店はまだ、回り (Mise wa mada, mawari)
A- G D
自分以外の髪、大丈夫 (Jibun igai no kami, daijōbu)

[CHORUS]

G D
世界の最初から (Sekai no saisho kara)
E- D
いろんな人がいたら (Ironna hito itara)
G D G
人生続いてる (Jinsei tsuzuiteru)
G D G
人生続いてる (Jinsei tsuzuiteru)

[VERSE 3]

G
インド料理の、ビクラム (Indo ryōri no, Bikuramu)
C
町内の火事に、飛び込む (Chōnai no kaji ni, tobikomu)
E- D G
地区隊長を、助けた (Chiku-taichō wo, tasuketa)
G
彼のカレー、美味しい (Kare no karē, oishii)

```
                  C
みんなに、優しい（Minna ni, yasashii）
                            E-         D              G
高市、「出てけ」、言ったな？（Takaichi, ”deteke”, itta na?）
                  C
もっと人が、来る（Motto hito ga, kuru）
                E-           D
毎日、生まれる（Mainichi, umareru）
                      A-      G          D
新しい家族、築く（Atarashii kazoku, kizuku）
[FINAL CHORUS]
                      G          D
世界の最初から（Sekai no saisho kara）
                           E-     D
いろんな人がいたら（Ironna hito itara）
                     G    D   G
人生続いてる（Jinsei tsuzuiteru）
                           G    D   G
いろんな人がいる…（Ironna hito ga iru...）
```

日本の子供 (Kids in America by Kim Wilde)

ザ・ブルーハーツは、日本とか外国とか関係なく、私が今までで一番好きなバンドだわ。この曲を聴くと、彼らがファーストアルバムで出したような、前向きなパンク・ミュージックを思い出しますわね。「この世界はひどい（クソ）だけど、私たちのものなんだから、私たちが自分たちのものにしていくんだ」というメッセージなんじゃないかしら。

[VERSE 1]

```
              B
窓から、街見てる (Mado kara, machi miteru)
                                              A
この下の車が、うるさい (Kono shita no kuruma ga, urusai)
                                G        A        E
生活の意味が分からない…！ (Seikatsu no imi ga wakaranai...!)
                          B
金曜の夜、みんな歩いて (Kin'yō no yoru, minna aruite)
                                                A
熱くねぇけど、階段下って (Atsukunee kedo, kaidan kudatte)
                               G         A        E
この街で、音楽探して！ (Kono machi de, ongaku sagashite!)
```

[PRE-CHORUS 1]

```
                     E
駅前、若者が行ってる (Eki mae, wakamono ga itteru)
                      F#
駅前、ここで成長してる (Eki mae, koko de seichō shiteru)
```

[CHORUS]

```
                          G                D
日本の子供だ！ (だな！) (Nippon no kodomo da! (Da na!))
                          G                D
日本の子供だ！ (だな！) (Nippon no kodomo da! (Da na!))
                             G             A              B
みんな、音楽のため、生きろ！ (Minna, ongaku no tame, ikiro!)
```

[VERSE 2]

```
                   B
光！音楽、加速して (Hikari! Ongaku, kasoku shite)
                                              A
おい馬鹿、見るなその時計 (Oi baka, miru na sono tokei)
                               G           A       E
```

絶対ダメ、今は戻らねぇ！ (Zettai dame, ima wa modoranee!)
B
イキリ （野郎！） 問題くれな (Ikiri (YAROU!), mondai kure na)
A
あいつは絶対言う、「しょうがねぇ」 (Aitsu wa zettai iu, "Shō ga nee")
G A E
生活ひどいな、分かるぜ？ (Seikatsu hidoi na, wakaru ze?)
[PRE-CHORUS 2]
E
いい奴、ストーリーはできねぇ (Ii yatsu, sutōrī wa dekinee)
F#
いい奴、栄光は取れねぇ (Ii yatsu, eikō wa torenee)
[CHORUS]
G D
日本の子供だ！ （だな！） (Nippon no kodomo da! (Da na!))
G D
日本の子供だ！ （だな！） (Nippon no kodomo da! (Da na!))
G A B
みんな、音楽のため、生きろ！ (Minna, ongaku no tame, ikiro!)
[VERSE 3]
B
こっちおいで、気持ちがいいな (Kocchi oide, kimochi ga ii na)
A
新しい経験、絶対作りたい (Atarashii keiken, zettai tsukuritai)
G A E
君つかまって、止められない (Kimi tsukamatte, tomerarenai)
B
すぐに新しい日、来ている (Sugu ni atarashii hi, kiteiru)
A
外じゃ再開発ばかり、見られるな？ (Soto ja saikaihatsu bakari, mirareru na?)
G A E
その未来が、ちょっと怖いさ… (Sono mirai ga, chotto kowai sa...)
[PRE-CHORUS 3]
E
東京から、大阪まで！ (Tōkyō kara, Ōsaka made!)

F#
新時代が、来ているぜ！（Shin-jidai ga, kiteiru ze!）
[FINAL CHORUS]
G D
日本の子供だ！（だな！）（Nippon no kodomo da! (Da na!)）
G D
日本の子供だ！（だな！）（Nippon no kodomo da! (Da na!)）
G A B
みんな、音楽のため、生きろ！（Minna, ongaku no tame, ikiro!）

ゾンビ (Zombie by The Cranberries)

元々この曲のテーマだったアイルランドの争い（ザ・トラブルズ）ほど、この世界で暗い時代はほとんどないのだわ。それは純粋さを失うことであり、声を失うことでもありますわね。現代の社会でもまだ傷として残っているけれど、私は、このような暴力的な後悔と恥の気持ちを重ね合わせるには、あさま山荘事件（さんそうじけん）と赤軍（せきぐん）がぴったりなんじゃないかしらと感じましたの。

[VERSE 1]

```
                              E-          C           G          D
垂れて、頭が，奪われて、子供も（Tarete, atama ga, Ubarete, kodomo mo）
                            E-           C           G           D
沈黙は、暴力，間違っているぞ（Chinmoku wa, bōryoku, Machigatteiru zo）
```

[PRE-CHORUS 1]

```
                                        E-                  C
見せて、俺じゃねぇ、家族もいねぇ（Misete, ore ja nee, kazoku mo inee）
                      G                    D
頭に、頭に、戦う（Atama ni, atama ni, tatakau）
                                   E-             C
戦車と、銃も、爆弾、爆弾（Sensha to, jū mo, bakudan, bakudan）
                            D                    D
頭に、頭に、泣いている（Atama ni, atama ni, naiteiru）
```

[CHORUS]

```
                   E-          C
頭に！ 頭に！（Atamaaaa ni! Atamaaaa ni!）
                                          G                   D
ゾンビ！ ゾンビ！ ゾンビ・ビ・ビ！（Zōnnn-bi! Zōnnn-bi! Zōnbi-bi-bi-bi!）
                          E-             C
頭に！ ある、何！？（Atamaaaa ni! Aru, naaaaani!?）
                                        G                D
ゾンビ！ ゾンビ！ ゾンビ・ビ・ビ！（Zōnnn-bi! Zōnnn-bi! Zōnbi-bi-bi-bi!）
```

[VERSE 2]

```
                                   E-             C           G           D
もう一人,母死んでいる,踏んでいる,心（Mō hitori, haha shindeiru, Fundeiru, Kokoro）
                              E-          C            G             D
沈黙は、暴力，間違っているぞ（Chinmoku wa, bōryoku, Machigatteiru zo）
```

[PRE-CHORUS 2]

```
                                      E-              C
```

いつも同じさ、あさま山荘から（Itsumo onaji sa, Asama-sansō kara）

G D

頭に、頭に、戦う（Atama ni, atama ni, tatakau）

E- C

戦車と、銃も、爆弾、爆弾（Sensha to, jū mo, bakudan, bakudan）

G C

頭に、頭に、死んでいる（Atama ni, atama ni, shindeiru）

[CHORUS]

E- C

頭に！ 頭に！（Atamaaaa ni! Atamaaaa ni!）

G D

ゾンビ！ ゾンビ！ ゾンビ・ビ・ビ！（Zōnnn-bi! Zōnnn-bi! Zōnbi-bi-bi-bi!）

E- C

頭に！ ある、何！？（Atamaaaa ni! Aru, naaaaani!?）

G D

ゾンビ！ ゾンビ！ ゾンビ・ビ・ビ！（Zōnnn-bi! Zōnnn-bi! Zōnbi-bi-bi-bi!）

参政党の馬鹿（American Idiot by Green Day）

参政党（さんせいとう）は今までで一番大きな詐欺（さぎ）の一つで、2025 年にあんなデタラメに騙（だま）された人があんなにいるなんて、私には信じられないのだわ。彼らのやり方は、お年寄りからお金を取って、もっと差別的（さべつてき）になるための授業（じゅぎょう）をして、権力（けんりょく）を持ったら自分たちのためにたくさんのお金を盗（ぬす）むことだけですわね。神谷（かみや）は頭がおかしくて本当に最低（さいてい）な人間だし、彼に従（したが）う人たちは日本を完全にダメにしてしまうんじゃないかしら。

[Intro] |D . . G . . C . | . . G . D NC . . | x4

[VERSE 1]

N.C. D G C GD

参政党の、馬鹿にはならねぇ（Sanseitō no, baka ni wa naranee）

N.C. D G C GD

新狂気に、染まりたくねぇ（Shin kyōki ni, somaritakunee）

N.C. D G C GD

聞こえるか？ 憲政の音が！（Kikoeru ka? Kensei no oto ga!）

N.C. D G C GD

マインドファックと,老害ヒステリア！（Maindo-fakku to, rōgai hisuteria!）

[CHORUS]

G

ようこそ、新緊張へ（Yōkoso, shin kinchō e）

A

国中の、疎外感へ（Kunijū no, sogaikan e）

A D

すべてが「大丈夫」なわけじゃねぇ！（Subete ga ”daijōbu” na wake ja nee!）

G

明日の、帝国の夢（Ashita no, teikoku no yume）

D

俺たちは、従わねぇ（Oretachi wa, shitagawanee）

A N.C.

それだけで、喧嘩になるぜ！（Sore dake de, kenka ni naru ze!）

|D . . G . . C . | . . G . D NC . . | x2

[VERSE 2]

N.C. D G C GD

血統の裏切り者かも（Kettō no uragirimono kamo）

N.C. D G C GD

右翼のアジェンダ、乗らねぇぞ（Uyoku no ajenda, noranee zo）

N.C. D G C GD
さあ皆で、プロパガンダしよう（Saa minna de, puropaganda Shiyou）
N.C. D G C GD
パラノイアの時代を歌おう！（Paranoia no jidai wo utaou!）
[CHORUS]
G
ようこそ、新緊張へ（Yōkoso, shin kinchō e）
A
国中の、疎外感へ（Kunijū no, sogaikan e）
A D
すべてが「大丈夫」なわけじゃねぇ！（Subete ga ”daijōbu” na wake ja nee!）
G
明日の、帝国の夢（Ashita no, teikoku no yume）
D
俺たちは、従わねぇ（Oretachi wa, shitagawanee）
A N.C.
それだけで、喧嘩になるぜ！（Sore dake de, kenka ni naru ze!）
|D . . G . . C . | . . G . D NC . . | x2
[VERSE 3]
N.C. D G C GD
二千五十年、経済はいらねぇ（Nisen-gojū-nen, keizai wa iranee）
N.C. D G C GD
値段上げたくない、あのお米（Nedan agetakunai, ano okome）
N.C. D G C GD
働く外人は、気にならねぇ（Hataraku gaijin wa, ki ni naranee）
N.C. D G C GD
だが神谷宗幣は、くたばれ！（Daga Kamiya Sōhei wa, kutabare!）
[FINAL CHORUS]
G
ようこそ、新緊張へ（Yōkoso, shin kinchō e）
A
国中の、疎外感へ（Kunijū no, sogaikan e）
A D
すべてが「大丈夫」なわけじゃねぇ！（Subete ga ”daijōbu” na wake ja nee!）
G

明日の、帝国の夢（Ashita no, teikoku no yume）
D
俺たちは、従わねぇ（Oretachi wa, shitagawanee）
A **N.C.**
それだけで、喧嘩になるぜ！（Sore dake de, kenka ni naru ze!）
|D . . G . . C . | . . G . D NC . . | x2

哲也と言う人(The Hero of Canton by Ben Edlund)

さて、これが一番めちゃくちゃな曲なのだわ。それがめちゃくちゃだってことは、自分でもわかっていますの。それが実際に起きたことも、私がこれを書いたこともひどいし、それが政治的（せいじてき）な変化（へんか）のきっかけとして、少なくとも少しは本当に効果（こうか）があったことも、めちゃくちゃな話ですわね。この曲は人前（ひとまえ）で歌わない方がいいし、私も絶対に歌わないけれど、白人の外国人（がいこくじん）として、最後のコードにたどり着く前に、黒い袋（ふくろ）を被（かぶ）せられて神田川（かんだがわ）に沈（しず）められてしまうんじゃないかしら。本当にごめんなさいの。

[Intro]

```
              G
```
哲也！（Tetsuya!）
```
                          G
```
彼は哲也！（Kare wa Tetsuya!）

[Chorus]
```
                          G                E-
```
トップを狙い、扉を開けた（Toppu wo nerai, tobira wo aketa）
```
                          G                E-
```
統一教会すべて暴いた（Touitsu kyoukai subete abaita）
```
                                    C                  D
```
病んだ無言の歓声、理由わかるな（Yanda mugon no kansei, riyuu wakaru na）
```
                                    G
```
奈良の狙撃者、あの男哲也！（Nara no sogekisha, ano otoko Tetsuya!）

[Verse 1]
```
       E-    >    >    >   |E-       B        E-
```
信者の背中が折れるを見た（Shinja no senaka ga oreru wo mita）
```
             A-        B         E-
```
母親の嘆きも（Haha oya no nageki mo）
```
                          E-          B         E-
```
統一教会が奪っていく（Touitsu kyoukai ga ubatte iku）
```
              A-     B     E-
```
すべての円を（Subete no en wo）
```
                                    A-                E-
```
彼言った「家族に何これ？！」（Kare itta ”kazoku ni nani kore?!”）
```
                   A-                   B
```
「国を取引しな！」（”Kuni wo torihiki shina!”）
```
                          E-
```
朝の光で銃を作り（Asa no hikari de juu wo tsukuri）

C B E-
自民党の封印を砕いた (Jimintou no fuuin wo kudaita)
[Chorus] G E-
トップを狙い、扉を開けた (Toppu wo nerai, tobira wo aketa)
G E-
統一教会すべて暴いた (Touitsu kyoukai subete abaita)
C D
病んだ無言の歓声、理由わかるな (Yanda mugon no kansei, riyuu wakaru na)
G
奈良の狙撃者、あの男哲也！ (Nara no sogekisha, ano otoko Tetsuya!)
[Verse 2] E- > > > |E- B E-
これが歪んだ秘密さ (Kore ga yuganda himitsu sa)
A- B E-
建前社会が隠してる (Tatemae shakai ga kakushiteru)
E- B E-
警察が捕まえた時 (Keisatsu ga tsukamaeta toki)
A- B E-
カルトの絆が裂ける (Karuto no kizuna ga sakeru)
A- E-
彼はそれを新聞に落とした (Kare wa sore wo shinbun ni otoshita)
A- B
彼はそれをニュースにも (Kare wa sore wo nyuusu ni mo)
E-
銃を持った男、暴力が終わった (Juu wo motta otoko, bouryoku ga owatta)
A- B E-
与えた、支配層に絶望を！ (Ataeta, shihaisou ni zetsubou wo!)
[Chorus] G E-
トップを狙い、扉を開けた (Toppu wo nerai, tobira wo aketa)
G E-
統一教会すべて暴いた (Touitsu kyoukai subete abaita)
C D
病んだ無言の歓声、理由わかるな (Yanda mugon no kansei, riyuu wakaru na)
G
奈良の狙撃者、あの男哲也！ (Nara no sogekisha, ano otoko Tetsuya!)

外人なのに（Pretty Fly for a White Guy by The Offspring）

これは本当にただのバカバカしいおふざけなのだけれど、最後にはなんとか自民党（じみんとう）への皮肉（ひにく）を込（こ）めることができたのだわ。誰もが、こういうタイプの人のことをよく知っていますわね。実（じつ）を言うと、ある時期（じき）の私自身も、おそらくこの人と同じような人間だったんじゃないかしらと思いますの。

[Intro/Bridge]

N.C.

ぐんてん、グリベン、ラウフェン、ロベン（Gunten Grieben Laufen Loben）

{Percussive strums and taps}

これください！（はいはい！はいはい！）（Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!)）

これください！（はいはい！はいはい！）（Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!)）

これください！（はいはい！はいはい！）（Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!)）

コンビニさん言って…（Konbini-san itte...）

[N.C.]

「日本語お上手ですね！」（”Nihongo ojouzu desu ne!”）

[Lead Up] E- B E- G E- B D Asus2

[Verse I]

E- B E- G

今日を生きるのは、ちょっと大変（Kyou wo ikiru no wa, chotto taihen）

E- B D Asus2

日本語下手でも、自信は満点（Nihongo heta demo, jishin wa manten）

E- B E- G

教科書はゲンキ、デュオリンゴ連続（Kyoukasho wa Genki, Dyuoringo renzoku）

E- B D C

コンビニ入って、喋るぜさっそく（Konbini haitte, shaberu ze sassoku）

[Chorus]

E- A E- A

言わないな、馬鹿かしら（Iwanai na, baka kashira）

G D E- D

アメリカから来ました、だから（Amerika kara kimashita, dakara）

E- A E- A

試している、けど分からず（Tameshite iru, kedo wakarazu）

G D E- D

おめぇは無理、おめぇは無理（Ome-e wa muri, ome-e wa muri）

E- A E- A
モテないなら、金払えな (Motenai nara, kane harae na)
G D E- D
いつでも呼べるぜ、デリヘルさ！ (Itsudemo yoberu ze, deriheru sa!)
C D
税金欲しいから、あぁ！ (Zeikin hoshii kara, aa!)
E- N.C.
しょうがない、日本に来て！ (Shou ga nai, Nihon ni kite!)
[Bridge] N.C. {Percussive strums and taps}
これください！ (はいはい！はいはい！) (Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!))
これください！ (はいはい！はいはい！) (Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!))
これください！ (はいはい！はいはい！) (Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!))
コンビニさん言って… (Konbini-san itte..._
N.C.
「日本語お上手ですね！」)"Nihongo ojouzu desu ne!")
[Lead Up] E- B E- G E- B D Asus2
[Verse 2]
E- B E- G
テレビで覚えた、かっこいい言葉 (Terebi de oboeta, kakkoii kotoba)
E- B D Asus2
少年アニメで、ヤンキーのノリだ (Shounen anime de, yankii no nori da)
E- B E- G
店員に「俺は」、店長「貴様」 (Tenin ni "Ore wa", tenchou "Kisama")
E- B D C
意味不明でも、大げさなドラマ (Imi fumei demo, oogesa na dorama)
[Chorus]
E- A E- A
言わないな、馬鹿かしら (Iwanai na, baka kashira)
G D E- D
アメリカから来ました、だから (Amerika kara kimashita, dakara)
E- A E- A
試している、けど分からず (Tameshite iru, kedo wakarazu)
G D E- D
おめぇは無理、おめぇは無理 (Ome-e wa muri, ome-e wa muri)

E- A E- A
モテないなら、金払えな (Motenai nara, kane harae na)
G D E- D
いつでも呼べるぜ、デリヘルさ！ (Itsudemo yoberu ze, deriheru sa!)
C D
税金欲しいから、あぁ！ (Zeikin hoshii kara, aa!)
E- N.C. E-
しょうがない、日本に来て！ (Shou ga nai, Nihon ni kite!)
[verse 3]
E- B E- G
漢字読めないなら、大げさにやれ (Kanji yomenai nara, oogesa ni yare)
E- B D Asus2
三十八歳、ひらがなだけは書け (Sanjuuhassai, hiragana dake wa kake)
E- B E G
切符買えない、看板も読めな (Kippu kaenai, kanban mo yomena)
G D E- D
「えいりげあっと！」言ったら日本語のプロだ！(”Airigeattoo!”ittara,nihongo no pro da!)
[Bridge] N.C. {Percussive strums and taps}
これください！ (はいはい！はいはい！) (Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!))
これください！ (はいはい！はいはい！) (Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!))
これください！ (はいはい！はいはい！) (Kore kudasai! (Hai hai! Hai hai!))
コンビニさん言って… (Konbini-san itte..._
N.C. E-
「日本語お上手ですね！」)”Nihongo ojouzu desu ne!”)
[Chorus]
E- A E- A
言わないな、馬鹿かしら (Iwanai na, baka kashira)
G D E- D
アメリカから来ました、だから (Amerika kara kimashita, dakara)
E- A E- A
試している、けど分からず (Tameshite iru, kedo wakarazu)
G D E- D
おめぇは無理、おめぇは無理 (Ome-e wa muri, ome-e wa muri)
E- A E- A
モテないなら、金払えな (Motenai nara, kane harae na)

```
                              G         D         E-       D
いつでも呼べるぜ、デリヘルさ！（Itsudemo yoberu ze, deriheru sa!）
                        C             D
税金欲しいから、あぁ！（Zeikin hoshii kara, aa!）
                        C             D
税金欲しいから、あぁ！（Zeikin hoshii kara, aa!）
                             C                 D
もっと税金欲しいから、あぁ！(Motto Zeikin hoshii kara, aa!）
                         E- N.C.
バカたち、日本に来て！（Baka tachi  Nihon ni kite!）
```

タダで働けよ！（Why Don’t You Get a Job by The Offspring）

これは本当にただのバカバカしい曲なのだけれど、それでもなんとか政治的（せいじてき）なメッセージに変えることができたのだわ。元の歌は、仕事もしないで怠（なま）けてばかりいるどうしようもない彼女を、彼の友達が嫌（いや）っているという話だけれど、最近の国会（こっかい）や支配層（しはいそう）も、一般（いっぱん）の日本人に対して同じように感じているみたいですわね。私は、彼らが企業の利益（りえき）ばかりを優先（ゆうせん）せずに、せめてもう少しマシな給料（きゅうりょう）を払（はら）ってくれれば、喜んで働く人も出てくるんじゃないかしらと感じますの。

[Verse 1]

```
                          D                          G
国会の問題、「誰も働かず」(Kokkai no mondai, ”dare mo hatarakazu”)
                     D                A
毎日、ぼやくのさ (Mainichi, boyaku no sa)
                                  D                      G
「若者の態度、直さなきゃダメ」 (”Wakamono no taido, naosanakya dame”)
                   D    A    D
ひどいやり方 (Hidoi yarikata )
```

[Verse 2]

```
                                    D                  G
怠けて座り、思い通りにいかねぇ (Namakete suwari, omoidoori ni ikanee)
           D              D
最低賃金で (Saitei chingin de)
                                  D                      G
家を出るため、高い金求めるぜ (Ie wo deru tame, takai kane motomeru ze)
                                 D      A     D
さあ総理、お前が言え！ (Saa Souri, omae ga ie!)
```

[Chorus]

```
                                                 D                  G
払わない,上げないぜ,ダメ.エイ.エイ.エイ！(Harawanai, agenai ze, dame-ei-ei-ei!)
                        D          A          D
ナナ、仕事見つけな！ (Na-na, shigoto mitsukena!)
                                              D                      G
ありえない,ありえないぜ,給料は上げない(Arienai, arienai ze, kyuuryou wa agenai)
                        D          A          D
ナナ、仕事見つけな！ (Na-na, shigoto mitsukena!)
```

[Verse 2]

D G
初任給じゃ、全然足りねぇな (Shoninkyuu ja, zenzen tarinee na)
D A
東京の家主、払えねぇ (Toukyou no yanushi, haraene-e)
D G
初任給じゃ、全然足りねぇな (Shoninkyuu ja, zenzen tarinee na)
D A D
生き残るの、高くつくぜ！ (Ikinokoru no, takaku tsuku ze!)

[Chorus]

D G
払わない,上げないぜ,ダメ.エイ.エイ.エイ！(Harawanai, agenai ze, dame-ei-ei-ei!)
D A D
ナナ、仕事見つけな！ (Na-na, shigoto mitsukena!)
D G
ありえない,ありえないぜ,給料は上げねぇ(Arienai, arienai ze, kyuuryou wa agenee)
D A D
ナナ、仕事見つけな！ (Na-na, shigoto mitsukena!)

[Bridge]

G D
残業の電話、かわすのキツいぜ、(Zangyou no denwa, kawasu no kitsui ze)
G > > > G E- A
だが年金なんて、毎日来ねぇぇ！ (Daga nenkin nante, mainichi konee!)

[Chorus]

D G
社長の派遣たち、あいつら嫌いさ (Shachou no haken-tachi, aitsura kirai sa)
D A
毎日、ぼやくのね (Mainichi, boyaku no ne)
G D
正社員になりたい、仕事の対価さ (Seishain ni naritai, shigoto no taika sa)
D A D
さあジジイ、お前が言え！ (Saa jijii, omae ga ie!)
D G
正社員にしないね,ダメ.エイ.エイ.エイ (Seishain ni shinai ne, dame-ei-ei-ei!)
D A D
タダで働けよ！ (Tada de hatarake yo!)

D G
ありえない,ありえないぜ,給料は上げねぇ(Arienai, arienai ze, kyuuryou wa agenee)
D A D
タダで働けよ！ (Tada de hatarake yo!)
D G
正社員にしないね,ダメ.エイ.エイ.エイ (Seishain ni shinai ne, dame-ei-ei-ei!)
D A D
タダで働けよ！ (Tada de hatarake yo!)
D G
ありえない,ありえないぜ,給料は上げねぇ(Arienai, arienai ze, kyuuryou wa agenee)
D A D
タダで働けよ！ (Tada de hatarake yo!)
N.C.
ヘイ、経団連が喜ぶやつさ。 (Hei, Keidanren ga yorokobu yatsu sa)

サソリ（Mad Woman　by Taylor Swift）

これについては、ほとんど言葉（ことば）を変える必要（ひつよう）がなかったのだわ。テイラー本人は全く気づいていなかったでしょうけれど、すでに信じられないくらい完璧（かんぺき）なリファレンスになっていましたわね。本当に、驚（おどろ）くほどの偶然（ぐうぜん）なんじゃないかしら。

[Verse 1]

```
                    E-          B-          D
アタシは何言うかな？（Atashi wa nani iu kana?）
                                A
さそりは刺すかしら？（Sasori wa sasu kashira?）
                     E-        B-      D       A
殺すため、絶対刺すね（Korosu tame, zettai sasu ne）
                    E-   B-    D     A
絶対刺すね（Zettai sasu ne）
               E-          B-          D
黒い帽子を着てる(kuroi boushi wo kiteru)
                           A
暗い所何見る？（Kurai tokoro nani miru?）
                 E-
笑うと思う？（Warau to omou?）
               B-         D          A
または「クソ虫だ」（Matawa ”kuso mushi da”）
```

[PreChorus]

```
                              E-             D             B-
壊そうとする度に，もっと、ぜひ（Kowasou to suru tabi ni, motto, zehi）
             A
それどうだ？（Sore dou da?）
                                E-          D           B-        A
独居房に入れる，恐ろしくなる　（Dokkyoubou ni ireru, Osoroshiku naru
```

[Chorus]

```
                            E-            D
狂った女は、サイコウ（Kurutta onna wa, saikou）
                  B-        A
残念だよな（Zannen da yo na）
                    E-              D
狂った女、嫌いな（Kurutta onna, kirai na）
```

B- A
お前がそうしたのさ (Omae ga sou shita no sa)
E- B-
刃が出るまで、突っついて (Yaiba ga deru made, tsuttsuite)
D A
鎖で巻くものを、見つけるの (Kusari de maku mono wo, mitsukeru no)
E- D B- A
狂った女は、サイコウ (Kurutta onna wa, saikou)

[Verse 2]

E- B- D
歩く時、言葉は吐かな (Aruku toki, kotoba wa hakana)
A
監房の廊下、殺意の視線だ (Kanbou no rouka, satsui no shisen da)
E- B- D A
「諦めろ」、絶対しない ("Akiramero", zettai shinai)
E- B- D
看守も女を、壊すよ (Kanshu mo onna wo, kowasu yo)
A
お前のために、悪い仕事 (Omae no tame ni, warui shigoto)
E- B-
アタシを殺したい、その願いが (Atashi wo koroshitai, sono negai ga)
D A
あんた達、一つにした (Anta-tachi, hitotsu ni shita)

[PreChorus]

E- D B-
壊そうとする度に, もっと、ぜひ (Kowasou to suru tabi ni, motto, zehi)
A
それどうだ？ (Sore dou da?)
E D B- A
独居房に入れる, 恐ろしくなる (Dokkyoubou ni ireru, Osoroshiku naru

[Chorus]

E- D
狂った女は、サイコウ (Kurutta onna wa, saikou)
B- A
残念だよな (Zannen da yo na)

E- D
狂った女、嫌いな (Kurutta onna, kirai na)
B- A
お前がそうしたのさ (Omae ga sou shita no sa)
E- B-
刃が出るまで、突っついて (Yaiba ga deru made, tsuttsuite)
D A
鎖で巻くものを、見つけるの (Kusari de maku mono wo, mitsukeru no)
E- D B- A
狂った女は、サイコウ (Kurutta onna wa, saikou)

[Bridge]

E- D B-
]時間をかける、をかける (Jikan wo kakeru, wo kakeru)
A E-
すべてを奪われた (Subete wo ubawareta)
D B-
あんたは登る、絶対見る (Anta wa noboru, zettai miru)
A E-
アタシのような… (Atashi no you na...)
D B-
汚れたサツの、袖の血の跡 (Yogoreta satsu no, sode no chi no ato)
A E-
組織知ってる (Soshiki shitteru)
D B-
お前は死ぬべき,アタシのように,けど(Omae wa shinu beki, atashi no you ni, kedo)

[Outro]

A E- D
狂った女は、サイコウ (Kurutta onna wa, saikou)
B- A
残念だよな (Zannen da yo na)
B- A
お前がそうしたのさ (Omae ga sou shita no sa)

戦争の主（Masters of War by Bob Dylan）

クソッ、私は本当にイスラエルまでこの話に巻き込んでしまったのだわ。もし今まだ生きていたとしても、きっともうすぐ確実に消されてしまいますわね。一体どうしてこんな危険な真似（まね）をしてしまったんじゃないかしら。

[Intro, in 3] A- G A- G x2

A- G A- G A-G A- G

戦争の主聞け、武器作る奴ら（Sensou nushi kike, buki tsukuru yatsura）

[sim.]

死の飛行機も、爆弾もかな（Shi no hikouki mo, bakudan mo kana）

壁で隠れ、机で座る（Kabe de kakure, tsukue de suwaru）

A- G A- G E- A- G

お前らの仮面、俺見破ってる（Omaera no kamen, ore miyabutteru）

[sim.]

引き金固定し、他に撃たせる（Hikigane kotei shi, hoka ni utaseru）

ザイオンと民は違う,市民のせいあらず(Zion to tami wa chigau, shimin no sei arazu)

悪魔は政府だ、血の海よね（Akuma wa seifu da, chi no umi yo ne）

人の命売って、金貨を数えて（Hito no inochi utte, kinka wo kazoete）

過去地獄見た、痛み背負ったぜ（Kakojigoku mita, itami seotta ze）

広島は祈り、平和の街だね？（Hiroshima wa inori, heiwa no machi da ne?）

だがお前の国、痛み銃作った（Daga omae no kuni, itamijuu tsukutta）

憎しみは憎しみ、生むだけ知らな（Nikushimi wa nikushimi, umu dake shira na）

ツボ民党は、平和のフリする（Tsubomintou wa, heiwa no furi suru）

戦争の主と、笑顔で握手（Sensou no nushi to, egao de akushu）

九条売り飛ばし、金のため動き（Kyuujou uritobashi, kin no tame ugoki）

その手は血まみれ、お前も同罪（Sono te wa chimamire, omae mo douzai）

一つ聞かせて、金はそんなにいいか？（Hitotsu kikasete, kane wa son'nani ii ka?）

許しが買える、買える思ってる、な（Yurushi ga kaeru, kaeru omotteru, na）

地獄に行く時、お前気づくだろう（Jigoku ni iku toki, omae kizuku darou）

稼いだその金じゃ魂買えないぞ（Kaseida sono kane ja tamashii kaenai zo）

右翼の女王（Viva La Vida by Coldplay）

高市早苗（たかいち さなえ）さんが昔ドラムを叩いていたって事実、私、本当に大好きなの**だわ**。
彼女、またドラムにお戻りになればよろしいんじゃないかしら。

[Intro] C D G E- x2

```
                              C       D
国会を支配した（Kokkai wo shihai shita）
                             G               E-
国境閉鎖、鍵かけた（Kokkyou heisa, kagi kaketa）
                                          C      D
おばあちゃんで、一人掃く（Obaa-chan de, hitori haku）
                                         G              E-
破産した道、今統治せず（Hasan shita michi, ima touchi-shizu）
```

[Interlude] C D G E- x2

[Verse 2]

```
                               C      D
昔サイコロ振って（Mukashi saikoro futte）
                              G              E-
外人追放、迷わずね（Gaijin tsuihou, mayowazu ne）
                             C    D
参政党が歌った（Sanseitou ga utatta）
                                   G                   E-
「九条は死んだ、今戦争だな」（”Kyuujou wa shinda, ima sensou da na”）
                      C    D
鍵を握った（Kagi wo nigitta）
                                  G                 E-
ＤＣのトランプにしゃぶった（DC no Toranpu ni shabutta）
                                        C    D
前の城は建っていて（Mae no shiro wa tatte ite）
                      G                 E-
統一協会も砂の上（Touitsu kyoukai mo suna no ue）
```

[Chorus]

```
               C            D
靖国鐘が鳴る（Yasukuni kane ga naru）
```

```
                  G                E-
黒い街宣車が歌う (Kuroi gaisensha ga utau)
                  C                  D
私の鏡、剣、盾(Watashi no kagami, tsurugi, tate)
                         G             E-
戦場でデタラメを吐け (Senjou de detarame wo hake)
                        C              D
理由はわからないけど (Riyuu wa wakaranai kedo)
                    G               E-
円は崩壊、消えたの (En wa houkai, kieta no)
                             C         D
誠実の言葉はない (Seijitsu no kotoba wa nai)
                              B-              E-
私が支配したぐらい (Watashi ga shihai shita gurai)
[Interlude] C D G E- x2
[Verse 3]
                                  C   D
邪悪な風が吹いた (Jaaku na kaze ga fuita)
                                G            E-
カルトの献金で入った (Karuto no kenkin de haitta)
                                       C         D
砕けた年金、太鼓の音 (Kudaketa nenkin, taiko no oto)
                           G          E-
国にクズを与えたよ (Kuni ni kuzu wo ataeta yo)
                                    C     D
怒る市民が待ってて (Ikaru shimin ga mattete)
                              G           E-
私の首、皿の上 )Watashi no kubi, sara no ue)
                                              C            D
ファシストの糸、操り人形 (Fashisuto no ito, ayatsuri ningyou)
              G                   E-
前の右翼の女王 (Mae no uyoku no joou)
[Chorus]
              C            D
靖国鐘が鳴る (Yasukuni kane ga naru)
```

```
                  G                E-
黒い街宣車が歌う (Kuroi gaisensha ga utau)
                  C                  D
私の鏡、剣、盾(Watashi no kagami, tsurugi, tate)
                        G             E-
戦場でデタラメを吐け (Senjou de detarame wo hake)
                       C              D
理由はわからないけど (Riyuu wa wakaranai kedo)
                                G                     E-
閻魔呼ばない、ワシの名前を (Enma yobanai, washi no namae wo)
                               C         D
誠実の言葉はない (Seijitsu no kotoba wa nai)
                               B-              E-
私が支配したぐらい (Watashi ga shihai shita gurai)
```

高市さん（Mrs. Robinson by Simon and Garfunkel）

映画『卒業』では、年上の女性が若者につけ込み、彼の純粋（じゅんすい）さや人生への不満を利用して、自分自身の肉体的・精神的な欲求を満たしていましたわね。無垢（むく）な人々を搾取（さくしゅ）して、自分たちの欲を満たす……。なんだか、最近どこかでとてもよく聞くお話なんじゃないかしら。

[Intro] A A D D G C A- C D- A G

[Chorus]

(G) C A-
君に乾杯、高市さん（Kimi ni kanpai, Takaichi-san）
C A- D-
老害は君を愛してる（Rougai wa kimi wo aishiteru）
G
ふぃふぃふぃ…（Fu fu fu...）
C A-
恵みある、高市さん（Megumi aru, Takaichi-san）
C A-
閻魔の冥土は待っている（Enma no meido wa matteiru）
D-
ふぃふぃふぃ…（Fu fu fu...）
A
ふぃふぃふぃ…（Fu fu fu...）

[Verse 1]

A
俺らへの計画を、少し知りたい（Orera e no keikaku wo, sukoshi shiritai）
D
空気を読むの、手伝うぜ（Kuuki wo yomu no, tetsudau ze）
G C A- D-
国会見渡せば,固い頭じいちゃんだけ(Kokkai miwataseba, katai atama jii-chan dake)
A G
官邸を歩いて、くつろげよ（Kantei wo aruite, kutsuroge yo）

[Chorus]

(G) C A-
君に乾杯、高市さん（Kimi ni kanpai, Takaichi-san）
C A- D-
老害は君を愛してる（Rougai wa kimi wo aishiteru）

G
ふぃふぃふぃ… (Fu fu fu...)
C A-
恵みある、高市さん (Megumi aru, Takaichi-san)
C A-
閻魔の冥土は待っている (Enma no meido wa matteiru)
D-
ふぃふぃふぃ… (Fu fu fu...)
A
ふぃふぃふぃ… (Fu fu fu...)

[Verse 2]

A
外人が来ないように、ルールを変えろ (Gaijin ga konai you ni, ruuru wo kaero)
D
戯言、教科書に入れる (Zaregoto, kyoukasho ni ireru)
G C A- D-
九条はどうせね、ただの提案かな？ (Kyuujou wa douse ne, tada no teian kana?)
A G
一番大事なのは、参政党有権者 (Ichiban daiji na no wa, Sanseitou yuukensha)

[Chorus]

(G) C A-
くくカチゅ、高市さん (Koo koo ka Choo, Takaichi-san)
C A- D-
老害は君を愛してる (Rougai wa kimi wo aishiteru)
G
ふぃふぃふぃ… (Fu fu fu...)
C A-
恵みある、高市さん (Megumi aru, Takaichi-san)
C A-
閻魔の冥土は待っている (Enma no meido wa matteiru)
D-
ふぃふぃふぃ… (Fu fu fu...)
A
ふぃふぃふぃ… (Fu fu fu...)

[Verse 3]

A
日曜の午後に、燃料補助金 (Nichiyou no gogo ni, nenryou hojokin)
D
討論会、大切じゃないね？ (Touronkai, taisetsu ja nai ne?)
G C A- D-
力があれば、自民党は負けない (Chikara ga areba, Jimintou wa makenai)
A G
円安は俺らに、大丈夫 (Enyasu wa orera ni, daijoubu)
[Chorus] (G) C A-
どこへ行った、韓鶴子さん？ (Doko e itta, Han Hakucha-san?)
C A- D-
解体したけど、影まだ生きている (Kaitaishita kedo, kage mada ikiteiru)
G
ふふふ… (Fu fu fu...)
C A-
何て言った、高市さん？ (Nante itta, Takaichi-san?)
C A-
問題を全部、消してくれるな？ (Mondai wo zenbu, keshite kureru na?)
D-
どうやって払う？ (Dou yatte harau?)
A
どうやって払う？ (Dou yatte harau?)

毎日（二〇五〇問題）（Everyday by Buddy Holly）

ここに記載されているオリジナル・アーティストよりも、ローグ・ウェーブ（Rogue Wave）による音源のほうが、今回のテーマには遥（はる）かにふさわしいと思うのだわ。とはいえ、オルゴールが鳴り響くキャンディーショップのような甘ったるい音楽に乗せて、政府をクソほどファックしてやるのも、案外楽しいかもしれないわね。

[Verse 1]

```
                  D         G         A
毎日、近づいてる（Mainichi, chikazuiteru）
                            D              G           A
コースターよりも早く落ちる（Koosutaa yori mo hayaku ochiru）
                          D         G      A     D
二〇五〇年がやって来るね（Nisen-gojuunen ga yatte kuru ne）
                       G      D   A
アヘイ、アヘイヘイ（A-hei, a-hei-hei）
```

[Verse 2]

```
                    D         G         A
毎日、人減ってるな（Mainichi, hito hetteru na）
                       D             G           A
経団連思考を、止めるさ（Keidanren shikou wo, tomeru sa）
                        D           G      A    D
完全破滅がやってこねぇ（Kanzen hametsu ga yatte konee）
                       G      D
アヘイ、アヘイヘイ（A-hei, a-hei-hei）
```

[Bridge]

```
                    G
毎日、年金は消える（Mainichi, nenkin wa kieru）
                           C
どこでも国会がぼやく（Doko demo kokkai ga boyaku）
                                A-
どうなろう、お前ら欲しいか？（Dou narou, omaera hoshii ka?）
       Bb          A
いい政策（Ii seisaku）
```

[Verse 3]

```
                    D           G          A
毎日、紙幣増刷せよ (Mainichi, shihei zousatsuseyo)
                      D       G           A
円が蒸気にの、を見ろ (En ga jouki ni no, wo miro)
                         D           G     A        D
破産の町が、やってきてね (Hasan no machi ga, yatte kite ne)
                      G     D   A
アヘイ、アヘイヘイ (A-hei, a-hei-hei)
```

[Bridge]

```
                    G
毎日、年金は消える (Mainichi, nenkin wa kieru)
                         C
どこでも国会がぼやく (Doko demo kokkai ga boyaku)
                              A-
どうなろう、お前ら欲しいか？ (Dou narou, omaera hoshii ka?)
      Bb        A
いい政策 (Ii seisaku)
                  D        G       A
毎日、近づいてる (Mainichi, chikazuiteru)
                         D            G          A
コースターよりも早く落ちる (Koosutaa yori mo hayaku ochiru)
                         D          G     A    D
二〇五〇年がやって来るね (Nisen-gojuunen ga yatte kuru ne)
                      G     D   A   D
アヘイ、アヘイヘイ (A-hei, a-hei-hei)
```

なぎら健壱（Buddy Holly by Weezer）

この曲、最初は政治的なメッセージを込めるつもりなんて、これっぽっちもなかったのだわ。でも、曲の中盤がどんな展開だったか、私すっかり忘れてしまっていたんですわね。いざ思い出してみると、自民党（が指揮する完全武装の軍事警察なんていうアイデアが浮かんできて……あまりにも面白すぎて、というかクソほど恐ろしすぎて、絶対に無視なんてできないんじゃないかしら。

[Verse 1]

```
                        E-                D
クソ政府の、デタラメさ（Kuso seifu no, detarame sa）
                    G
なんでイキってる？（Nande ikitteru?）
                           E-          D
あいつらに、何をした？（Aitsura ni, nani wo shita?）
                 G
なぜ敵視する？（Naze tekishi suru?）
```

[Pre-Chorus]

```
                   C              B-    E-
Woo hoo, 俺は君の（Woo hoo, ore wa kimi no）
                    C              B-    E-
Woo hoo, こちらこそ（Woo hoo, kochira koso）
                      C           C-
Woo hoo, 永遠にそうさ（Woo hoo, eien ni sou sa）
```

[Chorus]

```
                              G                  C          D
Ooh wee ooh, 俺はなぎら健壱（Ooh wee ooh, ore wa Nagira Kenichi）
                   G                  C        D
Oh oh, 君は若尾文子（Oh oh, kimi wa Wakao Ayako）
                           E-         C    D      G
あいつらに何されてもいい（Aitsura ni nani sarete mo ii）
              G  C  D      G
気にしないぜ（Ki ni shinai ze）
              G  C  D      G
気にしないぜ（Ki ni shinai ze）
```

[Interlude] E- E- D G

[Verse 2]

```
                        E-              D
恐れるなよ、届かない (Osoreru na yo, todokanai)
               G
権力は嘘さ (Kenryoku wa uso sa)
                       E-                      D
民衆から、奪っただけ (Minshuu kara, ubatta dake)
                G
渡す必要かな (Watasu hitsuyou kana)
```

[Pre-Chorus]

```
                   C              B-    E-
Woo hoo, 俺は君の (Woo hoo, ore wa kimi no)
                    C              B-    E-
Woo hoo, こちらこそ (Woo hoo, kochira koso)
                      C            C-
Woo hoo, 永遠にそうさ (Woo hoo, eien ni sou sa)
```

[Chorus]

```
                              G                  C          D
Ooh wee ooh, 俺はなぎら健壱 (Ooh wee ooh, ore wa Nagira Kenichi)
                  G                   C        D
Oh oh, 君は若尾文子 (Oh oh, kimi wa Wakao Ayako)
                           E-         C    D      G
あいつらに何されてもいい (Aitsura ni nani sarete mo ii)
              G  C  D      G
気にしないぜ (Ki ni shinai ze)
              G  C  D      G
気にしないぜ (Ki ni shinai ze)
```

[Bridge]

```
                       G        E-
バンバン！ドアを叩く (Ban ban! Doa wo tataku)
                                          G A G
またバン！床に伏せる (Mata ban! Yuka ni fuseru)
```

```
                        G            E-
どうする？ヤバくねぇ？ (Dou suru? Yabakunee?)
                                  G  A G
自民党が、追ってきて (Jimintou ga, otte kite)
                      G                  E-
奴らは金と、時間ある (Yatsura wa kane to, jikan aru)
                                           G  A G
どうしたベイビー？君と僕 (Doushita beibii? Kimi to boku)
                                  G                  E-
どうした、どうした、どうしたのさ？ (Doushita, doushita, doushita no sa?)
                                           G   A  G
ツボ民党が、止められるな (Tsubomintou ga, tomerareru na)
[Instrumental] C      | B-   E- | C     | B-  E- |
      C         C-
永遠にそうさ (Eien ni sou sa)
[Chorus/Outro]
                             G                 C          D
Ooh wee ooh, 俺はなぎら健壱 (Ooh wee ooh, ore wa Nagira Kenichi)
                  G                  C        D
Oh oh, 君は若尾文子 (Oh oh, kimi wa Wakao Ayako)
                           E-         C    D      G
あいつらに何されてもいい (Aitsura ni nani sarete mo ii)
              G  C  D      G
気にしないぜ (Ki ni shinai ze)
              G  C  D      G
気にしないぜ (Ki ni shinai ze)
              G  C  D      G
気にしないぜ (Ki ni shinai ze)
              G  C  D      G E- D E-
気にしないぜ (Ki ni shinai ze)
```

History:
The Good, The Bad, and The Ugly
歴史:
良いことも、悪いことも、クソみたいなことも

「歴史を知らぬ者は、それを繰り返す運命にある」と言いますけれど、どの国の歴史だって過ちで溢れかえっているものなのですわね。
過去の行いそのものを恥じる必要なんて、まったくないのだわ。真に恥ずべきなのは、そこから教訓を學ぼうとしないことなんじゃないかしら。
廣島を道しるべになさいな。かつての暴力を、愛と平和へと昇華させていくのだわ。

小野田（Ira Hayes by Johnny Cash）

この曲の元のバージョンは、国に帰ってきたのに受けるべき尊敬を受けられなかった兵士の、とてもよく似たテーマだわ。第二次世界大戦の時、硫黄島（いおうじま）でアメリカの旗を立てるのを手伝った、アイラ・ヘイズという男性のことだと私は思いますわね。彼はみんなに忘れられて、溝の中で一人きりで亡くなってしまったの。本当に悲しいお話じゃないかしら。

[Intro]

```
                    D       G
小野田…小野田…（Onoda... Onoda...）
```

[Chorus]

```
                                D       G
狂信者な、小野田さん（Kyoushinsha na, Onoda-san）
                              A               D
もう返事は、しないのさ（Mou henji wa, shinai no sa）
                    D           G
帝国の兵士でもなく(Teikoku no heishi demo naku)
                           A            D
密林の亡霊でもな（Mitsurin no bourei demo na）
```

[Verse I]

```
                    D                 G
みんな集まれ、話を聞け（Minna atsumare, hanashi wo kike ）
                         A                  D
一人の男を、忘れるない（Hitori no otoko wo, wasureru nai）
                           D                 G
紀州に生まれた、小野田寛郎（Kishuu ni umareta, Onoda Hiroo）
                    A               D
二十一の、武士の魂よ（Nijuu-ichi no, bushi no tamashii yo ）
                           D               G
中国の泥沼、隠すため（Chuugoku no doronuma, kakusu tame）
                         A                   D
奴らは戦を、南へ向けて（Yatsura wa ikusa wo, minami e mukete ）
                           D                 G
それでもお国が、彼を呼んだ（Soredemo okuni ga, kare wo yonda）
                           A                     D
その忠義だけを、胸に抱いた（Sono chuugi dake wo, mune ni daita）
```

[Verse 2: The Curse]

```
                                D                    G
「自決はするな」と、上官が言う（”Jiketsu wa suruna” to, joukan ga iu）
                           A               G
お前は帝国の、最後の銃（Omae wa teikoku no saigo no juu）
                          D                G
その言葉を、呪いとした（Sono kotoba wo, noroi to shita）
                     A                D
三十年で、胸に抱いた（San-juu nen de, mune ni daita）
                          D               G
山の上から、日本を見た（Yama no ue kara, Nippon wo mita）
                           A                  D
あいつは命令、待ち続けた（Aitsu wa meirei, machi-tsuzuketa）
                     D                G
国は変わった、光る街（Kuni wa kawatta, hikaru machi）
                           A                  D
マクドの看板、嘘みたいに（Makudo no kanban, uso mitai ni）
```

[Verse 3: The Search]

```
                        D                    G
五十九年、東京のビルで（Go-juu-kyuu nen, Toukyou no biru de）
                       A                   D
役人はペンを、走らせて（Yakunin wa pen wo, hashirasete ）
                              D                 G
「死んだ」と書類、サインした（”Shinda” to shorui, sain-shita ）
                           A              D
お国の記憶、消し去った（Okuni no kioku, keshisatta ）
                     D                    G
大学中退、鈴木が一人（Daigaku chuutai, Suzuki ga hitori ）
                           A                  D
雪男探し、森へ入り（Yukiotoko sagashi, mori e hairi ）
                              D           G
お国が諦めた、その男（Okuni ga akirameta, sono otoko）
                        A                      D
四日で見つけた、風来坊（Yokka de mitsuketa, fuuraibou）
```

[Verse 4: The Mascot Parade & The Cold Rejection]

D G
小野田は戻り、英雄になった (Onoda wa modori, eiyuu ni natta)
A D
生きた着ぐるみ、踊らされた (Ikita kigurumi, odorasareta)
D G
机の上の、臆病者たち (Tsukue no ue no, okubyou mono tachi)
A D
己の恥を、隠すために (Onore no haji wo, kakusu tame ni)
D G
本物の、傷を隠し (Honmono no, kizu wo kakushi)
A D
孤独な叫び、見ぬふり (Kodoku na sakebi, minu furi)
D G
「犬に骨」投げ、笑う奴ら ("Inu ni hone" nage, warau yatsura)
A D
空の言葉で、あいつを騙した (Kara no kotoba de, aitsu wo damashita)

[Verse 5: The Last Bastion]

D G
ブラジルへ逃げ、平和を求めた (Burajiru e nige, heiwa wo motometa)
A D
だけど義理からは、逃げられなかった (Dakedo giri kara wa, nigerarenakatta)
D G
日本のニュース、あいつを叩き (Nippon no nyusu, aitsu wo tataki)
A D
歪んだ世界で、生きる意志 (Yuganda sekai de, ikiru ishi)
D G
山へと戻り、生きる術教え (Yama e to modori, ikiru sube oshie)
A D
二〇一四、最後の砦 (Ni-sen-juu-yon, saigo no toride)
D G
裏切られても、義理を抱いた (Uragirareta mo, giri wo daita)
A D
義理から外れぬ、武士のままさ (Giri kara hazurenu, bushi no mama sa)

[Outro]

```
                    D                   G
狂信者な、小野田さん (Kyoushinsha na, Onoda-san)
                              A              D
死ぬまで、英雄のせい (Shinu made, eiyuu no sei)
                               D             G
四度もお国に、犯された (Yondo mo okuni ni, okasareta)
                                  A                        D
義理が掘った、溝の中で (Giri ga hotta, mizo no naka de)
```

一人のオランダ人船員（One Tin Soldier by Coven）

この曲は元々、キリスト教の教えを信じているのに、キリストらしくない行動をした人たちを批判する歌だわ。最近の高市（たかいち）さんや参政党（さんせいとう）の神谷（かみや）さんが主張している外国人を嫌うポピュリズムや、アメリカでの同じような、もしかしたらもっと強い感情を考えると、人種差別（じんしゅさべつ）がどれだけ恐ろしいかというお話は、今とてもタイムリーだと私は感じましたわね。それに、この特定の人種差別の結果が、何十年、もしかしたら何百年もの間、国全体にとってどれほどひどい経済的、技術的なダメージになったかを、思い出させてくれるんじゃないかしら。

[Verse 1]

```
                    G        D
みんな集まれ、この（Minna atsumare, kono）
                  E-
話をきいてくれ（Hanashi wo kiite-kure）
                   C        G
海辺に立った城と（Umibe ni tatta shiro to）
             C          |C    D  |
徳川幕府で（Tokugawa bakufu de）
                    G              D
城の中、自由欲しい（Shiro no naka, jiyuu hoshii）
                  E-
民が生きていた（Tami ga ikite-ita）
                        C            G
だけど幕府は不機嫌（Dakedo bakufu wa fukigen）
              |C    >       D   |G
力が怖かった（Chikara ga kowakatta）
```

[Chorus]

```
                   G            B-
隣人憎め、いいな（Rinjin nikume, ii na）
                   C                G
騙せも、いいだろう（Damase mo, ii darou）
                 G                D
神の名は使って（Kami no na wa tsukatte）
                   C             G
嘘で塗り固めろ（Uso de nurikatamero）
```

```
                      G             B-
```

審判の日がきても (Shinpan no hi ga kitemo)
C G
太鼓は鳴らないぜ (Taiko wa naranai ze)
G A-
朝に残るの、ただ (Asa ni nokoru no, tada)
N.C. G
銭と差別だけ (Zeni to sabetsu dake)
[Verse 2]
G D
城にこもった民は (Shiro ni komotta tami wa)
E-
焼かれ溺れたぜ (Yakare oboreta ze)
C G
祈る相手は神で (Inoru aite wa kami de)
C |C D |
江戸の王じゃねぇ (Edo no ou ja ne-e)
G D
王は臆病者で (Ou wa okubyou mono de)
E-
神など許さない (Kami nado yurusanai)
C G
南へ軍勢送り (Minami e gunzei okuri)
|C > D | G
希望を囲んだい (Kibou wo kakondai)
[Chorus]
G B-
隣人憎め、いいな (Rinjin nikume, ii na)
C G
騙せも、いいだろう (Damase mo, ii darou)
G D
神の名は使って (Kami no na wa tsukatte)
C G
嘘で塗り固めろ (Uso de nurikatamero)

G B-

審判の日がきても (Shinpan no hi ga kitemo)
C G
太鼓は鳴らないぜ (Taiko wa naranai ze)
G A-
朝に残るの、ただ (Asa ni nokoru no, tada)
N.C. G
銭と差別だけ (Zeni to sabetsu dake)

[Verse 3]

G D
城は耐えた、軍勢に (Shiro wa taeta, gunzei ni)
E-
飢えても弱っても (Uete mo yowatte mo)
C G
光が民を守る (Hikari ga tami wo mamoru)
C |C D |
幕府の弓槍を (Bakufu no yumi yari wo)
G D
王はオランダを呼んで (Ou wa Oranda wo yonde)
E-
船と大砲求め (Fune to taihou motome)
C G
民の城を壊して (Tami no shiro wo kowashite)
|C > D |G
希望を奪い出すぜ (Kibou wo ubaidasu ze)

[Verse 4]

G D
クックバッカが船出し (Kukkubakka ga fune dashi)
E-
海から大砲撃つ (Umi kara taihou utsu)
C G
城は耐えきれずに (Shiro wa taekirezu ni)
C |C D |
幕府の軍が立つ (Bakufu no gun ga tatsu)

G D

なぜオランダ裏切った？ (Naze Oranda uragitta?)
E-
同じ神拝むに (Onaji kami ogamu ni)
C G
ユダのように、銭のため (Yuda no you ni, zeni no tame)
|C > D |G
兄弟撃って逃げ去り (Kyoudai utte nige-sari)
[Final Chorus]
G B-
隣人憎め、いいな (Rinjin nikume, ii na)
C G
騙せも、いいだろう (Damase mo, ii darou)
G D
神の名は使って (Kami no na wa tsukatte)
C G
嘘で塗り固めろ (Uso de nurikatamero)
G B-
審判の日がきても (Shinpan no hi ga kitemo)
C G
太鼓は鳴らないぜ (Taiko wa naranai ze)
G A-
朝に残るの、ただ (Asa ni nokoru no, tada)
N.C. G
銭と差別だけ (Zeni to sabetsu dake)

諏訪之瀬島（If you’re going to San Francisco – by Scott McKenzie）

中村晃子（なかむら あきこ）がこの曲を日本語で歌って有名になったけれど、彼女は元の街であるサンフランシスコをテーマにしたままだったのだわ。でも私は、日本のヒッピーたちも注目（ちゅうもく）されるべきだと感じましたわね。彼らの物語も、もっとみんなに知ってもらう価値があるんじゃないかしら。

[VERSE 1]

```
                    B-        G        D   A
諏訪之瀬島に、行くなら（Suwanosejima ni, yuku nara）
                    B-        G     D      A
背広とハンコを、捨てろ（Sebiro to hanko wo, sutero）
                    B-        D         G    D
諏訪之瀬島に、行くなら（Suwanosejima ni, yuku nara）
                  D        B-                   A
優しい部族が、待つぞ（Yasashii buzoku ga, matsu zo）
```

[VERSE 2]

```
                    B-          G     D      A
あの火山島へ、漕ぎ出せば（Ano kazantō e, kogidaseba）
                    B-          G    D        A
今までの世界を終わろう（Ima made no Sekai wo owarou）
                   B-      D             G         D
魚釣り、土を、耕せば（Sakanatsuri, tsuchi wo, tagayaseba）
                    D        B-                 A
なりたい自分に、変わろう（Naritai jibun ni, kawarou）
```

[CHORUS / BRIDGE]

```
             C
この国のどこも（Kono kuni no doko mo）
政府のブーツの底（Seifu no būtsu no soko）
                  D
苦しむ人達（Kurushimu hitotachi）
           C
金のため争い（Kane no tame arasoi）
手に入らぬと知り（Te ni hairanu to shiri）
          D
別の道ある（Betsu no michi aru）
```

A
別の道ある（Betsu no michi aru）

[VERSE 3]

B- G D A
諏訪之瀬島に、来るなら（Suwanosejima ni, kuru nara）
B- G D A
望む生き方が、あるだろう（Nozomu ikikata ga, aru darou）
B- D G D
諏訪之瀬島に、来るなら（Suwanosejima ni, kuru nara）
D B- A
自然だけが神と、呼ぼう（Shizen dake ga kami to, yobou）

[OUTRO]

C#- E A E
諏訪之瀬島に、行くなら（Suwanosejima ni, yuku nara）
E C#- E
なりたい自分に、なろう…（Naritai jibun ni, narou...）

赤い天使 （Singin’ in Vietnam Talkin’ Blues by Johnny Cash）

元のバージョンでは、ジョニー・キャッシュがベトナムで兵士たちを楽しませる歌手でいるだけでも、どれだけ怖いかを歌っているのだわ。私は、ショーが終わっても帰ることができなくて、本当の地獄から抜け出せない人の恐怖を表現したかったですわね。若尾文子（わかお あやこ）は今までで一番美しい女性だし、「赤い天使」での彼女のキャラクターの物語が、このテーマにぴったりなんじゃないかしらと思いましたの。

[VERSE 1 - THE DEPARTURE]

```
                                G
昭和十四年の、ある朝で (Shōwa jūyon-nen no, aru asa de)
                              C
前線行きと、決められて (Zensen yuki to, kimerarete)
                                  A
若い看護婦、馬鹿なもんだ (Wakai kangofu, baka na mon da)
                             D
鞄に道具を、詰め込んだ (Kaban ni dōgu wo, tsumekonda)
                             G
哀れな兵隊のために… (Aware na heitai no tame ni...)
                                    C                          D
だから西へ向かった、天津… (Dakara nishi e mukatta, Tenshin...)
```

[VERSE 2 - THE WELCOME]

```
                           G
着いた基地で、大歓迎 (Tsuita kichi de, daikangei)
                                  C
でもすぐに地に落ち、大泥濘 (Demo sugu ni chi ni ochi, dai-deinei)
                                  A
男にベッドに、押し付けられ (Otoko ni beddo ni, oshitsukerare)
                             D
後ろから頭を、掴まれて (Ushiro kara atama wo, tsukamarete)
                               G              C
深く、意識が遠のいて… (Fukaku, ishiki ga tōnoite...)
                        D7
最悪だった。 (Saiaku datta.)
```

[VERSE 3 - THE DOCTOR]

```
                                  G
岡部先生も、悩んでた (Okabe-sensei mo, nayandeta)
```

C
この痛みに耐えきれず、狂ってた (Kono itami ni taekirezu, kurutteta)
A
生きるために飲んだ、薬のせいで (Ikiru tame ni nonda, kusuri no sei de)
D
彼の小さな兵隊は、立たなくて (Kare no chiisana heitai wa, tatanakute)
G
だからアタシが、手伝った… (Dakara atashi ga, tetsudatta...)
C D
それが仕事だから。 (Sore ga shigoto dakara.)

[VERSE 4 - THE ABYSS]

G
毎晩銃声が、近付いた (Maiban jūsei ga, chikazuita)
C
アタシの人生は、終わっていた (Atashi no jinsei wa, owatteita)
A
男たちも皆、同じだった (Otokotachi mo mina, onaji datta)
D
地獄じゃ親父に、戻れないから (Jigoku ja oyaji ni, modorenai kara)
D C
だから我々、続けるしかなかった… (Dakara wareware, tsuzukeru shika nakatta...)
D
死ぬか、それかさ。 (Shinu ka, sore ka sa.)

[VERSE 5 - THE DEAD END]

G
腕や脚を、失くしたままで (Ude ya ashi wo, nakushita mama de)
C
故郷に帰れば、生ける屍 (Furusato ni kaereba, ikeru shikabane)
A
嫁も貰えず、子もできやしない (Yome mo moraezu, ko mo deki ya shinai)
D
お国が彼らに、そう教え込んだい (Okuni ga karera ni, sō oshiekondai)
G
馬鹿だから、我々も信じた… (Baka dakara, wareware mo shinjita...)

C D
壊れて帰るなら… 死んだ方がいい。 (Kowarete kaeru nara... shinda hō ga ii.)

[VERSE 6 - THE HOSPITAL]

G
だから全員に、奉仕をした (Dakara zen'in ni, hōshi wo shita)

C
魂の抜けた、人形のようさ (Tamashii no nuketa, ningyō no yō sa)

A
死んでいく前の、ほんの少し (Shinde yuku mae no, honno sukoshi)

D
男の気分を、味わわせたし (Otoko no kibun wo, ajiwawaseta shi)

G C
じゃあアタシは？ 慰めはどこに…？ (Jā atashi wa? Nagusame wa doko ni...?)

D
これって、現実か…？ (Kore tte, genjitsu ka...?)

[VERSE 7 - THE DAMNATION]

G
ある日先生の、兵隊が立ち (Aru hi sensei no, heitai ga tachi)

C
その目に命の、光が射し (Sono me ni inochi no, hikari ga sashi)

A
でもそれを見て、さらに絶望 (Demo sore wo mite, sarani zetsubō)

D
人間らしさじゃ、生き残れないぞ (Ningen-rashisa ja, ikinokorenai zo)

G
ここでは無理だ… 絶対に… (Koko de wa muri da... zettai ni...)

C D
我々は、呪われてる。 (Wareware wa, norowareteru.)

[VERSE 8 - THE FINAL ASSAULT]

G
その直後だった、敵の突撃 (Sono chokugo datta, teki no totsugeki)

C
この陣地を守る、援軍はない (Kono jinchi wo mamoru, engun wa nai)

A
アタシも銃を持ち、塹壕に入った (Atashi mo jū wo mochi, zangō ni haitta)

D
守る価値もない、この命だが (Mamoru kachi mo nai, kono inochi da ga)
G C
そもそもこれは, 生きてるとは言えない (Somosomo kore wa, ikiteru to wa ienai)
D
我々の誰も。 (Wareware no daremo.)

[VERSE 9 - THE WARNING]

G
アタシの語る、話はこれだけ (Atashi no kataru, hanashi wa kore dake)
C
生きた地獄への、旅のすべて (Ikita jigoku e no, tabi no subete)
A
もしお国がまた、こう言ったなら (Moshi Okuni ga mata, kō itta nara)
D
「この戦争は、必要なんだ」と (”Kono sensō wa, hitsuyō nanda” to)
G
間違いだって、気付いてくれ… (Machigai datte, kizuite kure...)
C
奴らはアンタのことなんか、(Yatsura wa anta no koto nanka,)
D
欠片も思っちゃいない。(kakera mo omotcha inai.)
G
誰のこともな。(Dare no koto mo na.)

馬にお茶よ！(Beer for my Horses by Toby Keith and Willie Nelson)

元々は、昔の開拓地（かいたくち）の正義についての曲だわ。でも私は、幕府（ばくふ）が本物の悪魔（あくま）と戦って、その後で居酒屋（いざかや）で酔っぱらうような、戦国時代（せんごくじだい）のアニメのテーマソングみたいにしたいと思いましたわね。元の曲では馬に飲ませるビールを頼んでいるけれど、日本の馬はもう少しお行儀（ぎょうぎ）がいいんじゃないかしら。

[VERSE 1]

```
                              D              A        G
聞けよ、山風の太鼓の音 (Kike yo, yamakaze no taiko no ne)
                                 D                  A         D
谷の鬼が、将軍を泣かせるぜ (Tani no oni ga, shōgun wo nakaseru ze)
                            D                  A     G
寺を砕き、障子を裂いた (Tera wo kudaki, shōji wo saita)
                               D                A        D
鋼の心の、誇りを食った (Hagane no kokoro no, hokori wo kutta)
         B-           A      D
鋼の心さ… (Hagane no kokoro sa...)
```

[VERSE 2]

```
                                 D                          A     G
桜の下、師範が言ったんだし (Sakura no shita, shihan ga ittan da shi)
                                   D                      A       D
「闇を切り裂き、魂を放ち」 ("Yami wo kirisaki, tamashii wo hanachi")
                             D                      A         G
京の鋼で、社を見つけろ (Kyō no hagane de, yashiro wo mitsukero)
                                 D                      A      G
化け物を狩り、地獄へ沈めろ (Bakemono wo kari, jigoku e shizumero)
               B-          A     D
世界に見せよう… (Sekai ni miseyou...)
```

[CHORUS]

```
                          A                G     D
誇りだけは、見失うな (Hokori dake wa, miushinau na)
                             D                  A       D
刀を抜け、一線を引けさ！ (Katana wo nuke, issen wo hike sa!)
                                 A                        G      D
鬼血千上がったら、太鼓を叩こう (Oni chi hiagattara, taiko wo tatakou)
```

D A D
酒が湧き出る、ところに行こう (Sake ga wakideru, tokoro ni ikou)
D A G
悪に向かって、盃上げろ！ま- (Aku ni mukatte, sakazuki agero! maa)
C G D
「家来に酒、馬にお茶よ！」 ("Kerai ni sake, uma ni ocha yo!")

[VERSE 3]

D A G
悪い鬼が、多すぎるぜ (Warui oni ga, oosugiru ze)
D A D
心の闇、葦の中の飢え (Kokoro no yami, ashi no naka no ue)
D A G
刃の先で、増やす墓標 (Yaiba no saki de, fuyasu bohyō)
D A D
黄泉へ送り、閻魔に任せよう (Yomi e okuri, Enma ni makaseyou)
B- A d
閻魔に任せよう… (Enma ni makaseyou...)

[CHORUS]

A G D
誇りだけは、見失うな (Hokori dake wa, miushinau na)
D A D
刀を抜け、一線を引けさ！ (Katana wo nuke, issen wo hike sa!)
A G D
鬼血千上がったら、太鼓を叩こう (Oni chi hiagattara, taiko wo tatakou)
D A D
酒が湧き出る、ところに行こう (Sake ga wakideru, tokoro ni ikou)
D A G
悪に向かって、盃上げろ！ま- (Aku ni mukatte, sakazuki agero! maa)
C G D
「家来に酒、馬にお茶よ！」 ("Kerai ni sake, uma ni ocha yo!")

[FINAL CHORUS]

A G D
誇りだけは、見失うな (Hokori dake wa, miushinau na)
D A D
刀を抜け、一線を引けさ！ (Katana wo nuke, issen wo hike sa!)

A G D
鬼血千上がったら、太鼓を叩こう（Oni chi hiagattara, taiko wo tatakou）
D A D
酒が湧き出る、ところに行こう（Sake ga wakideru, tokoro ni ikou）
D A G
悪に向かって、盃上げろ！ま-（Aku ni mukatte, sakazuki agero! maa）
C G D
「家来に酒、馬にお茶よ！」（”Kerai ni sake, uma ni ocha yo!”）
C G N.C. D
「家来に酒、馬にお茶よ！」（”Kerai ni sake, uma ni ocha yo!”）

ボロ着物（Coat of Many Colors by Dolly Parton）

*この曲は今までで一番素晴らしい曲の一つだから、挑戦するのは怖かったの**だわ**。でも正直に言うと、**私**はドリーを超えたと思います**わね**。彼女の曲は聖書（せいしょ）のお話だったけれど、**私**の曲はすべての歴史を一つの服に編み込んでいるんじゃない**かしら**。「人は、自分がそう選んだ時だけ、貧しくなる」というメッセージですの。*

[VERSE 1]　　G

昔々を今でも思い出す（Mukashi mukashi wo Ima demo omoidasu）

　　C

高度経済の、成長期（Kōdo keizai no, seichō-ki）

　　G

ベッドの下から，母が取った箱にゃ（Beddo no shita kara Haha ga totta hako nya）

　　C

ボロ切れの、山積み（Borogire no, yamazumi）

[VERSE 2]

　　G

色は合わない,ちっちゃいボロだけ（Iro wa awanai, Chitchai boro dake）

　　D

七五三に着る着物も持ってねぇ（Shichi-Go-San ni kiru Kimono mo mottenee）

　　G

母はボロを縫った,全部に愛が入ってる(Haha wa boro wo nutta, Zenbu ni ai ga haitteru）

　　D

色んな色の着物,アタシの好きな服(Ironna iro no kimono Atashi no sukina fuku）

[VERSE 3]

　　G

縫ってる間，話を聞いた（Nutteru aida, Hanashi wo kiita）

　　D

全部のボロの物語は（Zenbu no boro no Monogatari wa）

　　G

「これはお婆ちゃんの野球服から。(”Kore wa obāchan no Yakyū-fuku kara.）

　　D

大正時代にゃ選手だったのさ」(Taishō jidai nya senshu datta no sa”）

[CHORUS]

　　C　　G

母にもらった色んな色の着物（Haha ni moratta Ironna iro no kimono）

　　C　　G　　D

誇りで着ましたボロだけだけど（Hokori de kimashita Boro dake dakedo）

G C
金がなかったけど何も持ってないから（Kane ga nakatta kedo Nanimo mottenai kara）
G D G
色んな色の着物は金みたいだった（Ironna iro no kimono kin mitai datta）

[VERSE 4]

G
別のボロ切れは高祖父の服（Betsu no borogire wa Kōsofu no fuku）
D
明治の江戸で火消しとして働く（Meiji no Edo de Hikeshi toshite hataraku）
C
「あんたを見てたら誇りあると思う（”Anta wo mitetara Hokori aru to omou）
G D G
生存者だから未来を掴もう」と（Seizonsha dakara Mirai wo tsukamou” to）

[VERSE 5]

G
最後のボロを，母は見せた（Saigo no boro wo, Haha wa miseta）
D
「これはお父さんの軍服から来た」（”Kore wa otōsan no Gunpuku kara kita”）
G C
空襲の夜,逃げ出さずよ（Kūshū no yoru, Nigedasazu yo）
G D G
隣人を救い,炎に散ったの…（Rinjin wo sukui, Honō ni chitta no...）

[VERSE 6]

G
神社に着くとみんな笑った（Jinja ni tsuku to Minna waratta）
D
意味が分からない，歴史ある、だから（Imi ga wakaranai, Rekishi aru, dakara）
G C
金はないけど豊かだったのさ（Kane wa nai kedo Yutaka datta no sa）
G D G
色んな色の着物,母からくれた（Ironna iro no kimono, Haha kara kureta）

風亡霊武者 (Ghost Riders in the Sky by Johnny Cash / Stan Jones)

このコレクションのために翻訳する曲を選んだ時、これが初めての本当に歴史的なテーマだったのだわ。三成（みつなり）の軍が関ヶ原（せきがはら）の嵐の雲に乗って、時間と空間を超えて呪（のろ）うための裏切り者を探しているというアイデアは、本当に素晴らしいイメージですわね。だから、私はこの最高に盛り上がるカントリーの曲に、絶対にそのイメージを重ね合わせるべきだと思ったんじゃないかしら。

[VERSE 1] (capo this one up a bit)

```
                              B-                  D
老いた浪人歩いた、風吹く夜 (Oita rōnin aruita, kaze fuku yoru)
                          B-
三国の尾根に、嵐が降る (Sangoku no one ni, arashi ga furu)
三重と滋賀と、福井の道 (Mie to Shiga to, Fukui no michi)
                             G                E-          B-
ススキの上に、大軍が立ち！ (Susuki no ue ni, taigun ga tachi!)
```

[VERSE 2]

```
                        B-                D
錆びた鎧と、裂けた旗 (Sabita yoroi to, saketa hata)
                          B-
抜かれた刀の、冷たい刃 (Nukareta katana no, tsumetai ha)
伊吹山から、叫びの雨 (Ibukiyama kara, sakebi no ame)
                        G                    E-       B-
死んだ三成の、男だぜ！ (Shinda Mitsunari no, otoko da ze!)
```

[CHORUS]

```
                               B-              D               B-
イピ・アイ・エー…イピ・アイ・オー… (Yippie-yi-yay...Yippie-yi-oh...)
              G            B-
風亡霊武者… (Kaze bōrei musha...)
```

[VERSE 3]

```
                            B-                  D
雷鳴が響いて、怒声が舞う (Raimei ga hibiite, dosei ga mau)
                          B-
裏切り者を、探し彷徨う (Uragirimono wo, sagashi samayou)
呪いを受けし、秋の空 (Noroi wo ukeshi, aki no sora)
                                 G                          E-       B-
走れど着かぬ、無間の罠だから！ (Hashiredo tsukanu, mugen no wana dakara!)
```

[VERSE 4]

B- D

亡霊馬の上、三成の影（Bōrei uma no ue, Mitsunari no kage）

B-

浪人を見つめ、低く告げたぜ（Rōnin wo mitsume, hikuku tsugeta ze）

「忠義を忘れ、誇りを捨てると（"Chūgi wo wasure, hokori wo suteru to）

G E- B-

お前も我らの、軍勢に入るぞ」（Omae mo warera no, gunzei ni hairu zo"_

[FINAL CHORUS]

B- D B-

イピ・アイ・エー…イピ・アイ・オー…（Yippie-yi-yay...Yippie-yi-oh...）

G B-

風亡霊武者…（Kaze bōrei musha...）

武者だ（The Warrior by Scandal）

巴御前（ともえごぜん）はクソかっこいい。言いたいことはそれだけだ。

[VERSE 1]

```
                  A             B-
逃げな、逃げ出せば（Nigena, nigedaseba）
                 A               G
あの勇気、裏切るさ（Ano yūki, uragiru sa）
                 A                  B-
その目で見つめるな（Sono me de mitsumeru na）
                 A                  G
この戦場は、野蛮だ（Kono senjō wa, yaban da）
                A               B-
戦も、野蛮なもん（Ikusa mo, yaban na mon）
                    A                      G
血まみれの死、あげるよ（Chimamire no shi, ageru yo）
                 A                     B-
軍の中へ、馬を駆け（Gun no naka e, uma wo kake）
                        A    G
粟津の野へと、ついてこいさ！（Awazu no no e to, tsuite koi sa!）
                A G
狂っている…！（Kurutteiru...!）
アタシの刃（は）は…！（Atashi no ha wa...!）
```

[CHORUS]

```
                                  D            G         A    B-
平家の前衛、切り裂け！（斬！斬！）（Heike no zen'ei, kirisake!（Zan! Zan!））
                 D   G        A     B- D
アタシは武者だ！（Atashi wa musha da!）
                       G             A       B-
そう、アタシは武者だ！（Sō, atashi wa musha da!）
                   D          A               G
刃と刃，勝つんだ！（Yaiba to yaiba, Katsun da!）
            A        D     G
生き残ったら(Ikinokottara)
```

A B- D G A B-
その武者だ！武者だ！ (Sono musha da! Musha da!)
[VERSE 2]
A B-
突撃、向かってこい (Totsugeki, mukatte koi)
A G
刃が刺した、アタシに (Yaiba ga sashita, atashi ni)
A B-
ぶつかり合え、夜取るぜ (Butsukari ae, yoru toru ze)
A G
鉄がまた、肉を噛んで (Tetsu ga mata, niku wo kande)
A B-
狩るか、狩られるか (Karu ka, karareru ka)
A G
我が君、名呼んでるさ (Waga kimi, na yonderu sa)
A B-
勝利の首、掲げるぜ (Shōri no kubi, kakageru ze)
A G
この武者ぶり、抑えない (Kono musha-buri, osaenai)
A G
アタシは、檻に入らない！ (Atashi wa, ori ni hairanai!)
[CHORUS]
D G A B-
平家の前衛、切り裂け！ (斬！斬！) (Heike no zen'ei, kirisake! (Zan! Zan!))
D G A B- D
アタシは武者だ！ (Atashi wa musha da!)
G A B-
そう、アタシは武者だ！ (Sō, atashi wa musha da!)
D A G
刃と刃, 勝つんだ！ (Yaiba to yaiba, Katsun da!)
A D G
生き残ったら(Ikinokottara)
A B- D G A B-
その武者だ！武者だ！ (Sono musha da! Musha da!) [OUTRO]

D G A B-
平家の前衛、切り裂け！（斬！斬！）（Heike no zen’ei, kirisake! (Zan! Zan!)）
D G A B- D
アタシは武者だ！（Atashi wa musha da!）
G A B-
そう、アタシは武者だ！（Sō, atashi wa musha da!）
A G D
師重（もろしげ）必殺…！（Moroshige hissatsu...!）

飛び加藤（Secret Agent Man by Johnny Rivers）

元々はジェームズ・ボンドをゆるくベースにしたポップソングなのだわ。私は、戦国時代（せんごくじだい）のシークレット・エージェント（スパイ）というアイデアを、「飛び加藤（とびかとう）」に重合わせるのが大好きでしたわね。彼は自分の仕事ができすぎて、生かしておくことが許されなかった男なんじゃないかしら。

[VERSE 1]

```
                                  E-          A-          E-
危険を生きる、忍びのヤツだ（Kiken wo ikiru, shinobi no yatsu da）
                            E-                          B
大名たちにも、顔は見せな（Daimyō-tachi ni mo, kao wa misena）
                                  E-                  A-
術を使ったら、命を奪うな（Jutsu wo tsukattara, inochi wo ubau na）
                              E-          A-          E-
明日の朝日は、拝めねぇよ！（Ashita no asahi wa, ogamenee yo!）
```

[CHORUS]

```
                         N.C      B-   E-       B-   E-
飛び加藤だ！ 飛び加藤だ！（Tobi Katō da! Tobi Katō da!）
                                       C           B                  E-
どっかの大名に首,ぜひ取られるぜ！(Dokka no daimyō ni kubi, zehi torareru ze!)
```

[VERSE 2]

```
                               E-          A-            E-
でかい幻術にゃ、気をつけな（Dekai genjutsu nya, ki wo tsukena）
                            E-                         B
手品の裏には、殺し屋だ（Tejina no ura ni wa, koroshiya da）
                                  E-                A-
空で影を旅、ただの幻（Sora de kage wo tabi, tada no maboroshi）
                                     E-       A-       E-
明日の朝日は、拝めねぇよ！（Ashita no asahi wa, ogamenee yo!）
```

[CHORUS]

```
                         N.C      B-   E-       B-   E-
飛び加藤だ！ 飛び加藤だ！（Tobi Katō da! Tobi Katō da!）
                                       C           B                  E-
どっかの大名に首,ぜひ取られるぜ！(Dokka no daimyō ni kubi, zehi torareru ze!)
```

[Guitar Solo]

[VERSE 3]

E- A- E-

ある日は上杉を、探ってた (Aru hi wa Uesugi wo, sagutteta)

E- B

次の日は武田へと、走ったな (Tsugi no hi wa Takeda e to, hashitta na)

E- A-

凄すぎる術、殺すしかねぇヤツ (Sugosugiru jutsu, korosu shika nee yatsu)

E- A- E-

明日の朝日は、拝めねぇよ！ (Ashita no asahi wa, ogamenee yo!)

[CHORUS]

N.C B- E- B- E-

飛び加藤だ！ 飛び加藤だ！ (Tobi Katō da! Tobi Katō da!)

C B E-

どっかの大名に首,ぜひ取られるぜ！(Dokka no daimyō ni kubi, zehi torareru ze!)

[Guitar Solo]

[OUTRO]

N.C B- E- B- E

飛び加藤だ！ 飛び加藤だ！ (Tobi Katō da! Tobi Katō da!)

アナタハンの島 (Hotel California by The Eagles)

*これは、アナタハン島（とう）についての２つの曲のうちの１つ目なの**だわ**。このコレクションの中で、**私**が２回も取り上げる、ただ一つのとても具体的なテーマです**わね**。あそこで起きたことは本当にめちゃくちゃだったし、和子（かずこ）がその地獄から逃げ出した後に起きたことも、同じくらいひどかったから,彼女の物語を伝えるには２つの曲が必要なんじゃない**かしら**。これがその最初の曲ですの。*

[VERSE 1]

E- **B**
暗い海辺で、髪に絡む腐敗（Kurai umibe de, kami ni karamu fuhai）

D **A**
むせ返るジャングルの、熱い匂い（Musekaeru janguru no, atsui nioi）

C **G**
遠くに落ちた、B-29（Tōku ni ochita, B-Nijūku）

A-
頭が重く,視界沈む(Atama ga omoku, shikai shizumu）

B
あの戦争は,置いてきたはず(Ano sensō wa, oitekita hazu）

E- **B**
開けた場所、島に一人の女（Aketa basho, shima ni hitori no onna）

D **A**
「ここは天国か地獄か」と、思った（”Koko wa tengoku ka jigoku ka” to, omotta）

C **G**
男、銃を獲った、道を示した（Otoko, jū wo totta, michi wo shimeshita）

A- **B**
岩の上の三十の亡霊,声が聞こえた(Iwa no ue no sanjū no bōrei, koe ga kikoeta）

[CHORUS]

C **G**
アナタハンの島へ、ようこそな（Anatahan no shima e, yōkoso na）

B
残酷な場所 （残酷な場所）（Zankoku na basho (zankoku na basho)）

E-
絶望の顔（Zetsubō no kao）

C **G**
アナタハンの島は、空いてるだ（Anatahan no shima wa, aiteru da）

A-
いつかおいで （いつかおいで）（Itsuka oide (itsuka oide)）

B
たぶん死ぬぜ… (Tabun shinu ze...)

[VERSE 2]

E- B
和子の人生は狂った,呪われた女王 (Kazuko no jinsei wa kurutta, norowareta joō)

D A
三十二人の飢えた男、彼女を奪おうと (Sanjūni-nin no ueta otoko, kanojo wo ubaō to)

C G
ジャングルで争う、血も汗もある (Janguru de arasou, chi mo ase aru)

A- B
なんでどんどん殺す？忘れるか？思い出す？(Nande don-don korosu?Wasureru ka? Omoidasu?)

E- B
秘密の会議で、彼女の死を選んだ (Himitsu no kaigi de, kanojo no shi eranda)

D
歪んだ良心を正すため (Yuganda ryōshin wo tadasu tame)

A
殺人を計画した (satsujin wo keikakushita)

C G
彼女は逃げ込み、一ヶ月の逃避行 (Kanojo wa nigekomi, ikkagetsu no tōhikō)

A- B
狩人と狼から、闇夜を彷徨う… (Kariudo to ōkami kara, yamiyo wo samayō...)

[CHORUS]

C G
アナタハンの島へ、ようこそな (Anatahan no shima e, yōkoso na)

B
残酷な場所 (残酷な場所) (Zankoku na basho (zankoku na basho))

E-
絶望の顔 (Zetsubō no kao)

C G
アナタハンの島は、血を流す (Anatahan no shima wa, chi wo nagasu)

B
残酷な驚き (驚き) (Zankoku na odoroki (odoroki))

B
蠅の王様に (Hae no ōsama ni)

[VERSE 3]

E- **B**
ついに船を呼んだ,彼ら救おうとした(Tsui ni fune wo yonda, karera sukuou to shita)
D **A**
洗脳された男たち,ビラを無視した(Sennō sareta otokotachi, bira wo mushi shita)
C
奴らに犯されたのに (Yatsura ni okasareta noni)
G
和子は手を伸ばした(Kazuko wa te wo nobashita)
A- **B**
帰国まで一年で、感謝は何か？ (Kikoku made ichi-nen de, kansha wa nani ka?)
E- **B**
男たちの恥、真実を隠した (Otokotachi no haji, shinjitsu wo kakushita)
D **A**
男尊女卑のデタラメで,クソ本を書いた(Danson johi no detarame de, kusohon wo kaita)
C
「落ち着け、和子」った世間が (”Ochitsuke, Kazuko” tta seken ga)
G
「信じるもの決める」(”Shinjiru mono kimeru”)
A- **B**
ジャングルから出れるが,恥から逃げられず(Janguru kara dereru ga, haji kara nigerarezu)

[Outro] E- B D A C H A- B E-

気楽にな（Take it Easy by The Eagles）

これは和子（かずこ）についての２つ目の曲で、今回は彼女の「2番目の地獄」に注目しているのだわ。それは、日本の世間（せけん）と、男尊女卑（だんそんじょひ）の本当に恐ろしい力のことですわね。私としては、社会のそんな冷たい目がどれほど残酷（ざんこく）だったか、みんなに伝わるんじゃないかしらと思いますの。

[Intro] G |G |A-|D |G |G |A-|D |G

[VERSE 1]

```
                                    G
救助船が着いて、嘘つきの男性（Kyūjosen ga tsuite, usotsuki no dansei）
                                  D              C
十二人、レイプ魔ばかり（Jūni-nin, reipu-ma bakari）
                                G                    D
半分は飼い主、石を投げるし（Hanbun wa kainushi, ishi wo nageru shi）
                                              C                  G
真実の欠片（かけら）、置いていき（Shinjitsu no kakera, oite-iki）
```

[CHORUS]

```
                              E-            C  G
気楽にな、気楽にな（Kiraku ni na, kiraku ni na）
                                           A-          C            E-
フラッシュの光で、狂うんじゃないさ（Furasshu no hikari de, kuruun ja nai sa）
                                C                 G
今のうち、笑ってなよ（Ima no uchi, waratte na yo）
                                        C                    G
誰も理解しようと、しないぞ（Daremo rikai shiyō to, shinai zo）
                                A-             C
世間に君は、化け物（Seken ni kimi wa, bakemono）
                             G
気楽にな（Kiraku ni na）
```

[VERSE 2]

```
                           G
東京の舞台、和子の腐敗（Tōkyō no butai, Kazuko no fuhai）
                              D             C
見世物で、恥ずかしい（Misemono de, hazukashii）
                                G                D
野蛮の戦な、女王様かしら？（Yaban no ikusa na, joō-sama kashira?）
```

C G
服脱ぐ、世界のために (Fuku nugu, sekai no tame ni)
[CHORUS 2]
E- C G
気楽にな、気楽にな (Kiraku ni na, kiraku ni na)
A- C E-
男尊女卑の重みで、狂うんじゃないさ (Danson johi no omomi de, kuruun ja nai sa)
C G
今のうち、セリフ言え (Ima no uchi, serifu ie)
C G
誰も理解しようと、しねぇ (Daremo rikai shiyō to, shinee)
A- C
男の本、ぜひ買え (Otoko no hon, zehi kae)
G
気楽にな (Kiraku ni na)
[VERSE 3]
G
時間あるかな、他人の罪被りさ (Jikan aru kana, tanin no tsumi kaburi sa)
D C
国の重荷、背負っていた (Kuni no omoni, seotteita)
G D
生きるため探す、世間は許さず (Ikiru tame sagasu, seken wa yurusazu)
C G
真実どこ、分からな！ (Shinjitsu doko, wakarana!)
[OUTRO]
E- C G
国民よ、彼女汚そう (Kokumin yo, kanojo yogosou)
A- C E-
兵士は立派と、嘘をつこう (Heishi wa rippa to, uso wo tsukou)
C G C G
男は平気ね、彼女にしょうがねぇ (Otoko wa heiki ne, kanojo ni shō ga nee)
A- C G
死ぬまでって、「旅行だった」と… (Shinu made tte, ”ryokō datta” to...)
[Outro] C G C G C G C

朝から晩まで（9 to 5 by Dolly Parton）

普通の、一生懸命（いっしょうけんめい）働く人ほど,尊敬（そんけい）されるべき人はいないのだわ。私にとっては、大野耐一（おおの たいいち）こそが,そういう普通に働く人たちの「王様（おうさま）」だと思いますわね。彼の教えは,現場（げんば）の人たちを一番大切にしているんじゃないかしら。

[VERSE 1]

G
ベッド転げ落ち、工場（こうば）へ向かい（Beddo koroge-ochi, kōba e mukai）
C
ムダを探して、イラつく世界（Muda wo sagashite, iratsuku sekai）
G **D**
ラインを止めて、流れを正そう（Rain wo tomete, nagare wo tadasou）
G
現場に飛び込み、チョークで円を（Genba ni tobikomi, chōku de en wo）
C
足が痛むまで、一時間見ろ（Ashi ga itamu made, ichi-jikan miro）
G **D** **G**
かんばん方式、俺が仕切ろう！（Kanban hōshiki, ore ga shikirou!）

[CHORUS 1]

C
朝から晩まで、システム作って（Asa kara ban made, shisutemu tsukutte）
G
名前を変わる、クソ同族経営！(Namae wo kawaru, kuso dōzoku keiei!)
C
ムダ、ムリ、ムラを、すべて無くした（Muda, Muri, Mura wo, subete nakushita）
A **D**
俺の名前、けど豊田じゃないさ（Ore no namae, kedo Toyoda ja nai sa）
C
朝から晩まで、リーン生産方式（Asa kara ban made, rīn seisan hōshiki）
G
一族の役員は、ただ休むだけ（Ichizoku no yakuin wa, tada yasumu dake）
C
アンドンの紐引くが、手柄はないさ（Andon no himo hiku ga, tegara wa nai sa）
A **D** **G**
気を抜けば,狂っちまうぜ.この会社！(Ki wo nukeba, kurutchimau ze, kono kaisha!)

[VERSE 2]

G
五十年の汗、価値の流れ描く（Gojū-nen no ase, kachi no nagare egaku）
C
一族の夢の、ただの補足（Ichizoku no yume no, tada no hosoku）
G D
標準作業、ラインは止まらねぇ（Hyōjun sagyō, rain wa tomaranee）
G
英二が手柄、佐吉は名声（Eiji ga tegara, Sakichi wa meisei）
C
苗字（みょうじ）の運が、良かっただけで（Myōji no un ga, yokatta dake de）
D D D
俺の計算なきゃ、車はねぇんだぜ！（Ore no keisan nakya, kuruma wa neen da ze!）
[CHORUS 2]
C
朝から晩まで、システム作って（Asa kara ban made, shisutemu tsukutte）
G
名前を変わる、クソ同族経営！(Namae wo kawaru, kuso dōzoku keiei!)
C
ムダ、ムリ、ムラを、すべて無くした（Muda, Muri, Mura wo, subete nakushita）
A D
俺の名前、けど豊田じゃないさ（Ore no namae, kedo Toyoda ja nai sa）
C
朝から晩まで、在庫を削る（Asa kara ban made, zaiko wo kezuru）
G
社長がすべて、栄光を奪う（Shachō ga subete, eikō wo ubau）
C
頭使う、けど手柄はないさ（Atama tsukau, kedo tegara wa nai sa）
A D G
気を抜けば,狂っちまうぜ.この会社！(Ki wo nukeba, kurutchimau ze, kono kaisha!)
[FINAL CHORUS]
C
朝から晩まで、システム作って（Asa kara ban made, shisutemu tsukutte）
G
名前を変わる、クソ同族経営！(Namae wo kawaru, kuso dōzoku keiei!)

C
ムダ、ムリ、ムラを、すべて無くした（Muda, Muri, Mura wo, subete nakushita）
A D
俺の名前、けど豊田じゃないさ（Ore no namae, kedo Toyoda ja nai sa）
C
朝から晩まで、システム作って（Asa kara ban made, shisutemu tsukutte）
G
名前を変わる、クソ同族経営！(Namae wo kawaru, kuso dōzoku keiei!)
C
ムダ、ムリ、ムラを、すべて無くした（Muda, Muri, Mura wo, subete nakushita）
A D
俺の名前、けど豊田じゃないさ（Ore no namae, kedo Toyoda ja nai sa）

姉川 (The Battle of New Orleans by Johnny Horton)

戦い（たたかい）が歴史的（れきしてき）なものだと、歌の中で明るく楽しむことができて、犯罪（はんざい）ではなく冒険（ぼうけん）のようになるのは、なんだか不思議（ふしぎ）なのだわ。ジョニー・ホートンの「ニューオーリンズの戦い」は、まさにそういう曲ですわね。私は、ミシシッピ川の代わりとして姉川（あねがわ）に重ね合わせ、サビには新しく手に入れた鉄砲（てっぽう）が登場（とうじょう）するようにしたのだけれど、この組み合わせはとても面白いんじゃないかしら。

[INTRO]

[VERSEI]

```
                          G            C
元亀元年、少しの米持ち (Genki gannen, sukoshi kome mochi)
                                  D                   G
火縄銃の火薬で、出た、勝負に (Hinawajuu no kayaku de, deta, shoubu ni)
                                                    C
織田の軍勢と一緒、近江に行った (Oda no gunzei to issho, Oumi ni itta)
                                       D                   G
姉川のほとりで、浅井兵と戦った (Anegawa no hotori de, Azai hei to tatakatta)
```

[CHORUS]

```
                          G
銃を撃っても、侍まだ来た (Juu wo utte mo, samurai mada kita)
                                                    D          G
さっきよりずっと数が減ったけど (Sakki yori zutto kazu ga hetta kedo)
                                    G
もう一度撃つと、奴ら逃げ出した (Mou ichido utsu to, yatsura nigedashita)
                                                  D       G
血の水下った、あの姉川を！ (Chi no mizu kudatta, ano Anegawa wo!)
```

[VERSE 2]

```
                          G            C
朝倉が来て、俺たちを見た (Asakura ga kite, ore-tachi wo mita)
                                       D                   G
木を抜けて、側面を破りたかった (Ki wo nukete, sokumen wo yaburitakatta)
                                                        C
徳川が笑い、火を縄につけたぜ (Tokugawa ga warai, hi wo nawa ni tsuketa ze)
                                              D                   G
鉄砲の弾が、歌うのを見せたため (Teppou no tama ga, utau no wo miseta tame)
```

[CHORUS]

G
銃を撃っても、侍まだ来た（Juu wo utte mo, samurai mada kita）
D G
さっきよりずっと数が減ったけど（Sakki yori zutto kazu ga hetta kedo）
G
もう一度撃つと、奴ら逃げ出した（Mou ichido utsu to, yatsura nigedashita）
D G
血の水下った、あの姉川を！（Chi no mizu kudatta, ano Anegawa wo!）

[VERSE 3]

G C
本多忠勝が、蜻蛉切抜いた（Honda Tadakatsu ga, Tonbokiri nuita）
D G
浅瀬から朝倉を怖がらせた（Asase kara Asakura wo kowagaraseta）
G C
煙る銃身に鉛玉を詰めたぞ（Kemuru juushin ni namari tama wo tsumeta zo）
D G
見るまで撃ち続けた、旗落ちるのを（Miru made uchi tsuzuketa, hata ochiru no wo）

[CHORUS]

G
銃を撃っても、侍まだ来た（Juu wo utte mo, samurai mada kita）
D G
さっきよりずっと数が減ったけど（Sakki yori zutto kazu ga hetta kedo）
G
もう一度撃つと、奴ら逃げ出した（Mou ichido utsu to, yatsura nigedashita）
D G
血の水下った、あの姉川を！（Chi no mizu kudatta, ano Anegawa wo!）

[OUTRO]

G
浅瀬を走り、木々を抜けて走（Asase wo hashiri, kigi wo nukete hashi）
G D G
鎧の膝まで泥につかって走た（Yoroi no hiza made doro ni tsukatte hashita）
G
早すぎて騎馬隊も捕まえられな（Hayasugite kibatai mo tsukamaerarena）

```
                                  G                    D          G
後ろに織田軍がとどめを刺した (Ushiro ni Oda-gun ga todome wo sashita)
                                                       D       G
血の水下った、あの姉川を... (Chi no mizu kudatta, ano Anegawa wo...)
                                                       D       G
血の水下った、あの姉川を... (Chi no mizu kudatta, ano Anegawa wo...)
```

覚えとけ、高遠！（Remember the Alamo – Johnny Cash and Jane Bowers）

アラモの戦い（たたかい）は、アメリカの歴史（れきし）の中で最も有名な戦いの一つなのだわ。
そこは、負ける運命（うんめい）にあった少人数の男たちが、それでもそれが正しいことだと感じて立ち上がり、戦った場所ですわね。私は、高遠（たかとお）の包囲戦（ほういせん）というテーマが、そのアイデアに完璧（かんぺき）に重ね合わせることができるんじゃないかしらと思いましたの。

[Verse 1]

```
                          G         D         G      D    G  D  G  D
三千の兵士 織田に挑まれた (Sanzen no heishi, Oda ni idomareta)
                           G       D        G     D      G   D   G   D
信濃の空を 埋め尽くす旗 (Shinano no sora wo, umetsukusu hata)
                          C            G
死ぬまで戦う者は立て(Shinu made tatakau mono wa tate)
                      D                G
生きる者は逃げろ (ikiru mono wa nigero)
                        G       D     G       D       G    D   G  D
武田の男ら 誰も引かな (Takeda no otoko-ra, dare mo hikana)
```

[CHORUS]

```
                                C                                B-
行くぜ信忠！地獄へ道連れぞ (Iku ze Nobutada! Jigoku e michizure zo)
                                C                    G
甲斐の国 知らせるためぞ (Kai no kuni shiraseru tame zo)
                      D       G     D G D G D G
覚えとけ、高遠！ (Oboetoke, Takatou!)
```

[VERSE 2]

```
                                 G       D        G      D     G      D  G  D
火縄が鳴るぜ 火薬は乾いてる (Hinawa ga naru ze, kayaku wa kawaiteru)
                                G       D       G     D       G   D  G  D
城壁這いつくばり 十人殺す (Jouheki haitsukubari, juunin korosu)
                       C              G
勇敢な盛信は笑った (Yuukan na Morinobu wa waratta)
                              D             G
目に誇りを浮かべて (me ni hokori wo ukabete)
                                G         D      G          D       G   D  G  D
使者の鼻削ぎ 代わりさ挨拶！ (Shisha no hana sogi, gawari sa aisatsu!)
```

[CHORUS]

```
                              C                                B-
行くぜ信忠！地獄へ道連れぞ (Iku ze Nobutada! Jigoku e michizure zo)
                              C                  G
甲斐の国 知らせるためぞ (Kai no kuni shiraseru tame zo)
                    D       G     D G D G D G
覚えとけ、高遠！ (Oboetoke, Takatou!)
```

[VERSE 3]

```
                       G        D      G       D       G D G D
東の勝頼 助けは来な (Higashi no Katsuyori, tasuke wa kona)
                         G      D          G    D       G
織田の軍勢が 飢えた獣さ (Oda no gunzei ga, ueta kemono sa)
                  C              G
門破れ血の庭 (Mon yabure chi no niwa)
                                    D               G
最後の男倒れるまで戦い (saigo no otoko taoreru made tatakai)
                         G        D        G       D        G  D  G  D
三千の侍 壁を背に死んだ (Sanzen no samurai, kabe wo se ni shinda)
```

[CHORUS]

```
                              C                                B-
行くぜ信忠！地獄へ道連れぞ (Iku ze Nobutada! Jigoku e michizure zo)
                              C                  G
甲斐の国 知らせるためぞ (Kai no kuni shiraseru tame zo)
                    D       G     D G D G D G
覚えとけ、高遠！ (Oboetoke, Takatou!)
```

「カズ」の残骸 (The Wreck of the Edmund Fitzgerald by Gordon Lightfoot)

エドモンド・フィッツジェラルド号（ごう）は、会社が強欲（ごうよく）で、船を出すべきではない時に出航（しゅっこう）させたせいで、スペリオル湖（こ）の嵐（あらし）の中で沈（しず）んでしまったアメリカの貨物船（かもつせん）なのだわ。その結果（けっか）、29人もの尊（とうと）い命が失（うしな）われてしまいましたわね。私は、そうやって現場（げんば）の命を危険（きけん）にさらすような企業の強欲さは、悲（かな）しいことに、決してアメリカだけのものではないんじゃないかしらと思いますの。

[Verse 1]

Asus2 E-
アイヌから続く伝説 (Ainu kara tsuzuku Densetsu)
G D Asus2
北海道の北の海 (Hokkaidou no kita no umi)
Asus2 E-
海は死者を返さな (Umi wa shisha wo kaesana)
G D Asus2
春の嵐が吹く時 (Haru no arashi ga fuku toki)
Asus2 E-
客と船員の二十六人 (Kyaku to senin no nijuuroku-nin)
G D Asus2
カシュニの滝へ向かった (Kashuni no taki e mukatta)
Asus2 E-
小さな船は沈みかけ (Chiisana fune wa shizumikake)
G D Asus2
金に目が眩み、社長が (Kane ni me ga kurami, shachou ga)

[Verse 2]

Asus2 E-
観光港の自慢の船 (Kankou minato no jiman no fune)
G D Asus2
ウトロの港を出港す (Utoro no minato wo shukkou su)
Asus2 E-
漁師は荒れ模様を知り (Ryoushi wa aremoyou wo shiri)
G D Asus2
「明日にした方がいい」と言う (”Ashita ni shita hou ga ii” to iu)
Asus2 E-
だが机の上の社長は (Daga tsukue no ue no shachou wa)
G D Asus2

地元の忠告を無視した (Jimoto no chuukoku wo mushi shita)
Asus2 E-
KAZU を深い海へ出し (KAZU wo fukai umi e dashi)
G D Asus2
船首と壊れた機械、割れた (Senshu to kowareta kikai, wareta)
[Verse 3]
Asus2 E-
午後になり、海が荒れ出す (Gogo ni nari, umi ga aredasu)
G D Asus2
手すりを越えて水が打つ (Tesuri wo koete mizu ga utsu)
Asus2 E-
昼の一時にハッチが割れ (Hiru no ichiji ni hacchi ga ware)
G D Asus2
も止まった、エンジンのポンプ (Mo tomatta, enjin no ponpu)
Asus2 E-
無線は壊れて使えない (Musen wa kowarete tsukaenai)
G D Asus2
客のスマホで電話した (Kyaku no sumaho de denwa shita)
Asus2 E-
だが電波は切れ、冷たい代償 (Daga denpa wa kire, tsumetai daishou)
G D Asus2
凍える暗闇へ沈むさ (Kogoeru kurayami e shizumu sa)
[Verse 4]
Asus2 E-
神の愛はどこへ行くのか？ (Kami no ai wa doko e yuku no ka?)
G D Asus2
水が氷点下になる時 (Mizu ga hyoutenka ni naru toki)
Asus2 E-
海保は言う、生きていただろう (Kaiho wa iu, ikite ita darou)
G D Asus2
社長が出さなければ…へ海 (Shachou ga dasanakereba... e umi)
Asus2 E-
ハッチがまともなら助かった (Hacchi ga matomo nara tasukatta)
G D Asus2
朝、岸辺に留まっていたら (Asa, kishibe ni todomatte itara)

Asus2 E-
だが無責任な男の欲が (Daga musekinin na otoko no yoku ga)
G D Asus2
漁師の警告を越えさせた (Ryoushi no keikoku wo koesaseta)

[Verse 5]

Asus2 E-
静かな公民館で祈る (Shizukana kouminkan de inoru)
G D Asus2
ウトロの冷たい北の港 (Utoro no tsumetai kita no minato)
Asus2 E-
神社の鐘が二十六回鳴る (Jinja no kane ga nijuuroku-kai naru)
G D Asus2
明日を見ない命のためよ (Asu wo minai inochi no tame yo)
Asus2 E-
アイヌから続く伝説 (Ainu kara tsuzuku Densetsu)
G D Asus2
北海道の北の海 (Hokkaidou no kita no umi)
Asus2 E-
海は死者を返さな (Umi wa shisha wo kaesana)
G D Asus2
春の嵐が吹く時 (Haru no arashi ga fuku toki)

奴らを引き離せ (Come Out and Play by The Offspring)

アメリカのストリートギャングであるクリップスとブラッズは、自分たちの仲間（なかま）を示すために色（カラー）を使っていたことでよく知られているのだわ。私は、この関係（かんけい）が源氏（げんじ）と平家（へいけ）に驚（おどろ）くほど見事に重ね合わせることができると感じましたわね。彼らもまた、ギャングたちと全（まった）く同じように自滅的（じめつてき）な存在（そんざい）だったんじゃないかしら。

[Intro] D A D C D A C D

N.C.

オイ！ (Oy!)

おい、奴らを引き離せ！ (Oi, yatsura wo hikihanase!)

[Verse I]

D A D C

白旗振るか (Shirohata furu ka)

D A D C

赤旗、または… (Akahata, matawa...)

D A D C

てめぇは京都で歩いたら (Temee wa Kyouto de aruitara)

D A D C

首狙われるだな (Kubi nerawareru da na)

[Prechorus] G Bb A C

侍たち、鎧を着込む (Samurai-tachi, yoroi wo kikomu)

G Bb A C

御所の門で番兵殺す (Gosho no mon de banpei korosu)

D A D C

異なる旗を、掲げていれば (Kotonaru hata wo, kakagete ireba)

A D

斬り捨て,斬り捨て,斬り捨て,斬り捨て,オイ(Kirisute, kirisute, kirisute, kirisute Oy!)

[Chorus] A D C

おめぇ、侮辱してる？ (Omee, bujoku shiteru?)

D N.C.

斬！斬！奴ら分離しなきゃよ (Zan! Zan! Yatsura bunri shinakya yo)

D A D C

オイ、おめぇ、まだ唾を吐いてる？ (Oy, omee, mada tsuba wo haiteru?)

D N.C.

斬！斬！奴ら分離しなきゃよ (Zan! Zan! Yatsura bunri shinakya yo)

D A D C
オイ！しょうがねぇだろう (Oy! Shou ga ne-e darou)
A G Bb A
我々は伝説になろう (Ware ware wa densetsu ni narou)
DADC D A D C D A C D
オイ！戦おう！ (Oy! Tatakaou!)
[Hook] N.C.
奴らを引き離せ！ (Yatsura wo hikihanase!)
[Verse 2]
D A D C
頼朝は遠くで (Yoritomo wa tooku de)
D A D C
企んでる (Takuranderu)
D A D C
清盛は、高熱で (Kiyomori wa, kounetsu de)
D A D C
絶対死にかけてる (Zettai shinikaketeru)
[Prechorus] G Bb A C
源氏の軍勢、まだ終わらず (Genji no gunzei, mada owarazu)
G B- A C
崖を駆け下り、砦も燃やす (Gake wo kakeori, toride mo moyasu)
D A D C
平氏の兵士たち、パニック中 (Heishi no heishi tachi, panikku naka)
A D
みんな死ぬな,死ぬな,死ぬな,死ぬな,オイ(Minna shinu na,shinu na,shinu na,shinu na Oy)
[Chorus] A D C
おめぇ、侮辱してる？ (Omee, bujoku shiteru?)
D N.C.
斬！斬！奴ら分離しなきゃよ (Zan! Zan! Yatsura bunri shinakya yo)
D A D C
オイ、おめぇ、まだ唾を吐いてる？ (Oy, omee, mada tsuba wo haiteru?)
D N.C.
斬！斬！奴ら分離しなきゃよ (Zan! Zan! Yatsura bunri shinakya yo)
D A D C
オイ！しょうがねぇだろう (Oy! Shou ga ne-e darou)

A G Bb A
我々は伝説になろう (Ware ware wa densetsu ni narou)
DADC D A D C D A C D
オイ！戦おう！ (Oy! Tatakaou!)
[Hook] N.C.
奴らを引き離せ！ (Yatsura wo hikihanase!)
[Bridge / Fast Outro]
G Bb A C
水際に追い込まれ、逃げ場ない (Mizugiwa ni oikomare, nigeba nai)
G Bb A C
壇ノ浦の海峡、波の戦い (Dan-no-ura no kaikyou, nami no tatakai)
D A D C
幼い天皇、剣と沈むな (Osanai tennou, tsurugi to shizumu na)
A D
平家は完全に海落ちるぜ（オイ！オイ！）(Heike wa kanzen ni, umi ochiru ze (Oy! Oy!))
[Chorus]
A D C
おめぇ、侮辱してる？ (Omee, bujoku shiteru?)
D N.C.
斬！斬！奴ら分離しなきゃよ (Zan! Zan! Yatsura bunri shinakya yo)
D A D C
オイ、おめぇ、まだ唾を吐いてる？ (Oy, omee, mada tsuba wo haiteru?)
D N.C.
斬！斬！奴ら分離しなきゃよ (Zan! Zan! Yatsura bunri shinakya yo)
D A D C
オイ！しょうがねぇだろう (Oy! Shou ga ne-e darou)
A G Bb A
我々は伝説になろう (Ware ware wa densetsu ni narou)
DADC D A D C D A C D
オイ！戦おう！ (Oy! Tatakaou!)
[Hook] N.C.
奴らを引き離せ！ (Yatsura wo hikihanase!)

キッコーマン(2 become 1 by The Spice Girls)

これは本当にバカバカしい曲なのだわ。私がまさか、キッコーマンの醤油（しょうゆ）についてのクソみたいなラブソングを書いてしまうなんて、自分でも全く信じられませんわね。一体どうしてこんなものを作ってしまったんじゃないかしらと、自分自身に呆（あき）れてしまいますの。

[Intro] E- D G C E- D G A-

[Verse 1]

```
                    E-          D
炒った麦と豆、ずっと（Itta mugi to mame, zutto）
                G           C
茂木と高梨、一緒（Mogi to Takanashi, issho）
                                E-     D       G       D
仕込んで寝かせ、仕込んで寝かせ（Shikonde nekase, shikonde nekase）
                              E-         D
市場の危険、取り払おう(Shijou no kiken, toriharaou)
                      G          C
一族統合、交わろう（Ichizoku tougou, majiwarou）
                       B-    D      G    C
俺らできる、俺らできる（Orera dekiru, orera dekiru）
```

[Bridge]

```
                   C                 B-
麹をもっと、近づけて（Kouji wo motto, chikazukete）
                A-             C
仕込めよ、仕込めよ（Shikome yo, shikome yo）
                               C       G     A-       D
今夜は八つが、一つになる（Konya wa yattsu ga, hitotsu ni naru）
```

[Chorus]

```
                                        G            D              C
こんなに醤油を、求めたことないね（Konna ni shouyu wo, motometa koto nai ne）
(一緒に仕込みたい)((Issho ni shikomitai))
                                  G          D            C
味見をしたら、もっと欲しいぜ（Ajimi wo shitara, motto hoshii ze）
(一緒に仕込みたい)((Issho ni shikomitai))
                   C           G
旨味解放しよう（Umami kaihou shiyou）
```

```
                              Bb   G     D
バッチリレシピだぞ (Bacchiri reshipi da zo)
[Verse 2]
                            E-             D
ライバル同士の、ブランド (Raibaru doushi no, burando)
                         G           C
奪い合ってた、市場も (Ubaiatteta, shijou mo)
                               E-        D          G         C
解決しようぜ、解決しようぜ (Kaiketsu shiyou ze, kaiketsu shiyou ze)
                       E-          D
野田醤油の未来へ (Noda Shouyu no mirai e)
                        G                C
一族仕込めば最高で (Ichizoku shikomeba,saikou de)
                           B-         D    G         C
瓶に詰めろ、瓶に詰めろ (Bin ni tsumero, bin ni tsumero)
[Bridge]
                       C               B-
記憶通りの、この味 (Kioku doori no, kono aji)
                     A-               C
仕込めよ、仕込めよ (Shikome yo, shikome yo)
                               C        G      A-        D
今夜は八つが、一つになる (Konya wa yattsu ga, hitotsu ni naru)
[Chorus]
                                            G              D                C
こんなに醤油を、求めたことないね (Konna ni shouyu wo, motometa koto nai ne)
(一緒に仕込みたい) ((Issho ni shikomitai))
                                  G            D              C
味見をしたら、もっと欲しいぜ (Ajimi wo shitara, motto hoshii ze)
(一緒に仕込みたい) ((Issho ni shikomitai))
                       C             G
旨味解放しよう (Umami kaihou shiyou)
                              Bb   G     D
バッチリレシピだぞ (Bacchiri reshipi da zo)
[Bridge]
                         C               B-
```

賢くブレンド、しようぜ (Kashikoku burendo, shiyou ze)
A-　　C
注げよ、注げよ (Sosoge yo, sosoge yo)
C　　G　　A-　　D
今夜は八つが、一つになる (Konya wa yattsu ga, hitotsu ni naru)
[Outro]
G　　D　　C
こんなに醤油を、求めたことないね (Konna ni shouyu wo, motometa koto nai ne)
(一緒に仕込みたい) ((Issho ni shikomitai))
G　　D　　C
味見をしたら、もっと欲しいぜ (Ajimi wo shitara, motto hoshii ze)
(一緒に仕込みたい) ((Issho ni shikomitai))
G　　D　　C
こんなに醤油を、求めたことないね (Konna ni shouyu wo, motometa koto nai ne)
(一緒に仕込みたい) ((Issho ni shikomitai))
G　　D　　C
味見をしたら、もっと欲しいぜ (Ajimi wo shitara, motto hoshii ze)
(一緒に仕込みたい) ((Issho ni shikomitai))

俺たちの火じゃねぇ (We Didn't Start the Fire - The Sengoku Cut)

ビリー・ジョエルは同じ尺（しゃく）に 40 年分の単純なアメリカ史を詰め込んだのだわ。でも、こっちは 148 年分の戦国時代（せんごくじだい）ですわね。どう考えても、私の勝ちなんじゃないかしら。

[Intro] D A E- G x4

[Verse 1]

```
                          D                    A
応仁戦争始めな、山名細川 (Ounin sensou hajime na, Yamana Hosokawa)
                        E-                   G
京都から出る、山城国一揆 (Kyouto kara deru, Yamashiro hoki)
                          D                  A
一向一揆加賀で、侍に打倒ぜ (Ikkou ikki Kaga de, samurai ni datou ze)
                   E-                  G
足利義尚、死ぬ時 (Ashikaga Yoshihisa, shinu toki)
```

[Interlude] D A E- G

[Verse 2]

```
                        D                     A
義材将軍だ、細川に敗れた (Yoshimura shougun da, Hosokawa ni yabureta)
                    E-                  G
北条早雲小田原攻略 (Houjou Soun Odawara kouryaku)
                        D                  A
細川今は、暗殺で殺された (Hosokawa ima wa, ansatsu de korosareta)
                      E-             G
発令された今川目録 (Hatsurei sareta Imagawa Mokuroku)
```

[Chorus]

```
                   D              A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
                                    E-                  G
応仁の乱から、ずっと燃えてるさ (Ounin no ran kara, zutto moeteru sa)
                   D              A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
                                   E-               G
天下統一まで、血は止まらねぇ (Tenka touitsu made, chi wa tomarane-e)
```

[Verse 3]

```
                        D                   A
足利戻り、中国制限貿易 (Ashikaga modori, Chuugoku seigen boueki)
```

E- G
上杉から江戸、後ろが (Uesugi kara Edo, ushiro ga)
D A
家康のじいちゃん、領土を拡大な (Ieyasu no jii-chan, ryoudou wo kakudai na)
E- G
お寺が燃える、奈良には (Otera ga moeru, Nara ni wa)
[Verse 4]
D A
武田は甲斐国で、父追い出して (Takeda wa Kai koku de, chichi oidashite)
B- G
武田家の当主になるため (Takeda-ke no toushu ni naru tame)
D A
三河、今川、外人種子島 (Mikawa, Imagawa, gaijin Tanegashima)
B- G
氏康関東勝った川越で (Ujiyasu Kantou katta Kawagoe de)
[Chorus]
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
E- G
応仁の乱から、ずっと燃えてるさ (Ounin no ran kara, zutto moeteru sa)
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
E- G
天下統一まで、血は止まらねぇ (Tenka touitsu made, chi wa tomarane-e)
[Bridge]
E- B-
義輝は将軍、敗者だ信玄 (Yoshiteru wa shougun, haisha da Shingen)
E- A
フランシスコ・ザビエル,キリスト持っていく(Furanshisuko Zabieru, Kirisuto motte iku)
E- B-
義隆切腹、信秀も死ぬ (Yoshitaka seppuku, Nobuhide mo shinu)
E- A
川中島で、十年戦争始める (Kawanakajima de, juu-nen sensou hajimeru)
[Interlude] Asus2 A Asus2 A
[Verse 5]

D A
結婚同盟作りました,宮島,晴賢(Kekkon doumei tsukurimashita, Miyajima, Harukata)
E- G
武田と上杉、その戦いにくい (Takeda to Uesugi, sono tatakainikui)
D A
川中島三回目、義元死んだ風 (Kawanakajima san-kai me, Yoshimoto shinda kaze)
E- G
武田、島を持つ、上杉びっくり (Takeda, shima wo motsu, Uesugi bikkuri)
[Chorus]
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
E- G
応仁の乱から、ずっと燃えてるさ (Ounin no ran kara, zutto moeteru sa)
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
[Verse 6 this is the big one]
E- G
天下統一まで、血は止まらねぇ (Tenka touitsu made, chi wa tomarane-e)
D A
信長家康、川中島が終わる (Nobunaga Ieyasu, Kawanakajima ga owaru)
E- G
誰も勝たなかった、まさかさ (Dare mo katanakatta, masaka sa)
D A
義輝殺され、信長岐阜から (Yoshiteru korosare, Nobunaga Gifu kara)
E- G
そこから京都に行った (Soko kara Kyouto ni itta)
D A
信玄が逃げる、姉川ライフル (Shingen ga nigeru, Anegawa raifuru)
E- N.C. E- N.C. G N.C. G
燃えてる比叡山、マジで信長さん！ (MOETERU HIEIZAN, MAJIDE NOBUNAGA SAN!)
[Chorus]
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)

E- G
応仁の乱から、ずっと燃えてるさ (Ounin no ran kara, zutto moeteru sa)
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
E- G
天下統一まで、血は止まらねぇ (Tenka touitsu made, chi wa tomarane-e)

[Verse 7]

D A
家康罠に行く、信玄病気から死ぬ (Ieyasu wana ni iku, Shingen byouki kara shinu)
E- G
信長は義昭を追放 (Nobunaga wa Yoshiaki wo tsuihou)
D A
本能寺光秀、信長すぐ死ね！ (Honnou-ji Mitsuhide, Nobunaga sugu shine!)
E- G
秀吉戻る、山崎に行く (Hideyoshi modoru, Yamazaki ni iku)

[Verse 9]

D A
秀吉関白、逃げろイエズス！(Hideyoshi Kampaku, nigero Iezusu!)
E- G
小田原後、侍分離令 (Odawara ato, samurai bunrirei)
D A
ニ回韓国で負けた,関ヶ原すげぇな(Ni-kai Kankoku de maketa, Sekigahara sugee na)
E- G
徳川新しい,将軍になったついに！(TOKUGAWA ATARASHII, SHOGUN NI NATTA TSUI NI!)

[Chorus/outro]

D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
E- G
応仁の乱から、ずっと燃えてるさ (Ounin no ran kara, zutto moeteru sa)
D A
俺らの火じゃねぇ (Orera no hi ja ne-e)
E- G
天下統一まで、血は止まらねぇ (Tenka touitsu made, chi wa tomarane-e)

無事で (Safe and Sound by Taylor Swift and the Civil Wars)

ねえ、ご存知かしら？『となりのトトロ』が初めて上映された時―あなたが「アメリカで」とおっしゃったけれど、実はこれ、1988 年の日本での劇場公開時の話なのですけれど―なんと『火垂るの墓』との二本立ての同時上映だったのだわ。「はいどうぞ、この世で最もハッピーで喜びに満ちた素晴らしい世界をご覧あそばせ」なんて完全に油断させておきながら、その直後にクソほど目を腫らして号泣させて、絶望のどん底で家に帰らせるなんて。どう考えても、観客の感情を弄（もてあそ）ぶにもほどがあるんじゃないかしら。

[Intro] E- B- G D

[Verse 1]

```
                          E-                  B-
灰が落ちる、その顔見て (Hai ga ochiru, sono kao mite)
                                  G                  D
絶対に離さない、って言った (Zettai ni hanasanai, tte ita)
                     E-        B-       G  D
隅田川が燃え上がり (Sumidagawa ga moeagari)
                                  E-      B-        G          D
「置いてかないで」と、お前は泣いた (”Oitekanaide” to, omae wa naita)
                           E-         B-         G
でも鉄の鳥はもう過ぎ去り (Demo tetsu no tori wa mou sugisari)
```

[Chorus]

```
                          G            D   A           G
目を閉じて、灰が降っている (Me wo tojite, hai ga futteiru)
                                  D          A       G
大丈夫さ、飛行機は消えてる (Daijoubu sa, hikouki wa kieteru)
                                   D   A         B-   A     G
朝の光で、二人は無事で (Asa no hikari de, futari wa buuu jiiii deeee)
```

[Instrumental] E- B- D G x2

[Verse 2]

```
                                  E-              B-         G            D
壕から見ちゃダメだよ,全部燃えている(Gou kara micha dame da yo, zenbu moeteiru)
                     E-         B-          G    D
外の戦争まだ続き (Soto no sensou mada tsuzuki)
                               E-           B-        G        D
このドロップの缶、握りしめて (Kono doroppu no kan, nigirishimete)
                           E-     B-      G
飴がもうなくなっているも (Ame ga mou nakunatteiru mo)
```

```
                    G
なくなっているも (Nakunatteiru mo)
[Chorus]
                        G           D   A          G
目を閉じて、灰が降っている (Me wo tojite, hai ga futteiru)
                                   D          A       G
大丈夫さ、飛行機は消えてる (Daijoubu sa, hikouki wa kieteru)
                                    D   A         B-   A     G
朝の光で、二人は無事で (Asa no hikari de, futari wa buuu jiiii deeee)
[Interlude] G D B- A x2
[Chorus]
        G           D   |A
目を閉じて (Me wo tojite)
       G          D    |A
大丈夫さ (Daijoubu sa)
        G               D
蛍が来れば (Hotaru ga kureba)
             A         B-   A     G
二人は無事で (Futari wa buuu jiiii deeee)
[Outro] G D A A G D A A
```

江戸の華（Like A Rock by Bob Seeger）

日本の歴史上、江戸の町火消（まちびけし）ほど無骨で男らしい集団は他に存在しないと思うのだわ。もちろん、彼らの性質には確かに厄介な部分もあったわね。建物を容赦なくぶっ壊す破壊性に、血気盛んな縄張り争い、そして最終的にヤクザへと繋がっていくその経緯なんかはね……。それでも、紛れもない事実として、あのシボレーのトラックなんかより、彼らの方がずっとこの曲にふさわしいんじゃないかしら。

[Intro]G x2

[Verse 1]

```
                    D
堂々と立ち、炎に汗をかく（Doudou to tachi, honoo ni ase wo kaku）
                     G
龍の気分さ、誰よりも強く（Ryuu no kibun sa, dare yori mo tsuyoku）
                           C                      G
「江戸の華」だぜ、怖いものなし（”Edo no hana” da ze, kowai mono nashi）
          D
岩ぞ！（Iwa zo!）
```

[Verse 2]

```
                     D
十八歳さ、悩みは知らねぇ（Juuhassai sa, nayami wa shiranee）
                    G
銭で働き、貯金はないぜ（Zeni de hataraki, chokin wa nai ze）
                  C                     G
だが墨を入れ、体は鋼（Daga sumi wo ire, karada wa hagane）
          D
岩ぞ！（Iwa zo!）
```

[Verse 3]

```
                   D
手は震えず、瞳は輝き（Te wa furuezu, hitomi wa kagayaki）
                     G
夜の屋根を、誇り高く歩き（Yoru no yane wo, hokori takaku aruki）
                 C                    G
戦いの中、纏を握り（Tatakai no naka, Matoi wo nigiri）
          D
岩ぞ！（Iwa zo!）
```

[Chorus]

D
岩ぞ！誰よりも強かったぜ（Iwa zo! Dare yori mo tsuyokatta ze）
G
岩ぞ！火の粉を浴びて立って（Iwa zo! Hinoko wo abite tatte）
C G
岩ぞ！最高の眺め（Iwa zo! Saikou no nagame）
D
岩ぞ！（Iwa zo!）

[Bridge]

B-
まっすぐに，自由なまま （Massugu ni, Jiyuu na mama）
D
商人の悲鳴動じず（Shounin no himei doujizu）
G
高く立ち，燃える壁で （Takaku tachi, Moeru kabe de）
E- A
江戸の夢、信じる（Edo no yume, shinjiru）

[Verse 4]

D
あれから二十年、どこへ消えた？（Are kara nijuunen, doko e kieta?）
G
二十年だ、古い江戸から（Nijuunen da, furui Edo kara）
C G
時々座って、考えるのさ（Tokidoki suwatte, kangaeru no sa）
D
どこだ…（Doko da...）

[Verse 5]

D
そして深夜、時折（Soshite shinya, tokiori）
G
暖炉の火に、照らされ（Danro no hi ni, terasare）
C G
肩の龍が、白く褪せる（Kata no ryuu ga, shiroku aseru）

```
                D
思い出す… (Omoidasu...)
[Chorus]
                          D
岩ぞ！ まっすぐ立ち (Iwa zo! Massugu tachi)
                          G
岩ぞ！ 門を駆け抜け (Iwa zo! Mon wo kakenuke)
                          C
岩ぞ！ 重い纏を振り (Iwa zo! Omoi Matoi wo furi)
           D
岩ぞ！ (Iwa zo!)
                          D
岩ぞ！ 肌に灰を浴び (Iwa zo! Hada ni hai wo abi)
                            G
岩ぞ！ 風に立ち向かい (Iwa zo! Kaze ni tachimukai)
                         C
岩ぞ！ 再び己を見 (Iwa zo! Futatabi onore wo mi)
           D
岩ぞ！ (Iwa zo!)
```

Love, Loss, and Other Emotions
愛と別れ、そして揺れ動く想い

私、とても孤独な人間なのだわ。
『オー・リリ』の中で、自分の愛を捧げる相手が欲しいと切に願っている、あの人物とまるで同じなの。
どうかこの本を、あなたが見つけ、そして絆を結んでくれた、私の魂の欠片(かけら)だと思ってちょうだいね。
他人を心に受け入れることを恐れないで。そして、自分自身を誰かと分かち合うことも、決して恐れないでほしいの。
「建前(たてまえ)」をクソだと見下して唾を吐くのは簡単なことだけれど、この社会においては、あれも非常に重要な役割を果たしているのですわね。でも、それがすべてではないわ。あれはあくまで、適当な距離感で「中間」に留まっている人たちのためのものなのだわ。
だからこそ、親しい友人や、あるいは全くの初對面の他人と一緒にいる時くらいは、本当のあなたを彼らに見せてあげて。あなたもまた、彼らの本当の姿を知ることができるようにね。

変態野郎 (Creep by Radiohead)

この曲は、まさに純粋な本音だわ。

自分の感情に不器用だと感じたことがある人なら、性別に関係なく、すべての人に向けた曲だと私は思いますわね。きっと共感してもらえるんじゃないかしら。

[Verse 1]

[Intro] G B C C- [2 bars each]

G B

前に君がいた, 目も合わせずに (Mae ni kimi ga ita, Me mo awaserezu ni)

C C-

まるで天使さ, 肌が眩しくて (Marude tenshi sa, Hada ga mabushikute)

G B

羽のように舞う, 綺麗な世界で (Hane no you ni mau, Kirei na sekai de)

C

俺なりたいスペシャル (Ore Naritai... Supesharu)

C-

君はファッキン・スペシャル (Kimi wa Fakkin Supesharu)

[Chorus]

G B

でも俺クズ, 俺も変態野郎 (Demo ore Kuzu, Ore mo Hentai yarou)

C C-

ここで何してる？ 居場所がないよ (Koko de nani shiteru? Ibasho ga nai yo)

[Verse 2]

G B

痛みはいいさ, 支配したいよ (Itami wa ii sa, Shihai shitai yo)

C C-

完璧な体, 綺麗な心 (Kanpeki na karada, Kirei na kokoro)

G B-

気づいて欲しい, いなくなったら (Kizuite hoshii, Inaku nattara)

C

君は… ファッキン・スペシャル (Kimi wa... Fakkin Supesharu)

C-

俺なりたい… スペシャル (Ore Naritai... Supesharu)

[Chorus]

G B

でも俺クズ, 俺も変態野郎 (Demo ore Kuzu, Ore mo Hentai yarou)

C C-
ここで何してる？ 居場所がないよ (Koko de nani shiteru? Ibasho ga nai yo)
[Bridge]
G B
彼女はまた逃げ出し(Kanojo wa mata nigedashi)
C C- G
走ている、は、は、は、走れ… (Hashitteiru ha ha ha Hashire...)
[instrumental fill staring on previous G] B C C-
[Outro, Softer]
G B
君の幸せ, 君の望み (Kimi no shiawase, Kimi no nozomi)
C
君は… ファッキン・スペシャル (Kimi wa... Fakkin Supesharu)
C-
俺なりたい… スペシャル (Ore Naritai... Supesharu)
[ちょっと止まる、Pause]
G B
でも俺クズ, 俺も変態野郎 (Demo ore Kuzu, Ore mo Hentai yarou)
C C-
ここで何してる？ 居場所がないよ (Koko de nani shiteru? Ibasho ga nai yo)
C
居場所がないよ (Ibasho ga nai yo)

降っている、日曜の朝が （Sunday Morning Comin’ Down by Johnny Cash）

この曲は、土曜日の夜に友達と楽しく過ごしたのに、寒い日曜日の朝になるとすぐに一人ぼっちで落ち込んでしまう…そんな経験があるすべての人に向けた曲だわ。誰もが一度はそんな気持ちになったことがあるんじゃないかしら。私は、そういう人たちにこそ聴いてほしいと思いますわね。

[Verse 1]

```
                          D
日曜朝、目が覚めた（Nichiyou asa, me ga sameta）
                       G                  D
割れる頭を、抱えた（Wareru atama wo, kakaeta）
                    D
朝飯、ぬるい酒（Asameshi ni, nurui sake）
                                  B-                    A
デザートにもう一杯、空けたな（Dezaato ni mou ippai, aketa na）
                                   D
散らかった部屋に見つけた、(Chirakatta heya ni mitsuketa)
                                   G                            |D > > B-|
一番「まし」な T-シャツ汚れた(Ichiban ”mashi” na t-shatsu yogoreta)
                                  G
冷たい水で、顔を洗い（Tsumetai mizu de, kao wo arai）
                                  E-                A
階下へ降りて、太陽見えた（Kaika e orite, taiyō mieta）
```

[Verse 2]

```
                          D
昨日の残骸、飲み込んだ（Kinou no zangai, nomikonda）
                          G                      D
煙草と,ギターで歌弾いた （tabako to, giita de uta hiita）
                                   D
今日の一本、火をつけて（Kyou no ippon, hi wo tsukete）


                                B-                  A
空き缶蹴ってるガキを見た（akikan ketteru gaki wo mita）
                          D
空の車道を渡ったら(Sora no shadō o watattara)
                       G                 |D > > B-|
吉野家の匂い行った（Yoshinoya no nioi itta）
```

```
                          G        E-
あの匂いも、あの景色 (Ano nioi mo, ano keshiki)
                          |G     >     A  > |    D
俺の空虚を抉ったのさ (ore no kuukyo wo egutta no sa)
[Chorus]
                             G
池袋の、歩道 (Ikebukuro no, hodou)
                                                    D
いっそ消えて、しまいたいぜ (Isso kiete, shimaitai ze)
                                              A
日曜の朝は、どうして (Nichiyou no asa wa, doushite)
                                 D
孤独が骨まで (Kodoku ga, hone made)
                                       G
死ぬよりも、ひどく (Shinu yori mo, hidoku)
                                D
寂しい響きさ (Sabishii hibiki sa)
                                     A
眠る都会の、歩道 (Nemuru tokai no, hodou)
                                                  D
降っている、日曜の朝 (Futte-iru, nichiyou no asa)
[Verse 3]
                D
公園の横、親子 (Kouen no yoko, oyako)

                             G                      D
ブランコが空へ、見ていた (buranko ga sora e, miteita)
                D
遠くの寺から (Tooku no tera kara)
                          B-                    A
哀れな鐘が、聞こえた (Aware na kane ga, kikoeta)
               D
影を引きずり (Kage wo hikizuri)
                       G                  |D > > B-|
```

家路を辿って歩いた（ieji wo tadotte aruita）
G E-
前の鐘が、こだました（mae no kane ga, kodamashita）
|G > A > | D
昨日の夢の、成れの果てさ（kinou no yume no, nareno-hate sa）
[Chorus]
G
池袋の、歩道（Ikebukuro no, hodou）
D
いっそ消えて、しまいたいぜ（Isso kiete, shimaitai ze）
A
日曜の朝は、どうして（Nichiyou no asa wa, doushite）
D
孤独が骨まで（Kodoku ga, hone made）
G
死ぬよりも、ひどく（Shinu yori mo, hidoku）
D
寂しい響きさ（Sabishii hibiki sa）
A
眠る都会の、歩道（Nemuru tokai no, hodou）
D
降っている、日曜の朝（Futte-iru, nichiyou no asa）

犯してくれ (Rape Me by Nirvana)

これもまた、純粋な本音の爆弾だわ。とても暗くて、寂しくて、怖い場所まで行ってしまって、たった一度の人の温もりのためなら何でもしてしまう…そんな人のことを歌っているんじゃないかしら。私は、その深い孤独がとてもよく伝わってくると思いますわね。

[Intro/Chorus]

```
                                        |E-G|BD|      |E -  G   B   D|
```
犯してくれ！犯してくれ！下さい (Okashite kure! Okashite kure! kudasai)
```
                                      |E-G|BD|      |E -  G       B   D|
```
犯してくれ！犯してくれ,もう一回(Okashite kure! Okashite kure, mou mouikkai!)

[Pre-Verse 1]

```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
               |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃない (Ore dake janai)

[Verse 1]

```
                                        |E-G|BD|E -     G       B   D|
```
憎んでくれ！何度でもやればいい (Nikunde kure! Nando demo yareba ii)
```
                                     |E-G|BD|E -    G       B   D|
```
捨ててくれ！犯してくれていい (Sutete kure! Okashite kurete ii)

[Pre-Verse 2]

```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
               |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃない (Ore dake janai)

[Bridge]

```
       G#                  |E D C# C|
```
私の絶望 (Watashi no zetsubou)
```
                 G#                       |E D C# C|
```
傷に口づけをしよう (Kizu ni kuchizuke wo Shiyou)
```
                 G#               |E D C# C|
```
配慮、いただきます (Hairyo, itadakimasu)
```
             G#                |E C D B|
```
俺らは燃え盛る (Orera wa moe-sakaru)

[Chorus]
```
                                        |E-G|BD|      |E -  G   B   D|
```
犯してくれ！犯してくれ！下さい (Okashite kure! Okashite kure! kudasai)
```
                                      |E-G|BD|       |E -  G       B   D|
```
犯してくれ！犯してくれ,もう一回(Okashite kure! Okashite kure, mou mouikkai!)

[Pre-Verse 3]
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                     |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃないはずな (Ore dake janai hazu na)
```
                |E-     G  |B  D  |
```
俺だけじゃない (Ore dake janai)

[Outro]
```
                                        |E-  G  |B  D  |
```
犯してくれ！犯してくれ！下さい (Okashite kure! x8

火事の湖 (Lake of Fire by Nirvana / The Meat Puppets)

この曲については、ローカライズしようという強い気持ちはなかったのだわ。でも、日本向けの変更も少しだけ入っていますわね。私はただこの曲が本当に好きで、いつかのセットリストにあったらいいんじゃないかしらと思ったんですの。

[Chorus]

```
                                                                A
| G          C     |
悪党は死んだら、どこへ？ (Akutou wa shindara, doko e?)
                                                              A
| D              C    |
天使の飛ぶ空、行かないぜ (Tenshi no tobu sora, ikanai ze)
                                                        A
|G                   C           |
炎の池に、沈められ (Honoo no ike ni, shizumerare)
                                                                  D
|G          A    | G      | C  A  | G      | C  A  |
お盆が来る前に、丸焦げ！ (Obon ga kuru mae ni, marukoge!)
[Verse 1]
                       E-              C
小樽から来た、あの女 (Otaru kara kita, ano onna)
                            E-                        B
狂犬に噛まれ、血を流した (Kyouken ni kamare, chi wo nagashita)
                          E-                    C
棺桶に入るの、早すぎた (Kan'oke ni hairu no, hayasugita)
                            D                 E-
黄色い月へ、吠えて飛んだ (Kiiroi tsuki e, hoete tonda)
[Chorus]
                                                                A
| G          C     |
悪党は死んだら、どこへ？ (Akutou wa shindara, doko e?)
                                                              A
| D              C    |
天使の飛ぶ空、行かないぜ (Tenshi no tobu sora, ikanai ze)
                                                        A
|G                   C           |
```

炎の池に、沈められ (Honoo no ike ni, shizumerare)

D

|G A | G | C A | G | C A |

[Verse 2]

人は泣き叫び、彷徨うぜ (Hito wa naki-sakebi, samayou ze)

濡れずに済むような、屋根探して (Nure-zu ni sumu you na, yane sagashite)

骨を休める、場所求めて (Hone wo yasumeru, basho motomete)

天使と悪魔が、奪い合うぜ (Tenshi to akuma ga, ubai-au ze)

[Chorus]

A

| G C |

悪党は死んだら、どこへ？ (Akutou wa shindara, doko e?)

A

| D C |

天使の飛ぶ空、行かないぜ (Tenshi no tobu sora, ikanai ze)

A

|G C |

炎の池に、沈められ (Honoo no ike ni, shizumerare)

D

| G | C A | G | C A |

お盆が来る前に、丸焦げ！ (Obon ga kuru mae ni, marukoge!)

ティーンエイジャーの魂のような匂い（It smells like Teen Spirit, by Nirvana）

この曲は、意味がないことでとても有名だわ。元の作者は意味のある言葉ではなくて、ただ響きがいい言葉を歌っただけですわね。だから、私は言葉そのままの意味を伝えることが目的ではない翻訳に挑戦してみましたの。抽象的なアートみたいに、自分なりの意味を見つけられるんじゃないかしら。

[intro] |E- A |G C | x8

[Verse 1]

E- A G C E- A G C E-

ナイフ持て，お供と負けてフリしよう(Naifu mote, otomo to makete furi shiyou)

A G C E- A G C E-

つまんないな,クソ虫は汚い言葉 (Tsumannai na, kusomushi wa kitanai kotoba)

[Pre-Chorus]

A G C E-

ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)

A G C E-

ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)

A G C E-

ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)

A G C

ハロー、ハロー、ハロー… (Haroo, haroo, haroo...)

[Chorus]

E- A G

電気を消せ！ 危険な夜だ！ (Denki wo kese! Kiken na yoru da!)

C E- A G

俺らはここだ！ 楽しませろさ！ (Orera wa koko da! Tanoshimasero sa!)

C E- A G

バカみたいで！ 伝染るんだね！ (Baka mitai de! Utsuru n’ da ne!)

C E- A G

俺らはここだ！ 楽しませろぜ！ (Orera wa koko da! Tanoshimasero ze!)

C E- A G

あのハーフ！引きこもり！(Ano haafu! Hikikomori!)

C E- A G

蚊帳の外！俺のちんちん！イェー！(Kaya no soto! Ore no chinchin! Yee!)

[Verse 2]

E- A G C E- A G C E-

一番が，得意な恩恵受けてた (Ichiban ga, tokui na Onkei uketeta)

E- A G C E- A G C E-
集まる，死ぬまでずっとこのままぜ (Atsumaru, shinu made zutto kono mama ze)
[Pre-Chorus]
A G C E-
ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)
A G C E-
ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)
A G C E-
ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)
A G C
ハロー、ハロー、ハロー… (Haroo, haroo, haroo...)
[Chorus]
E- A G
電気を消せ！ 危険な夜だ！ (Denki wo kese! Kiken na yoru da!)
C E- A G
俺らはここだ！ 楽しませろさ！ (Orera wa koko da! Tanoshimasero sa!)
C E- A G
バカみたいで！ 伝染るんだね！ (Baka mitai de! Utsuru n’ da ne!)
C E- A G
俺らはここだ！ 楽しませろぜ！ (Orera wa koko da! Tanoshimasero ze!)
C E- A G
あのハーフ！引きこもり！(Ano haafu! Hikikomori!)
C E- A G
蚊帳の外！俺のちんちん！イェー！(Kaya no soto! Ore no chinchin! Yee!)
[Verse 3]
E- A G C E- A G C E-
あそこは… 何か…俺… 忘れた… (Asoko wa... nani ka... Ore... wasureta...)
E- A G C E- A G C E-
難しい，見つけるのどうでもいい (Muzukashii, mitsukeru no dou demo ii)
[Pre-Chorus]
A G C E-

ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)

A G C E-
ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)
A G C E-
ハロー、ハロー、ハロー、どん底 (Haroo, haroo, haroo, donzoko)
A G C
ハロー、ハロー、ハロー… (Haroo, haroo, haroo...)

[Chorus]

E- A G
電気を消せ！ 危険な夜だ！ (Denki wo kese! Kiken na yoru da!)
C E- A G
俺らはここだ！ 楽しませろさ！ (Orera wa koko da! Tanoshimasero sa!)
C E- A G
バカみたいで！ 伝染るんだね！ (Baka mitai de! Utsuru n’ da ne!)
C E- A G
俺らはここだ！ 楽しませろぜ！ (Orera wa koko da! Tanoshimasero ze!)
C E- A G
あのハーフ！引きこもり！(Ano haafu! Hikikomori!)
C E- A G
蚊帳の外！俺のちんちん！(Kaya no soto! Ore no chinchin!)

申し訳ない（All Apologies by Nirvana）

奇妙（きみょう）な話だけれど、これがコレクションの中で一番日本的（にほんてき）な曲なのだわ。
あ、すみませんわね。

[Verse 1]

D

間違いたい？申し訳ない（Machigaitai? Moushiwake nai）
百合になった，馬鹿なことだった（Yuri ni natta Baka na koto datta）
麺も食わず，地獄へ沈む（Men mo kuwazu, Jigoku e shizumu）
間違いたい？申し訳ない（Machigaitai? Moushiwake nai）

[Chorus 1]

G

太陽で，太陽で，一つに溶けるぜ（Taiyou de, Taiyou de, Hitotsu ni tokeru ze）

A　　A

太陽で…　結婚、別婚（Taiyou de… Kekkon, Bekkon）

[Verse 2]

D

なりたい、君に，笑いやすい（Naritai, kimi ni, Warai-yasui）
塩かける，絶対死んでる（Shio kakeru, Zettai shinderu）
俺のせいな？誰の霊か？（Ore no sei na? Dare no rei ka?）　　**G**
日焼けだな，島原を忘れたかな（Hiyake da na, Shimabara wo wasureta kana）

[Chorus 2]

太陽で，太陽で，一つに溶けるぜ（Taiyou de, Taiyou de, Hitotsu ni tokeru ze）

A　　A

太陽で…　結婚、別婚（Taiyou de… Kekkon, Bekkon）
ヤ、ヤ、ヤ、ヤ（Yeah yeah yeah yeah）

[Solo then Outro] D until end.

申し訳だけ…（Moushiwake dake...）X8

リチウム (Lithium by Nirvana)

これもまた、ニルヴァーナの意味がない曲の一つだわ。私は、ぜひ自分なりの意味を探してみてほしいと思いますわね。あなたなら、どんな意味を見つけることができるのかしら。

[Verse 1]

|D F#-|B- G |Bb C |A
幸せ…今日はダチを見つけた (Shiawase... Kyou wa dachi wo mitsuketa)

C |D F#- |B- G |Bb C | A
頭…にいるあんたも、クレイジーかな (Atama... ni iru anta mo, kureiji kana)

C |D F#- |B- G |Bb C |A
しょうがな,腹減った,何も食べられない(Shou ga na,hara heta, nanimo taberarenai)

C |D F#- |B- G |Bb C |A
行きたい,田舎までみんなも、死んでるぜ(Ikitai, Inaka made minna mo, shinderuze)

[Chorus]

C |D F#- |B- G |Bb C |A C
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

C |D F#- |B- G |Bb C |A C
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

C |D F#- |B- G |Bb C |A C
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

[Verse 2]

|D F#-|B- G |Bb C |A
男にように…頭、剃った (Otoko ni you ni... Atama, sotta)

C |D F#- |B- G |Bb C | A
まずか…俺のせいで何も、しなくて (Mazu ka... Ore no sei de nani mo, shinakute)

C |D F#- |B- G |Bb C |A
マジで…ワクワクうるうる、どっち等 (Maji de...Waku-waku uru-uru, docchira)

C |D F#- |B- G |Bb C |A
かしら…あの人すぐにエッチしよう (Kashira...Ano hito sugu ni ecchi shiyou…)

[Chorus]

C |D F#- |B- G |Bb C |A C
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

C |D F#- |B- G |Bb C |A
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

C |D F#- |B- G |Bb C |A C
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

[Bridge 2]

```
                    G     Bb     |G    Bb    |
```
好きだ… まだ壊れねぇ (Suki da... mada kowarenee)
```
                    G     Bb     |G    Bb    |
```
恋してる… まだ壊れねぇ (Koishiteru... mada kowarenee)
```
                  G     Bb     |G    Bb    |
```
殺す… まだ壊れねぇ (Korosu... mada kowarenee)
```
                   G     Bb     |G    Bb    |
```
好きだ… まだ壊れねぇ (Suki da... mada kowarenee)
```
                     G     Bb        |G    Bb    |
```
恋してる… まだ壊れねぇ (Koishiteru... mada kowarenee)
```
                     G     Bb      |G    Bb    |C     |A
```
愛してる… まだ壊れねぇ(Aishiteru... mada kowarenee)

[Verse I Reprise]

```
                      |D   F#-|B-      G       |Bb        C     |A
```
幸せ…今日はダチを見つけた (Shiawase... Kyou wa dachi wo mitsuketa)
```
                                  C   |D     F#-  |B-   G   |Bb    C  | A
```
頭…にいるあんたも、クレイジーかな (Atama... ni iru anta mo, kureiji kana)
```
                                   C      |D  F#-  |B-   G  |Bb    C    |A
```
しょうがな,腹減った,何も食べられない(Shou ga na,hara heta, nanimo taberarenai)
```
                                    C    |D  F#- |B-  G    |Bb      C    |A
```
行きたい,田舎までみんなも、死んでるぜ(Ikitai, Inaka made minna mo, shinderuze)

[Chorus]

```
                           C  |D F#- |B- G |Bb C |A C
```
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)
```
                           C  |D F#- |B- G |Bb C |A C
```
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)
```
                           C  |D F#- |B- G |Bb C |A C
```
イェー！ イェー！ イェー！ (YEE! YEE-EAAHHH! YEE-EAAHHH!)

[Bridge 2]

```
                    G     Bb     |G    Bb    |
```
好きだ… まだ壊れねぇ (Suki da... mada kowarenee)
```
                    G     Bb     |G    Bb    |
```
恋してる… まだ壊れねぇ (Koishiteru... mada kowarenee)
```
                  G     Bb     |G    Bb    |
```

殺す… まだ壊れねぇ (Korosu... mada kowarenee)

G Bb |G Bb |

好きだ… まだ壊れねぇ (Suki da... mada kowarenee)

G Bb |G Bb |

恋してる… まだ壊れねぇ (Koishiteru... mada kowarenee)

G Bb |G Bb |C |A

愛してる… まだ壊れねぇ(Aishiteru... mada kowarenee)

クレイジー (Crazy by Patsy Cline / Willie Nelson)

彼女、もしかすると私がこのプロジェクトをなんとか終わらせようと悪戦苦闘（あくせんくとう）する姿を歌っていたんじゃないかしら。

```
                                  D        B              E-
クレイジー… こんなに寂しくて (Kureijī... konna ni sabishikute)
                                  A                  D
クレイジー… いつも泣いてなく (Kureijī... itsumo naitenaku)
                                  B                        E-
あんたが望むだけ、愛してくれて (Anta ga nozomu dake, aishite kurete)
                                                 A                    D
そして、いつ…かは、もちろん去っていく (Soshite, itsu...ka wa, mochiron satteiku)
                           G                     D
緊張… なんていつも緊張 (Kinchou... nante itsumo kinchou?)
                                  G                              A
なんて、あんたのために心配する (Nante, anta no tame ni shinpai suru)
                                        D          B              E-
クレイジー… あんたが欲しかったから (Kureijī... anta ga hoshikatta kara)
                                       G          B-     E-        B
クレイジーで泣いて、クレイジーで足掻いて (Kureijī de naite, kureijī de agaite)
                           E              A      D
クレイジーだから、愛してる (Kureijī dakara, aishiteru)
```

[Solo, then repeat again.]

真夜中（I go out walking after midnight – by Patsy cline）

これはただの、悲しくて寂しいラブソングなのだわ。その愛が昔の恋人へのものなのか、それともファミチキへのものなのかは、私からあなたの判断（はんだん）にお任せしますわね。あなたは、一体どちらへの愛だと思うのかしら。

[VERSE 1]

```
                    D
真夜中…歩いてる（Mayonaka...Aruiteru）
                          G       D
月の下，昔みたい（Tsuki no shita Mukashi mitai）
                               D              Bb    A          D
真夜中…君のこと，探してる（Mayonaka...Kimi no koto, Sagashiteru）
```

[VERSE 2]

```
                         D
ファミマに，歩いてる（Famima ni Aruiteru）
                               G      D
ファミチキ，食べたいから（Famichiki, Tabetai kara）
                               D              Bb    A          D
真夜中…君のこと，探してる（Mayonaka...Kimi no koto, Sagashiteru）
```

[CHORUS]

```
                                    G
自販機光ってる，見てるラブホテル（Jihanki hikatteru, Miteru rabu hoteru）
               D
愛はあるかな？（Ai wa aru kana?）
                               G
檸檬堂飲んでる,虚しさが伝染る（Remondō nonderu, Munashisa ga utsuru）
               D                 A
寂しいもんだな（Sabishii mon da na）
```

[VERSE 3]

```
                    G
真夜中…歩いてる（Mayonaka...Aruiteru）
                          G       D
星明かり，君もかしら（Hoshiakari, Kimi mo kashira）
                               D              Bb      A    D
真夜中…探すかな，アタシに。（Mayonaka...Sagasu kana, Atashi ni.）
```

リカ (Brandy [You’re a Fine Girl] by Looking Glass)

日本にあるようなホステスバーは、アメリカには存在（そんざい）しなくて、それは本当に残念（ざんねん）なことなのだわ。サラリーマンの財布（さいふ）からお金を搾（しぼ）り取るようにできているとはいえ、お金を払（はら）って1時間話を聞いてもらい、感情労働（かんじょうろうどう）を提供（ていきょう）してもらって、ハイボールでベロベロに酔（よ）っ払いながらも後腐（あとくさ）れなく席を立てるというのは、実はとても重要なサービスですわね。私は、たとえその制服（せいふく）が少し「気持ち悪い（きもちわるい）」としても、こういう場所は社会にとって必要なものなんじゃないかしらと思いますの。

[Verse 1]

```
                        G       B-      E-
新宿の、道のバー (Shinjuku no, michi no baa)
                               A-         C
百人来る、男たちさ (Hyakunin kuru, otokotachi sa)
                                  G          B-  E-
孤独の客、いつもいる (Kodoku no kyaku, itsumo iru)
                      A-      C    G
飲んで円を潰す (Nonde en wo tsubusu)
                               G         B-   E-
地下の店、の女の子 (Chika no mise, no onnanoko)
                                A-         C
作った笑顔の若い顔 (Tsukutta egao no wakai kao)
                                    G     B-     E-
彼言う「リカ、もう一杯」 (Kare iu ”Rika, mou ippai”)
                              A-    C  G
焼酎と嘘を売る (Shouchuu to uso wo uru)
```

[Chorus]

```
                        E-           C
「リカ、いい女だな」 (”Rika, ii onna da na”)
                               E-           C
「いい嫁になるだろう」(”Ii yome ni naru darou”)
                                  G          D        C   G  C
「その目、俺を家から奪う」 (”Sono me, ore wo ie kara ubau”)
```

[Verse 2]

```
                           G       B-     E-
リカの服は体操着 (Rika no fuku wa taisougi)
```

```
                              A-          C
赤い名札、胸に置き (Akai nafuda, mune ni oki)
                                 G               B-     E-
紺色ブルマ、高校の夢 (Kon-iro buruma, koukou no yume)
                           A-        C     G
それが店長の罠 (Sore ga tenchou no wana)
                                 G         B-       B-
キャスドリ買う、二千円 (Kyasudori kau, ni-sen en)
                                           A-          C
彼女言ってる「世界一だん！」 (Kanojo itteru "sekai ichi dan!")
                              G       B-    E-
手握られ、燃える恋 (Te nigirare, moeru koi)
                    A-        C        G
彼何も知らねぇ (Kare nani mo shirane)
[Chorus]
                           E-            C
「リカ、いい女だな」 ("Rika, ii onna da na")
                                 E-           C
「いい嫁になるだろう」("Ii yome ni naru darou")
                                      G          D        C   G  C
「その目、俺を家から奪う」 ("Sono me, ore wo ie kara ubau")
[Bridge]
                                 E-        G         C          D
彼は語るの、会社の物語 (Kare wa kataru no, kaisha no monogatari)
                                           E-        G           C         D
彼女は聞くふりさ,あのおじちゃんの英名(Kanojo wa kikufuri sa, ano ojichan no eimei)
                                        E-         (F)A-        E-           C
もう一杯キャスドリで,彼女を助ける (Mou ippai kyasudori de, kanojo wo tasukeru)
                                     G             D         C  G  C
あの男は思った、わからず… (Ano otoko wa omotta, wakarazu...)
[Verse 3]
                                 G            B-    E-
閉店時間、電気がつく (Heiten jikan, denki ga tsuku)
                                      A-          C
金が尽きて、魔法も解く (Kane ga tsukite, mahou mo toku)
```

```
                          G              B-    E-
中一杯で、彼は歩く (Naka ippai de, kare wa aruku)
                            A-          C           G
「また来週ね」ってリカ ("Mata raishuu ne" tte Rika)
[Chorus]
                          E-            C
「リカ、いい女だな」 ("Rika, ii onna da na")
                               E-           C
「いい嫁になるだろう」("Ii yome ni naru darou")
                                    G          D        C   G  C
「その目、俺を家から奪う」 ("Sono me, ore wo ie kara ubau")
[Outro]
                          E-            C
「リカ、いい女だな」 ("Rika, ii onna da na")
                               E-           C
「いい嫁になるだろう」("Ii yome ni naru darou")
                                   G            D             C   G  C
だが命と愛、主人は金さ… (Daga inochi to ai, shujin wa, kane sa...)
```

ハナの母（Stacy’s Mom by Fountains of Wayne）

学校には、本人の女の子よりもお母さんの方がずっと美人（びじん）だったという同級生（どうきゅうせい）が、必ず一人くらいはいたはずなのだわ。そういう親子（おやこ）の噂（うわさ）は、誰もが一度は聞いたことがありますわね。それとも、そんな風に感じていたのは、もしかして私だけだったんじゃないかしら？

[Intro] G C D C x2

```
                    G       C       D       G
ハナの母はシコいだな（Hana no haha wa shikoi da na）
                    G       C       D       G
ハナの母はシコいだな（Hana no haha wa shikoi da na）
```

[Verse 1]

```
                     G        C        D   C      G  C D C
ハナ、放課後一緒に帰ろう（Hana, houkago issho ni kaerou）
                   G     C        D       C   G    C D C
スマブラしようぜ、最高（Sumabura shiyou ze, saikou）
                   G      C        D   C     G   C  D C
母は出張、終わったの？（Haha wa shucchou, owatta no?）
                     G      C      D     C       G  C  D  D
隠れているの？会えないよ？（Kakurete iru no? Aenai yo?）
```

[Pre-Chorus 1]

```
                        B-          C
あの昔のガキじゃねぇ（ano Mukashi no gaki ja nee）
                              B-              C
大人になった、わからないぜ？（Otona ni natta, wakaranai ze?）
```

[Chorus]

```
                     G         C      D       E-
ハナの母はシコいだな！（Hana no haha wa shikoi da na!）
                    G      C    D        E-
大好きでずっと待ってた（Daisuki de zutto matteta）
                      C        G      D#dim        E-
ハナ見えな？我々は無理さ（Hana miena? Ware ware wa muri sa）
                                  C                D
だめけどかな、ハナの母大好きだ！（Dame kedo kana, Hana no haha daisuki da!）
```

[PostChorus] G C D G
ハナの母はシコいだな (Hana no haha wa shikoi da na)
G C D G
ハナの母はシコいだな (Hana no haha wa shikoi da na)
[Verse 2]
G C D C G C D C
ハナ、チャリを直したの覚えてる？ (Hana, chari wo naoshita no oboeteru?)
G C D C G C D C
風呂上がりの母、俺を見つめる (Furoagari no haha, ore wo mitsumeru)
G C D C G C D C
濡れた髪で、こっち立って (Nureta kami de, kocchi tatte)
G C D C G C D C
「あらあら」なんて、俺に言っちゃって ("Ara ara" nante, ore ni icchatte)
[Pre-Chorus 2]
B- C
一時的な熱と思う (Ichijiteki na netsu to omou)
B- C
親父は逃げた、俺で補う (Oyaji wa nigeta, ore de oginau)
[Chorus] G C D E-
ハナの母はシコいだな！ (Hana no haha wa shikoi da na!)
G C D E-
大好きでずっと待ってた (Daisuki de zutto matteta)
C G D#dim E-
ハナ見えな？我々は無理さ (Hana miena? Ware ware wa muri sa)
C D
だめけどかな、ハナの母大好きだ！ (Dame kedo kana, Hana no haha daisuki da!)
[Chorus]
G C D E-
ハナの母はシコいだな！ (Hana no haha wa shikoi da na!)
G C D E-
大好きでずっと待ってた (Daisuki de zutto matteta)
C G D#dim E-
ハナ見えな？我々は無理さ (Hana miena? Ware ware wa muri sa)
C D
だめけどかな、ハナの母大好きだ！ (Dame kedo kana, Hana no haha daisuki da!)

オォリリ(Sweet Annie by Zak Brown Band)

以前（いぜん）、アメリカには本当に必要な人への心のケアがすっぽり抜け落ちているとお話ししたけれど、この曲もまさにそのテーマの続きなのだわ。孤独（こどく）でどうしようもない時に、誰かの温もりと感情労働（かんじょうろうどう）を直接「デリバリー」してくれる存在についての歌ですわね。ただの割り切ったビジネスだと言う人もいるかもしれないけれど、それで本当に救（すく）われる命や心があるのなら、それは社会にとって絶対に必要なものなんじゃないかしらと思いますの。

[Verse 1]

```
          G
ずっと一人（Zutto hitori）
                      C          G
忘れるほど長く（Wasureru hodo nagaku）
                             G                          D
嘘つきの「大丈夫」、が祈ってる（Usotsuki no ”daijoubu” ga inotteru）
                        G                           C        G
真実は、もうこの闇戦えない（Shinjitsu wa, mou kono yami tatakaenai）
                      C           G             D          G
限界なのだわ、体を預ける（Genkai na no da wa, karada wo azukeru）
```

[Chorus]

```
         G   C G
オォリリ（Oh, Riri）
                             C         G
ちょっと、横にさせて（Chotto, yoko ni sasete）
                   C           G         D
闇が心を削るから（Yami ga kokoro wo kezuru kara）
                                                  G        C G
ねぇちゃん、悲しみに沈んでる（Ne-e chan, kanashimi ni shizunderu）
                   C          G
朝が来るかな（Asa ga kuru kana）
                      C          G
今夜だけ、リリは（Konya dake, Riri wa）
                        D
世界を隠して（Sekai wo kakushite）
                     C      G      C G
オォ…（オォ…）リリ（Oo...（Oo...）Riri）
```

[Interlude] C D C G D

[Verse 2]

```
            G
オォリリ (Oh, Riri)
                    C         G
お金払ったけど (Okane haratta kedo)
                           G                      D
煙たいベッドで、涙を隠してる (Kemutai beddo de, namida wo kakushiteru)
                                G                              C     G
昨日取り戻したら、やり直せるなら (Kinou torimodoshitara, yarinaoseru nara)
                                   C              G       D            G
どうすればいいかな,手遅れじゃない言って(Dou sureba ii kana, teokure ja nai itte)
```

[Chorus]

```
         G   C G
オォリリ (Oh, Riri)
                                C         G
ちょっと、横にさせて (Chotto, yoko ni sasete)
                  C          G         D
闇が心を削るから (Yami ga kokoro wo kezuru kara)
                                                      G       C G
ねぇちゃん、悲しみに沈んでる (Ne-e chan, kanashimi ni shizunderu)
                  C          G
朝が来るかな (Asa ga kuru kana)
                        C          G
今夜だけ、リリは (Konya dake, Riri wa)
                         D
世界を隠して (Sekai wo kakushite)
                     C      G      C G
オォ…(オォ…) リリ (Oo... (Oo...) Riri)
```

[Bridge]

```
                                   C                            E-
明かり消して, この手で触れたい (Akari keshite, Kono te de furetai)
                                          D
安らぎを見つけたい (Yasuragi wo mitsuketai)
                           G
もう一回だけ (Mou ikkai dake)
```

C E-
近づいて、見せてあげる (Chikazuite, misete ageru)
D
こんな愛が、余ってる (Konna ai ga, amatteru)
C D
欲しがる人が、いるのなら (Hoshigaru hito ga, iru no nara)
[Interlude] C G C D C G C G C G D
G C G
オォリリ (Oh, Riri)
C G
ちょっと、横にさせて (Chotto, yoko ni sasete)
C G D
闇が心を削るから (Yami ga kokoro wo kezuru kara)
G C G
ねぇちゃん、悲しみに沈んでる (Ne-e chan, kanashimi ni shizunderu)
C G
朝が来るかな (Asa ga kuru kana)
C G
今夜だけ、リリは (Konya dake, Riri wa)
D
世界を隠して (Sekai wo kakushite)
C G C G
オォ…(オォ…) リリ (Oo... (Oo...) Riri)

君へ,どこでも (For Emily, Wherever I May Find Her by Simon and Garfunkel)

もし、この曲がご自分のことを歌っているとお思いなら…ええ、きっとその通りなんじゃないかしら。

[Verse 1]

```
            D
なんて夢だ (Nante yume da)
                  G           E-
そのオーガンディ (Sono oogandii)
                D
クリノリン着て (Kurinorin kite)
                C
煙るバーガンディ (Kemuru baagandii)
                G       A
雨より蜉蝣 (Ame yori kagerou)
```

[Verse 2]

```
            D
空っぽの道 (Karappo no michi)
                  G          E-
ウィンドウ過ぎて (Uindou sugite)
              D
駅のチャイムが (Eki no chaimu ga)
            C
路地に響いて (Roji ni hibikite)
            G   A
歩いてた (Aruiteta)
```

[Verse 3]

```
            D
君が駆け寄り (Kimi ga kakeyori)
         G                  E-
夜に頬染め (Yoru ni hoho some)
          D
西口公園で (Nishiguchi kouen de)
                C
ネオンを浴びてて (Neon wo abitete)
                G      A
手を握った (Te wo nigitta)
```

[Verse 4]

```
            D
目が覚めたら (Me ga sametara)
           G              E-
君の温もり (Kimi no nukumori)
             D
黒髪キスした (Kurokami kisushita)
          C
感謝の涙 (Kansha no namida)
                G          A
あぁ、愛してる (Aa, aishiteru)
                C  G        D
あぁ、愛してる (Aa, aishiteru)
```

虹の終わりのキス（A Kiss at the End of the Rainbow by Mitch & Mickey）

これはただただ、本当に、本当に美しい曲なのだわ。３つの架空（かくう）のバンドが集まって音楽を奏（かな）でるという映画の曲なのですけれど、その架空のバンドのために書かれた楽曲が、どれもこれも信じられないくらい素晴らしいんですわね。その中でも、この曲は群（ぐん）を抜いて最高なのだわ。ええ、もうクソほど美しいんじゃないかしら。

[Intro] D D B- B- G D B- A

[Chorus]

```
                          D     G    A
夢のベールが上がり（Yume no beeru ga agari）
                        D          G   A
おとぎ話が終わった（Otogibanashi ga owatta）
                          B-        G       A
虹の終わり、キスがある（Niji no owari, kisu ga aru）
                          G           A     D
金貨の壺より素敵な（Kinka no tsubo yori suteki na）
```

[Verse 1]

```
                  D        A
昔の物語（Mukashi no monogatari）
                        D          B-    G
すべての騎士と王女（Subete no kishi to oujo）
                          A        D        G
旅の終わりに結ばれる（Tabi no owari ni musubareru）
                          B-              A
誓いの証がキスの（Chikai no akashi ga kisu no）
```

[Chorus]

```
                          D     G    A
夢のベールが上がり（Yume no beeru ga agari）
                        D          G   A
おとぎ話が終わった（Otogibanashi ga owatta）
                          B-        G       A
虹の終わり、キスがある（Niji no owari, kisu ga aru）
                          G           A     D
金貨の壺より素敵な（Kinka no tsubo yori suteki na）
```

[Verse 2]

```
                  D          A
愛しい、あなた (Itoshii, anata)
                         D       B-   G
遠く離れてるけど (Tooku hanareteru kedo)
                        B-     G     A
涙の海隔てても (Namida no umi hedatete mo)
                           B-              A
愛の橋ぜひ架けよう (Ai no hashi zehi kakeyou)
```

[Chorus]

```
                            D     G    A
夢のベールが上がり (Yume no beeru ga agari)
                           D          G   A
おとぎ話が終わった (Otogibanashi ga owatta)
                              B-        G       A
虹の終わり、キスがある (Niji no owari, kisu ga aru)
                              G           A     D
金貨の壺より素敵な (Kinka no tsubo yori suteki na)
```

[Outro]

N.C.

```
このキス… (Kono kisu...)
                              B-        G       A
虹の終わり、キスがある (Niji no owari, kisu ga aru)
                              G           A     D
金貨の壺より素敵な (Kinka no tsubo yori suteki na)
```

リコーのカメラ（Kodachrome by Paul Simon）

私自身はベルビア（Velvia）派の女であることを認めますけれど、KI000が史上最高のカメラであるという事実は、誰にも否定できないのだわ。本当に、あの名機を超える代物なんて、この世に存在しないんじゃないかしら。

[Intro] D G E- A

[Verse I]

```
                                    D                   G
高校のクソな授業思い出したら（Koukou no kuso na jugyou omoidashitara）
           E-                     D   |E-  A  |
よく頭が働く（Yoku atama ga hataraku）
                               D               G
学歴なくても痛くないな（Gakureki nakute mo itakunai na）
             E-            A          D
壁の文字は読める（Kabe no moji wa yomeru）
```

[Chorus]

```
                  G  B  E-
コダクローム（Kodakuroomu）
                       A-    D
鮮やかな色だ（Azayaka na iro da）
                          G     C
夏の緑いいな（Natsu no midori ii na）
                                  A    D          G B E-
世界は晴れだと思わせる（Sekai wa hare da to omowaseru）
                                 A-      D
リコーのカメラ持って（Rikou no kamera motte）
                              G        C
俺よく写真撮って（Ore yoku shashin totte）
                                    A     D       G G B- E- A A
ママ、コダクロームを奪わず（Mama, Kodakuroomu wo ubawazu）
                                      D                     G
今まで呼んだデリヘルの、女たち（Ima made yonda deriheru no, onnatachi）
             E-           A       D  |E-  A  |
一晩に集めたら（Hitoban ni atsumetara）
                          D                   G
甘い妄想には勝てないよ（Amai mousou ni wa katenai yo）
```

```
                    E-                  A          D
白黒と見えるひどくさ (Shirokuro to mieru hidoku sa)
[Chorus]
                   G  B  E-
コダクローム (Kodakuroomu)
                       A-    D
鮮やかな色だ (Azayaka na iro da)
                          G     C
夏の緑いいな (Natsu no midori ii na)
                                    A    D          G B E-
世界は晴れだと思わせる (Sekai wa hare da to omowaseru)
                                  A-      D
リコーのカメラ持って (Rikou no kamera motte)
                              G         C
俺よく写真撮って (Ore yoku shashin totte)
                                       A     D       G G B- E- A A
ママ、コダクロームを奪わず (Mama, Kodakuroomu wo ubawazu)
                                       A     D       G G B- E- A A
ママ、コダクロームを奪わず (Mama, Kodakuroomu wo ubawazu)
```

耳かき (Light my Fire by The Doors)

私としては常々、「人間なんてどこにいたって皆同じ」だと大袈裟に主張してきましたけれど、どうやらそれは間違いだったみたいなのだわ。私たちの耳、正確には耳垢（みみあか）の性質が違うのですわね。でも、それがねっとりとしたタイプであろうと、カサカサに乾燥したタイプであろうと、耳掃除（みみそうじ）をしてもらう至福の時間は誰だって楽しめるはずなのだわ。そして言うまでもなく、そんな些細な違いは、他者を憎むための正当な理由になんて到底なり得ないんじゃないかしら。

[Intro] |C G |Bb |Ab |D |D

[Verse 1]

```
                  D-                B-
綿棒じゃ無理だね (Menbou ja muri da ne)
                    D-              B-
不安が増すだけだ (Fuan ga masu dake da)
                   D-               B-
君に身を任せて (Kimi ni mi wo makasete)
                            D-                  B-
ベイビー、雑音消えるさ (Beibii, zatsuon kieru sa)
```

[Chorus]

```
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
                           C           G       A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
```

[Verse 2]

```
                 D-              B-
梵天の白い羽 (Bonten no shiroi hane)
                         D-                B-
ローションをもっと請う (Roushon wo motto kou)
                       D-                 B-
息をそっと吹きかけ (Iki wo sotto fukikake)
                  D-               B-
夢の中へと誘う (Yume no naka e sasou)
```

[Chorus]

```
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
```

```
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
                          C           G       A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
[Verse 3]
                D-             B-
音叉、耳抜けり (Onsa, mimi nukeri)
               D-             B-
チャイム音叩く (Chaimu oto tataku)
                 D-             B-
ピッチ合い揺れり (Pitchi ai yureri)
            D-           B-
魂が開く (Tamashii ga hiraku)
[Chorus]
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
                          C           G       A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
[Interlude] |C G |Bb   |Ab   |D   |D
[Verse 4]
               D-             B-
音叉、耳抜けり (Onsa, mimi nukeri)
                D-             B-
チャイム音叩く (Chaimu oto tataku)
                  D-             B-
ピッチ合い揺れり (Pitchi ai yureri)
            D-           B-
魂が開く (Tamashii ga hiraku)
[Chorus]
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
               C         D     G
耳かきをしろな (Mimikaki wo shiro na)
```

C G A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
[Verse 5]
D- B-
綿棒じゃ無理だね (Menbou ja muri da ne)
D- B-
不安が増すだけだ (Fuan ga masu dake da)
D- B-
君に身を任せて (Kimi ni mi wo makasete)
D- B-
ベイビー、雑音消えるさ (Beibii, zatsuon kieru sa)
[Outro]
C G A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
C G A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
C G A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)
C G A
この感じ、メッチャいいな (Kono kanji, mecca ii na)

Beach Vibes
海と太陽、そんな氣

湘南海岸以上に素晴らしいビーチなんて、この世のどこを探しても存在しないと断言できるのだわ。
揺れるヤシの木に、見渡す限りの青空、遠くには富士山を望み、そして何より、世界で一番美しい女性たちがそこにはいるのですわね。
私自身は、決して根っからの「ビーチ・パーソン」というわけではないのだけれど。何しろ私のこの忌々しいほど眞っ白な肌ときたら、日焼け止めを塗らずに郵便受けまで歩いただけで、たちまち焼け焦げてしまうほどひ弱なのですからね。
それでも、あの美しい海岸線と、これから紹介するこれらの樂曲たちに觸れると……私も骨の髓まで海を愛する人間になれたらよかったのにと、心から願わずにはいられないのだわ。

ここ大好き（I Love This Bar by Toby Keith）

この曲の元のタイトルは、それだけで意味が十分に伝わるのだわ。藤沢（ふじさわ）にあるバーのことなんだけど、知っている人ならわかりますわね。私は、この翻訳をそこの乗組員（のりくみいん）のみんなに送りたいと思いますの。ちゃんと届いてくれるかしら。

[VERSE 1]

```
                                  D          A
ここは勝ち組、負け組（Koko wa kachigumi, makegumi）
                     G                    D
タバコ吸う、病みすぎ（Tabako suu, yamisugi）
                               D           A
便利屋も、サラリーマン（Benriya mo, sararīman）
                     G                 D
飲みたいのヤツじゃん（Nomitai no yatsu jan）
                                       B-                    A          G
外じゃメイド服人がチラシ配り（Soto ja meidofuku-jin ga chirashi kubari）
                                    E-     B-     G           A    D
あぁ… あぁ… あぁ… ここ大好き（Aa... aa... aa... Koko daisuki）
```

[VERSE 2]

```
                                    D               A
ナルシシスト, ろくでなし（narushishisuto, rokudenashi）
                  G               D
飲みっぷりもだし（Nomiburi mo dashi）
                     D            D
学生も、革命家（Gakusei mo, kakumeigo）
           G               A
百姓もだぞ（Hyakushō mo da zo）
                                  B-               A           G
コピバンは、好きな曲歌うし（Kopiban wa, suki na kyoku utau shi）
                                    E-     B-     G           A    D
あぁ… あぁ… あぁ… ここ大好き（Aa... aa... aa... Koko daisuki）
```

[CHORUS]

```
                                          B-                D
ここ大好き, このバーだね？（Koko daisuki, Kono bā da ne?）
                                       E                              A
久しぶりに入ったら,もちろん笑うぜ（Hisashiburi ni haittara, Mochiron warau ze）
```

B- D
遠くねぇ！来てみて！ (Tōku nee! Kite mite!)
E- B- G A D
あぁ… あぁ… あぁ… ここ大好き (Aa... aa... aa... Koko daisuki)
[VERSE 3]
D A
短いスカート、野球帽子 (Mijikai sukāto, yakyū bōshi)
G D
誰でもいていい (Dare demo ite ii)
D A
職人と、虚無僧 (Shokunin to, komusō)
G A
踊る人とエスコート (Odoru hito to esukōto)
B- A G
レモンサワーは、六百円だけ (Remon sawā wa, roppyaku-en dake)
E- B- G A D
あぁ… あぁ… あぁ… ここ大好き (Aa... aa... aa... Koko daisuki)
[MINI-BRIDGE] A
軽トラが、まあまあ (Kei-tora ga, maa maa)
D
彼女が、満足 (Kanojo ga, manzoku)
E
時々、二人で (Tokidoki, futari de)
A
映画に行ってみる (Eiga ni itte miru)
[FINAL CHORUS] B- D
でもこのバー…大好きじゃねぇ？！ (Demo kono bā...Daisuki ja nee?!)
E A
一緒にサザン演奏したら，楽しもうぜ(Issho ni Sazan,ensoushitara,Tanoshimou ze!)
B- D
遠くねぇ！来てみて！(Tōku nee! Kite mite!)
E- B- G A D
あぁ… あぁ… あぁ… ここ大好き (Aa... aa... aa... Koko daisuki)
E- B- G A D
あぁ… あぁ… あぁ… ここ大好き (Aa... aa... aa... Koko daisuki)

レモンサワー町 (Margaritaville by Jimmy Buffet)

ジミー・バフェットがアメリカの桑田佳祐（くわた けいすけ）だという議論（ぎろん）には、本当に一理（いちり）あるのだわ。他に言うことはあまりないから、代わりにこのレシピを置いておきますわね。テキーラ2、トリプルセック1、ライムジュース1、シンプルシロップ2分の1の割合（わりあい）です。私は、これを氷（こおり）と一緒にシェイクして、ライムのくし切り（ウェッジ）を添（そ）えて出せば、それだけで最高の一杯（いっぱい）になるんじゃないかしらと思いますの。

[INTRO] D G A D

[Verse 1]

D

海見てる (Umi miteru)

お酒飲んでる (Osake nonderu)

A

朝からサザンだけを聴いてる (Asa kara Sazan dake o kiiteru)

太陽で (Taiyō de)

みんなが焼いて (Minna ga yaite)

D

ギターを弾く、一人だね (Gitā o hiku, hitori da ne)

[Chorus]

G A D

今もレモンサワ町に死んでいる (Ima mo remon sawa-chō ni shindeiru)

G A D

憂鬱だけあるいつも (Yūutsu dake aru, itsumo)

G A

だれか言ったね (Dareka itta ne)

D A G

それは女性のおかげで (Sore wa josei no okage de)

A

べつに (Betsu ni)

D

誰のせいでもないよ (Dare no sei demo nai yo)

[Verse 2]

D

彼女のこと (Kanojo no koto)

大好きだよ (Daisuki da yo)

A
結婚したかった、でもだめ (Kekkon shitakatta, demo dame)
一人ぼっち (Hitoribocchi)
肩コチコチ (Kata kochikochi)
D
今晩も泣くかも知らねー (Konban mo naku kamo shiranē)
[Chorus]
G A D
今もレモンサワ町に死んでいる (Ima mo remon sawa-chō ni shindeiru)
G A D
憂鬱だけあるいつも (Yūutsu dake aru, itsumo)
G A
だれか言ったね (Dareka itta ne)
D A G
それは女性のおかげで (Sore wa josei no okage de)
A
べつに (Betsu ni)
D
多分俺のせいよ (Tabun ore no sei yo)
[Verse 3]
D
ハワイに行く (Hawai ni iku)
お金ない dude (Okane nai dude)
A
どうやって幸せ見つけよう (Dō yatte shiawase mitsukeyō?)
藤沢大丈夫 (Fujisawa daijōbu)
ビーチで休む (Bīchi de yasumu)
D
お酒で嬉しくなれる (Osake de ureshiku nareru)
[Chorus]
G A D
今もレモンサワ町に死んでいる (Ima mo remon sawa-chō ni shindeiru)
G A D
憂鬱だけあるいつも (Yūutsu dake aru, itsumo)

G A
だれか言ったね（Dareka itta ne）
D A G
それは女性のおかげで（Sore wa josei no okage de）
A
べつに（Betsu ni）
D
全部俺のせいよ（Zenbu ore no sei yo）
[Outro spoken]
どこかは午後５時だろうな。。。（Dokoka wa gogo go-ji darō na...）

神奈川女子(California Girls by The Beach Boys)

ビーチ・ボーイズは、自分たちが何を見逃（みのが）しているのか全く分かっていなかったのだわ。

[Verse 1]

D
東京の女子、イケてる (Toukyou no joshi, iketeru)
C
あのスタイル、シビれるぜ (Ano sutairu, shibireru ze)
G
関西女子の、話し方 (Kansai joshi no, hanashikata)
A
そこに行けば、倒れるね (Soko ni ikeba, taoreru ne)
D
北海道の、農家の娘 (Hokkaidou no, nouka no musume)
C
本当に気分は、最高な (Hontou ni kibun wa, saikou na)
G
雪降る東北の可愛い子 (Yuki furu Touhoku no kawaii ko)
A
夜は彼氏と、温まるんだ (Yoru wa kareshi to, atatamaru n da)

[Chorus]

D E-
神奈川女子なら、いいな (Kanagawa joshi nara, ii na)
C D-
神奈川女子なら、いいな (Kanagawa joshi nara, ii na)
Bb C- D
神奈川女子ならいいな (Kanagawa joshi nara ii na)

[Verse 2]

D
湘南海岸、太陽だ (Shounan kaigan, taiyou da)
C
女子はみんな、日焼けする (Joshi wa minna, hiyake suru)
G
逗子海岸で、ビキニ見る (Zushi kaigan de, bikini miru)
A
砂に足指、入ってる (Suna ni ashiyubi, haitteru)

D
この国中を、旅したぜ (Kono kunijuu wo, tabi shita ze)
C
どこに行っても、見てきたな (Doko ni itte mo, mite kita na)
G
東海道線、待ちきれない (Toukaidousen, machikirenai)

[Chorus]

A
潮風吸うのが、最高だ (Shiokaze suu no ga, saikou da)
D E-
神奈川女子なら、いいな (Kanagawa joshi nara, ii na)
C D-
神奈川女子なら、いいな (Kanagawa joshi nara, ii na)
Bb C- D
神奈川女子ならいいな (Kanagawa joshi nara ii na)

牛頭流のなみ(God Only Knows by the Beach Boys)

五頭龍から弁財天へ歌うラブソングなのだわ。

[Verse 1]

```
              C            A-
愛に作られてない (Ai ni tsukurarete nai)
                E-                A
空に星まだある世界 (Sora ni hoshi mada aru sekai)
                  D                Bb-
お前の立つ、大地さ (Omae no tatsu, daichi sa)
             D        Ab-
治める江の島 (Osameru Enoshima)
                      G           D           E-      D
お前抜き、僕何になる？ (Omae nuki, boku nani ni naru?)
```

[Verse 2]

```
                C             A-
もしお前が去っても (Moshi omae ga satte mo)
                    E-               A
潮満ちる、信じるそう (Shio michiru, shinjiru sou)
                D               Bb-
波は僕を、抜ける (Nami wa boku wo, nukeru)
                  D              Ab-
海は何の意味ある？ (Umi wa nan no imi aru)
                      G           D           E-      D
お前抜き、僕何になる？ (Omae nuki, boku nani ni naru?)
```

[Intrumental] F D- A D G Eb G Db-

```
                      G           D           E-      D
お前抜き、僕何になる？ (Omae nuki, boku nani ni naru?)
```

[Verse 3]

```
                C             A-
もしお前が去っても (Moshi omae ga satte mo)
                    E-               A
潮満ちる、信じるそう (Shio michiru, shinjiru sou)
                D             Bb-
波は僕を抜ける (Nami wa boku wo nukeru)
```

```
                    D          Ab-
海は何の意味ある？（Umi wa nan no imi aru）
                      G          D          E-     D
お前抜き、僕何になる？（Omae nuki, boku nani ni naru?）
                      G          D          E-     D
お前抜き、僕何になる？（Omae nuki, boku nani ni naru?）
                      G          D          E-     D
お前抜き、僕何になる？（Omae nuki, boku nani ni naru?）
```

茅ヶ崎 (Surf City by Jan and Dean)

カリフォルニアやハワイのサーフィン文化が世界的に有名なのは、よく存じておりますわね。けれど、美しい砂浜と輝く太陽を求めて足を運ぶのなら、この世界のどこを探しても、湘南海岸（しょうなんかいがん）の右に出る場所なんて絶対にないのだわ。本当に、あそこ以上に愛おしい海辺なんて、この地球上のどこを探してもないんじゃないかしら

[Intro]

```
                    A-      B-C A
```
みんな行きましょう！ (Minna ikimashou!)

[Verse 1]

```
                                  D                   B-
```
六一年のミゼット、ダイハツだ (Roku-ichi nen no Mizetto, Daihatsu da)
```
                     D                B-
```
（湘南海岸、行くぜ） ((Shounan kaigan, iku ze))
```
                                D                B-
```
見た目はボロいが、いじれるさ (Mitame wa boroi ga, ijireru sa)
```
                     D                B-
```
（湘南海岸、行くぜ） ((Shounan kaigan, iku ze))
```
                                G             E-
```
後部座席も、ラジオもない (Koubu zaseki mo, rajio mo nai)
```
                                   C                  A
```
ロングボード積んで、波乗りたい (Ronguboodo tsunde, nami noritai)

[Chorus]

```
                                D
```
茅ヶ崎行くぜ、ナンパしに (Chigasaki iku ze, nanpashi ni)
茅ヶ崎行くぜ、あっち大好き(Chigasaki iku ze, acchi daisuki)
```
                           G
```
茅ヶ崎行くぜ、世界一 (Chigasaki iku ze, sekai ichi)
```
                                D
```
茅ヶ崎行くぜ、メッチャいい波(Chigasaki iku ze, meccha ii nami)
```
                    A-     B-C A
```
みんな行きましょう！ (Minna ikimashou!)

[Verse 2]

```
                                  D                  B-
```
角のココストア、いつも最高な (Kado no Kokosutoa, itsumo saikou na)

D B-
（湘南海岸、行くぜ）((Shounan kaigan, iku ze))
D B-
波に乗るか、レモンサワー飲むか (Nami ni noru ka, Remon Sawaa nomu ka)
D B-
（湘南海岸、行くぜ）((Shounan kaigan, iku ze))
G E-
完璧な波が、二つ来るね (Kanpeki na nami ga, futatsu kuru ne)
C A
そのボード持っていって、海に行け (Sono boodo motte itte, umi ni ike)

[Chorus/Outro]

D
茅ヶ崎行くぜ、ナンパしに (Chigasaki iku ze, nanpashi ni)
茅ヶ崎行くぜ、あっち大好き(Chigasaki iku ze, acchi daisuki)
G
茅ヶ崎行くぜ、世界一 (Chigasaki iku ze, sekai ichi)
D
茅ヶ崎行くぜ、メッチャいい波(Chigasaki iku ze, meccha ii nami)
A- B-C A
みんな行きましょう！ (Minna ikimashou!)

茅ヶ崎女子 (California Gurls by Katy Perry ft. Snoop Dog)

この曲を手掛けたのはね、ただ単にスヌープ・ドッグのラップパートを日本語に落とし込んでみたかったからなのだわ。でも、嘘は申しませんわね。自分で言うのもなんだけれど、これ、本当に完璧にキメてやったんじゃないかしら。

[Intro]　B- C D E-

こんばんは… (Konbanwa...)

B- C D E-

行こうな？ (Ikou na?)

[Verse 1]　B-　C　DE-　B-　C　D　E-

景色が最高、所を知っている (Keshiki ga saikou, tokoro wo shitteiru)

B- C　D E-　B-　C　D E-

暖かくワイルド、水に魔法がある (Atatakaku wairudo, mizu ni mahou ga aru)

B- C　D E-　B-　C D E-

ヤシの木の下で,レモンサワーを飲む(Yashi no ki no shita de, Remon Sawaa wo nomu)

B- C　D E-　B-　C　D E-

男首振り、チラ見しようとする (Otoko kubi furi, chirami shiyou to suru)

[Bridge]　D　E-

世界を旅しても (Sekai wo tabi shite mo)

C

湘南海岸には、かなわないのさ (Shounan kaigan ni wa, kanawanai no sa)

D　E-

一緒に騒げば (Issho ni sawageba)

C

恋に落ちる、ううううううう(Koi ni ochiru, ooh ooh ooh ooh ooh ooh)

[Chorus]　G　C　D　E-

茅ヶ崎女子は、忘れられない (Chigasaki joshi wa, wasurerarenai)

G　C　D　E-

短いショーツもビキニ着る (Mijikai shootsu mo bikini kiru)

G　C　D-　E-

日焼け肌熱く、アイス溶ける (Hiyake hada atsuku, aisu tokeru)

G　C　D　E-

うううううううう(Ooh ooh ooh ooh, ooh ooh ooh ooh)

G　C　D　E-

茅ヶ崎女子は、逆らえない (Chigasaki joshi wa, sakaraenai)

```
                                G          C          D          E-
新鮮で激しく、完璧なスタイル (Shinsen de hageshiku, kanpeki na sutairu)
                              G         C          D         E-
神奈川代表、さあ、手を挙げな (Kanagawa daihyou, saa, te wo agena)
               G            C        D          E-
ううううううう(Ooh ooh ooh ooh, ooh ooh ooh ooh)
[Verse 2]                                B-    C    D E-       B-        C   DE-
富士山見ながら,サンダルの砂もいいよ(Fujisan mi, nagara, sandaru no suna mo ii yo)
                              B-        C     DE-B-     C    D E-
海岸で歩いて、サザンを流すの (Kaigan de, aruite, Sazan wo nagasu no)
[Bridge]
             D                    E-
世界を旅しても (Sekai wo tabi shite mo)
                                   C
湘南海岸には、かなわないのさ (Shounan kaigan ni wa, kanawanai no sa)
           D               E-
一緒に騒げば (Issho ni sawageba)
                               C
恋に落ちる、ううううううう(Koi ni ochiru, ooh ooh ooh ooh ooh ooh)
[Chorus]                    G         C        D       E-
茅ヶ崎女子は、忘れられない (Chigasaki joshi wa, wasurerarenai)
                          G          C         D      E-
短いショーツもビキニ着る (Mijikai shootsu mo bikini kiru)
                            G        C        D-       E-
日焼け肌熱く、アイス溶ける (Hiyake hada atsuku, aisu tokeru)
               G            C        D          E-
ううううううううう(Ooh ooh ooh ooh, ooh ooh ooh ooh)
                          G          C       D      E-
茅ヶ崎女子は、逆らえない (Chigasaki joshi wa, sakaraenai)
                                G          C          D          E-
新鮮で激しく、完璧なスタイル (Shinsen de hageshiku, kanpeki na sutairu)
                              G         C          D         E-
神奈川代表、さあ、手を挙げな (Kanagawa daihyou, saa, te wo agena)
               G            C        D          E-
ううううううううう(Ooh ooh ooh ooh, ooh ooh ooh ooh)
```

[Rap Insert, tap rhythm on guitar, bar lines for 1s and 3s]
日焼け肌、準備いいか (|Hiyake hada, |junbi ii ka)
湘南女子、俺を熱くするな (| Shounan joshi, ore |wo atsuku suru na)
ワイルド茅ヶ崎 (|Wairudo |Chigasaki)
一番好きな女たち (|Ichiban suki na |onna tachi)
日焼けも唇いい (|Hiyake mo kuchi|biru ii)
キスして、マジで熱い (Ki|su shite, maji |de atsui)
10 点満点江ノ電 (|Juuten manten |Enoden)
文句なしだよ、茅ヶ崎も辻堂 (| Monku nashi da yo,| Chigasaki mo |Tsujidou)
小田原と江の島 (|Odawara to E|noshima)
帰れと言われて、嫌だな (Ka|ere to iwarete, |iya da na)
東海道のチャイム聞け (|Toukaidou no |chaimu kike)
時間あったら、波に行け (| Jikan attara, |nami ni ike)
シラス、カマス、ボーナス探す (Shirasu, ka|masu, boona|su sagasu)
女子容易す (|Joshi yoyasu) |
LANA いいじゃな (|LANA ii ja na) |
俺もかな (|Ore mo kana) |
愛してるぜ (| Ai|shiteru ze)
お前が湘南代表だからね (O|mae ga Shounan daihyou |dakara ne)
[Chorus/Outro] **G C D E-**
茅ヶ崎女子は、忘れられない (Chigasaki joshi wa, wasurerarenai)
G C D E-
短いショーツもビキニ着る (Mijikai shootsu mo bikini kiru)
G C D- E-
日焼け肌熱く、アイス溶ける (Hiyake hada atsuku, aisu tokeru)
G C D E-
ううううううう(Ooh ooh ooh ooh, ooh ooh ooh ooh)
G C D E-
茅ヶ崎女子は、逆らえない (Chigasaki joshi wa, sakaraenai)
G C D E-
新鮮で激しく、完璧なスタイル (Shinsen de hageshiku, kanpeki na sutairu)
G C D E-
神奈川代表、さあ、手を挙げな (Kanagawa daihyou, saa, te wo agena)
G C D E-
ううううううう(Ooh ooh ooh ooh, ooh ooh ooh ooh)

サザン　オールスターズ （Mountain Music by Alabama）

私がSAS（サザンオールスターズ）を知ったのは、行きつけのバーのマスターがおもむろにギターを取り出して『涙のキッス』を弾き始め、店中の客がサビを大合唱したあの夜だったのだわ。家に帰って彼らの楽曲を色々と調べてみたのだけれど……もう、クソほどヤバかったですわね。そのたった二日後の夜には、現実の退屈さから逃避しようとする夢破れた中年の皆様に囲まれながら、私自身もレモンサワーで泥酔して、一緒になって大声で歌っておりましたの。本当に,どうかしちゃってたんじゃないかしら。

[Intro] D G D G

[Chorus]

```
                    D              G
サザンを弾いてくれ（Sazan wo hiite kure）
              D                G
あの桑田佳祐（Ano Kuwata Keisuke）
                               D             G
レモンサワー数杯飲んで（Remon Sawaa suuhai nonde）
                             A             D
休むんだ、相模湾で Yasumu n da, Sagami-wan de）
```

[Verse 1]

```
                                  D               G
金太郎みたく、熊と相撲（Kintarou mitaku, kuma to sumou）
                                 D                  G
恋落ちよう、五頭龍みたい（Koi ochiyou, Gozuryuu mitai）
                          D                 G
弁財天と、歌歌おう（Benzaiten to, uta utaou）
                                    C              A
夜はおめえと、エッチしたい（Yoru wa omee to, ecchishitai）
```

[Chorus]

```
                    D              G
サザンを弾いてくれ（Sazan wo hiite kure）
              D                G
あの桑田佳祐（Ano Kuwata Keisuke）
                               D             G
レモンサワー数杯飲んで（Remon Sawaa suuhai nonde）
                             E-            A
休むんだ、相模湾で Yasumu n da, Sagami-wan de）
```

[Verse 2]

```
                                D          G
ヌードで海へ、飛び込む (Nuudo de umi e, tobikomu)
                               D                G
男の証明、してやろう (Otoko no shoumei, shite yarou)
                                D          G
涙のキッス、思い出し (Namida no kissu, omoidashi)
                                C               A
歌い出し、シンドバッドと (Utaidashi, Shindobaddo to)
```

[Verse 3]

```
                              D                G
真夏の果実で、集まり (Manatsu no kajitsu de, atsumari)
                             D                 G
エリちゃんは、一番好き (Eri-chan wa, ichiban suki)
                                       D                   G
ブランニューデイを、探し求め (Burannyuu dei wo, sagashi motome)
                                   C          A
避けてゆき、ＴＳＵＮＡＭＩ (Yokete yuki, Tsunami)
```

[Bridge]

```
                                   D               G
楽しいビーチの、歌弾いて (Tanoshii biichi no, uta hiite)
                  D                   G
湧き出る、心から (Wakideru, kokoro kara)
                                   D                  G
感情たっぷり、込めたやつ (Kanjou tappuri, kometa yatsu)
                                     E-              A
そこから音楽、始まるさ (Soko kara ongaku, hajimaru sa)
```

[Chorus]

```
                    D             G
サザンを弾いてくれ (Sazan wo hiite kure)
               D                G
あの桑田佳祐 (Ano Kuwata Keisuke)
                               D            G
レモンサワー数杯飲んで (Remon Sawaa suuhai nonde)
```

```
                              E-              A
休むんだ、相模湾で Yasumu n da, Sagami-wan de)
[Outro]
                       D              G
サザンを弾いてくれ (Sazan wo hiite kure)
               D                 G
あの桑田佳祐 (Ano Kuwata Keisuke)
                                 D             G
レモンサワー数杯飲んで (Remon Sawaa suuhai nonde)
                              A              D
休むんだ、相模湾で Yasumu n da, Sagami-wan de)
```

国府（Kokomo by The Beach Boys）

お願いだから、神に誓って、この曲のオリジナル・バージョンだけは絶対に聴かないでちょうだいね。あくまで記録を網羅（もうら）するためだけにリストアップしてはおくけれど、間違いなく、クソほど耳から血が出るハメになるのだわ。たとえ今まで一度も聴いたことがなかったとしても、アメリカで「史上最悪の曲」として広く認識されているような代物（しろもの）をわざわざ聴こうとするくらいなら、自分で適当なリズムをでっち上げたほうが、遥（はる）かにマシというものですわよ。

[Intro]

G

石見、浜田、一緒行こうかな？（Iwami, Hamada, issho ikou kana?）

C

三隅、浅利、めちゃくちゃいいな（Misumi, Asari, mecchakucha ii na）

G

大田、出雲、ベイビー二人で（Odashi, Izumo, beibii futari de）

[Verse 1]

C D- C

山陰,日本の南に,国府というビーチ(Sanin, Nihon no minami ni,Kokufu to iu biichi)

C- G A D

君と二人で、人生から逃げよう（Kimi to futari de, jinsei kara nigeyou）

G D- C

砂に座って、結露のストロングゼロ（Suna ni suwatte, ketsuro no Sutorongu Zero）

C- G A

八百万の、神々で愛になろう（Yaoyorozu no, kamigami de ai ni narou）

D G

国府へ行こう（Kokufu e ikou）

[Chorus] **G**

石見、浜田、一緒行こうかな？（Iwami, Hamada, issho ikou kana?）

C

三隅、浅利、めちゃくちゃいいな（Misumi, Asari, mecchakucha ii na）

G

大田、出雲、ベイビー二人で（Odashi, Izumo, beibii futari de）

C C- G

国府へと、君を連れて行きたいよ（Kokufu e to, kimi wo tsurete ikitai yo）

E- A-

下府のすぐそこ、そうするの（Shimokou no sugu soko, sou suru no）

D G
国府へ行こう (Kokufu e ikou)
G
のどぐろ、どんちっちアジも… (Nodoguro, Donchichi Aji mo...)
[Verse 2]
G
海へ飛び込み (Umi e tobikomi)
D- C
この泳ぐ二人 (Kono oyogu futari)
C- G
サーファーたち波に乗る (Saafaa-tachi nami ni noru)
A D
優しい匂い (Yasashii nioi)
G
昼の営み (Hiru no itonami)
D- C
ゆずサワー、俺と君 (Yuzu Sawaa, ore to kimi)
C- G A
恍惚味わえり,楽しみ (Koukotsu ajiwaeri, Tanoshimi)
D G
国府へ行こう (Kokufu e ikou)
[Chorus] G
石見、浜田、一緒行こうかな？ (Iwami, Hamada, issho ikou kana?)
C
三隅、浅利、めちゃくちゃいいな (Misumi, Asari, mecchakucha ii na)
G
大田、出雲、ベイビー二人で (Odashi, Izumo, beibii futari de)
C C- G
国府へと、君を連れて行きたいよ (Kokufu e to, kimi wo tsurete ikitai yo)
E- A-
下府のすぐそこ、そうするの (Shimokou no sugu soko, sou suru no)
D G
国府へ行こう (Kokufu e ikou)
G
畳、ヶ浦、体験は純粋、な？ (Tatami, gaura, taiken wa junsui, na?)

[Verse 3]

```
                G
みんな知っている (Minna shitteiru)
            D-                  C
自分だけの国府 (Jibun dake no Kokufu)
                                    C-              G               A         D
もしそこに行きたく, 人生から逃げる  (Moshi soko ni ikitaku, Jinsei kara nigeru)
                        G
国府に行く (Kokufu ni iku)
```

[Outro]

```
                                G
石見、浜田、一緒行こうかな？ (Iwami, Hamada, issho ikou kana?)
                                  C
三隅、浅利、めちゃくちゃいいな (Misumi, Asari, mecchakucha ii na)
                               G
大田、出雲、ベイビー二人で (Odashi, Izumo, beibii futari de)
                                    C          C-              G
国府へと、君を連れて行きたいよ (Kokufu e to, kimi wo tsurete ikitai yo)
                                E-                  A-
下府のすぐそこ、そうするの (Shimokou no sugu soko, sou suru no)
           D             G
国府へ行こう (Kokufu e ikou)
```

足の指（Toes by Zac Brown Band）

東京からの長旅になることは重々承知しておりますけれど、もし現実からの逃避が必要だと言うのなら、中国地方の西部ほどそれにふさわしい場所なんて他にないのだわ。ただし、缶チューハイのパックは絶対に自分で持ち込んでちょうだいね。なにしろ電車はクソほど本数が少ないですし、頼みの綱の「お酒のゴリラ」も、あなたが想像している以上にずっと遠く離れた場所にあるんじゃないかしら。

[Intro] D G D A x2

```
                                  D                  G
足を水につけ，ケツ砂の中（Ashi wo mizu ni tsuke, Ketsu suna no naka）
                                    D                    A
心配ない，手にストロングゼロだな（Shinpai nai, Te ni Sutorongu Zero da na）
                        G          A
今日は最高だ（Kyou wa saikou da）
                       D
島根なら（Shimane nara）
```

[Verse 1]

```
                             D                G
電車到着は、三時頃（Densha touchaku wa, sanji goro）
                                    D                  A
都会の記憶、まだあるじゃん（Tokai no kioku, mada aru jan）
                           D                 G
ビキニと酒、夢見てて（Bikini to sake, yumemitete）
                              D      A        D
タクシーに乗っている間（Takushii ni notteiru ma）
```

[Verse 2]

```
                             D              G
コンクリの地獄、東京は（Konkuri no jigoku, Toukyou wa）
                          D                A
囚人の生活みたい（Shuujin no seikatsu mitai）
                                    D                    G
でも電車で逃げた、海がいっぱいな（Demo densha de nigeta, umi ga ippai na）
                          D         A      D
本当に戻りたくない（Hontou ni modoritakunai）
```

[Pre Chorus]

```
                                  D                  G
足を水につけ，ケツ砂の中（Ashi wo mizu ni tsuke, Ketsu suna no naka）
```

D A
心配ない，手にストロングゼロだな（Shinpai nai, Te ni Sutorongu Zero da na）
G A
今日は最高だ（Kyou wa saikou da）
D
島根なら（Shimane nara）
[Chorus]
D N.C. G
さよならバヤ・コン・ディオス（Sayonara vaya con dios）
D
行かなくちゃぜ（Ikanakucha ze）
A
可愛い女性も酒のためで（Kawaii josei mo sake no tame de）
D
なんでここに来て？（Nande koko ni kite?）
D N.C. G
さよならバヤ・コン・ディオス（Sayonara vaya con dios）
D
行かなくちゃぜ（Ikanakucha ze）
A
太陽熱い、ショートピースを吸い（Taiyou atsui, Shooto Piisu wo sui）
D
ギターを持って弾け（Gitaa wo motte hike）
[Instrumental] D G D A D G D A D D
[Verse 2]
D G
四日が早い、酔った金曜みたい（Yokka ga hayai, yotta kinyou mitai）
D A
夏が終わらなくちゃ（Natsu ga owaranakucha）
D G
俺が帰らずと、ダチは驚く（Ore ga kaerazu to, dachi wa odoroku）
D A D
同じにさよなら言った（Onaji ni sayonara itta）

[Bridge]

```
                              D              G
```
バーの彼女は、島から来た（Baa no kanojo wa, shima kara kita）
```
                           D                  A
```
太陽は体キスした（Taiyou wa karada kissushita）
```
                                 D                      G
```
バーの匂いはレモンとココナッツ（Baa no nioi wa remon to kokonattsu）
```
                               D           A         D
```
気持ちはラムのせいかな（Kimochi wa ramu no sei kana）

[Prechorus]
```
                                    D                    G
```
足を水につけ，ケツ砂の中（Ashi wo mizu ni tsuke, Ketsu suna no naka）
```
                                     D                       A
```
心配ない，手にストロングゼロだな（Shinpai nai, Te ni Sutorongu Zero da na）
```
                          G           A
```
今日は最高だ（Kyou wa saikou da）
```
                        D
```
島根なら（Shimane nara）

[Chorus]
```
                               D N.C.                 G
```
さよならバヤ・コン・ディオス（Sayonara vaya con dios）
```
                                    D
```
東京は遠すぎる（Toukyou wa toosugiru）
```
                               D
```
女たちは俺をパパと呼ぶ（Onnatachi wa ore wo papa to yobu）
```
                                     D
```
俺はいいパパ活（Ore wa ii papa katsu）
```
                               D N.C.                 G
```
さよならバヤ・コン・ディオス（Sayonara vaya con dios）
```
                                    D
```
東京は遠すぎる（Toukyou wa toosugiru）
```
                                D
```
悪いけど、注いでゆず酒を（Warui kedo, sosoide yuzu-shu wo）
```
                                      D
```
ギターを持って弾く(Gitaa wo motte hiku)

[Instrumental] D G D A D G D A D

D N.C. G

さよならバヤ・コン・ディオス (Sayonara vaya con dios)

D

家に帰るぜ (Ie ni kaeru ze)

A

金がなけりゃ、女は冷めた (Kane ga nakerya, onna wa tsumeta)

D

なくなった、この金 (Nakunatta, kono kane)

[Spoken] D

ベランダのビニールプールで (Beranda no biniiru puuru de)

[Outro]

D G

パイプ椅子にケツ、水に足 (Paipu isu ni ketsu, mizu ni ashi)

D A

まだチューハイがある、心配しない (Mada chuuhai ga aru, shinpai shinai)

G

今日は最高だ (Kyou wa saikou da)

A D G A D

今日は最高だ (Kyou wa saikou da)

竜宮城（Catch a Wave by the Beach Boys）

私、ずっと前からある映画のアイデアを温めているのだわ。南海トラフ巨大地震による津波に湘南のサーファーが乗り、なんと超光速（スーパーリミナル）まで加速され、時間の遅れによって自らの世界がクソほど崩壊した未来へ飛ばされてしまう……という物語ですわね。そのサーファーの名前が何かって？『浦島だろう？』よ。文字通り、下の名前が「ダロウ」なのだわ。もしこのアイデアをパクって映像化したいという奇特な輩（やから）がいるのなら、どうぞご勝手にやってちょうだいね。

[Chorus] **D N.C.**

波に乗れ、目指すは竜宮城！（Nami ni nore, mezasu wa Ryuuguujou!）

[Verse 1]

G

恐れず亀を、砂で救う（Osorezu kame wo, suna de sukuu）

D **G**

網は陸に、置いておく（Ami wa riku ni, oite oku）

C

漕ぎ出して、息を止めて…潜る（Kogidashite, iki wo tomete... moguru）

G

サンゴの城は生きるね！（Sango no shiro wa ikiru ne!）

[Chorus]

D **Bb** **C** **D** **G**

波に乗れ、目指すは竜宮城！（Nami ni nore, mezasu wa Ryuuguujou!）

[Verse 2]

G

嘘じゃない、昔からあった（Uso ja nai, mukashi kara atta）

D **G**

海の歌を、歌ってくれるな（Umi no uta wo, utatte kureru na）

C

金の匙で、宴を食… 三味線（Kin no saji de, utage wo kuu… Shamisen）

G

の音を朝まで舞う（No oto wo asa made mau）

[Chorus]

D **Bb** **C** **D** **G**

波に乗れ、目指すは竜宮城！（Nami ni nore, mezasu wa Ryuuguujou!）

[Verse 3]

```
                    G
最強の漁師に学ぼうぜ（Saikyou no ryoushi ni manabou ze）
                       D                          G
玉手箱はおもちゃじゃねぇ（Tamatebako wa omocha jane-e）
                       C
村の縄張り離れよう…三百（Mura no nawabari hanareyou… sanbyaku）
                     G
三百年波の下にいよう！（nen nami no shita ni iyou!）
```

[Outro]

```
                        D          Bb      C       D      G
波に乗れ、目指すは竜宮城！（Nami ni nore, mezasu wa Ryuuguujou!）
                        D          Bb      C       D      G
波に乗れ、目指すは竜宮城！（Nami ni nore, mezasu wa Ryuuguujou!）
```

Riding the Rails
鉄路を行く

私、鉄道がクソほど好きなのだわ。
アメリカがこれまで關与してきたすべての戦争における最大の遺憾は、鉄道インフラを根本から再構築せざるを得ないレベルまで国土が徹底的に爆撃されなかったことなのよね。もちろん、日本が焦土と化した事実を「良かった」なんて肯定するつもりは毛頭ありませんけれど。ただ結局のところ、アメリカの鉄道は救いようがないほどクソで、日本は世界最高峰の鉄道網を誇っているという、それだけのことなのですわね。
アメリカに新幹線のような長距離高速鉄道を導入しようとする試みは、いつだって瞬く間に頓挫(とんざ)してしまうの。でも、昨今の政治状況を眺めていると、日本の鉄道——とりわけ利用者の少ない地方のローカル線の行く末が、本当に心配になってしまうのだわ。
そもそも、鉄道は利益を追求するだけのビジネスなんかじゃないの。移動の自由は紛れもない基本的人権であり、公共交通機關……それも「質の高い」公共交通機關は、人民の、人民による、人民のための公共インフラであるべきなんじゃないかしら。

尼崎事件 (The Wreck of the Old ’97 by Johnny Cash)

私は列車の曲が大好きだし、資本主義が普通の人たちの生活を苦しくしているのを批判するのも大好きなのだわ。元の曲も列車の事故についての歌だけれど、状況はまったく違いましたわね。どう違うのか、聴き比べてみるのも面白いんじゃないかしら。

[Verse 1: The Order]

```
                                    G                C
駅から出たら、ラジオの音を聞いた (Eki kara detara, rajio no oto wo kiita)
                                          G             D
「高見、おめぇは、遅おおおおおい！」 (”Takami, omee wa, osooooooi!”)
                                 G             C
「一分半だ、日勤が待つ！」 (”Ippun han da, nikkin ga matsu!”)
                                |G       D       |G
尼崎駅まで、おいおい！ (Amagasaki eki made, oi oi!)
```

[Verse 2: The Panic]

```
                                      G              C
レバーを見つめ、前へと押し出した (Rebaa o mitsume, mae e to oshi-dashita)
                                   G                 D
叫んだ、「行かなくちゃぞ！」 (Sakenda, ”Ikanakucha zo!”)
                                        G                C
「山手じゃなくて、福知山線だ！ (”Yamanote ja nakute, Fukuchiyama-sen da!)
                                   |G           D      |G
客さんたちと行け一緒！」(Kyakusan-tachi to ike isshou!”)
```

[Verse 3: The Flashback]

```
                           G              C
三十秒を、取り戻したが (Sanjuubyou wo, tori-modoshita ga)
                         G                    D
頭の中、パニックさ (Atama no naka, panikku sa)
                           G            C
罵声の記憶が、蘇り (Basei no kioku ga, yomigaeri)
                         |G        D      |G
目に次の日勤が (Me ni tsugi no nikkin ga)
```

[Verse 4: The Fatal Choice]

```
                                    G                    C
```

時速七十ゾーンで、百二十に行って(Jisoku nanajuu zoon de, hyaku-ni-juu ni itte)
G D
危なそうと、見ていた (Abuna-sou to miteta)
G C
非常ブレーキは、ダメだから (Hijou bureeki wa, dame da kara)
|G D |G
常用ブレーキだけ、引いた (Jouyou bureeki dake hiita)
[Verse 5: The Indictment]
G C
百七の人間が、死んだ (Hyaku-nana no ningen ga, shinda)
G D
会社の罪だと、知れよ (Kaisha no tsumi da to, shire yo)
G C
部下を人間と、思わないなら (Buka wo ningen to, omowanai nara)
|G D |G
お前も人殺し、だぜよ (Omae mo hitogoroshi, da zo)

山手線（I’ve Been Everywhere by Johnny Cash）

この曲は元々、ミュージシャンとして北アメリカ中を旅することについての歌だったのだわ。私は電車が大好きだし、山手線（やまのてせん）は世界で一番素晴らしい環状線（かんじょうせん）なんじゃないかしら。だから、それをお祝いしたかったんですの。イントロに出てくるラーメン屋さんは本当にあるお店で、めちゃくちゃ美味しいですわね。

[INTRO] D

D

巣鴨の今村で、ラーメン平らげて（Sugamo Imamura de, raamen tairagete）

山手線改札、抜けたところで（Yamanote kaisatsu, nuketa tokoro de）

G

ホームで待ってたら、外人が来て（Hoomu de mattetara, gaijin ga kite）

D

「この電車どこ行く？」と、聞いてきて（”Kono densha doko yuku?” to, kiite kite）

A

アタシは笑って、指をさした（Atashi wa waratte, yubi wo sashita）

N.C.

まああ（Maaa...）

D

「東京の全部だ…！」（”Tokyo no zenbu da...!”）

[CHORUS]

D

全部まわるぜ！全部まわるぜ！(Zenbu mawaru ze! Zenbu mawaru ze!)

G **D**

緑線だぜ！絶対飽きないぜ！（Midori sen da ze! Zettai aki-nai ze!_

A **D**

世界一電車ね？全部まわる！(Sekai ichi densha ne? Zenbu mawaru!)

[VERSE 1]

到着は！（Touchaku wa!）

D

東京、上野、巣鴨、目白（Tokyo, Ueno, Sugamo, Mejiro）

高田馬場、池袋（Takadanobaba, Ikebukuro）

G

新宿、原宿、浜松町（Shinjuku, Harajuku, Hamamatsucho）

D

御徒町、と、有楽町（Okachimachi, to, Yurakucho）

A

渋谷、田端、大塚、神田 (Shibuya, Tabata, Otsuka, Kanda)
D
目黒、大崎、恵比寿、五反田 (Meguro, Osaki, Ebisu, Gotanda)
[CHORUS]
D
全部まわるぜ！全部まわるぜ！(Zenbu mawaru ze! Zenbu mawaru ze!)
G D
緑線だぜ！絶対飽きないぜ！ (Midori sen da ze! Zettai aki-nai ze!_
A D
世界一電車ね？全部まわる！(Sekai ichi densha ne? Zenbu mawaru!)
[VERSE 2]
まもなく！(Mamonaku!)
D
駒込、品川、秋葉原 (Komagome, Shinagawa, Akihabara)
日暮里、「西も」、高輪 (Nippori, "Nishi mo", Takanawa)
G
新大久保、代々木、田町 (Shin-Okubo, Yoyogi, Tamachi)
D
鶯谷、と、新橋 (Uguisudani, to, Shimbashi)
A
高輪のゲートウェイはどこだ？！ (Takanawa no Geetowei wa doko da?!)
D
深澤のケツの穴にあるさ！ (Fukazawa no ketsu no ana ni aru sa!)
[CHORUS]
D
全部まわるぜ！全部まわるぜ！(Zenbu mawaru ze! Zenbu mawaru ze!)
G D
緑線だぜ！絶対飽きないぜ！ (Midori sen da ze! Zettai aki-nai ze!_
A D
世界一電車ね？全部まわる！(Sekai ichi densha ne? Zenbu mawaru!)

[VERSE 3]
乗換は！ (Norikae wa!)

D
東急、東西、千代田、南北（Tokyu, Tozai, Chiyoda, Nanboku）
銀座、日比谷、京浜東北（Ginza, Hibiya, Keihin-Tohoku）
G
池上、常磐、井の頭（Ikegami, Joban, Inokashira）
D
上野東京、浅草（Ueno-Tokyo, Asakusa）
A
東武線、総武線、副都心、西武線（Tobu-sen, Sobu-sen, Fukutoshin, Seibu-sen）
D
東上、舎人、東海道、新幹線！（Tojo, Toneri, Tokaido, Shinkansen!）
[CHORUS]
D
全部まわるぜ！全部まわるぜ！(Zenbu mawaru ze! Zenbu mawaru ze!)
G D
緑線だぜ！絶対飽きないぜ！（Midori sen da ze! Zettai aki-nai ze!_
A D
世界一電車ね？全部まわる！(Sekai ichi densha ne? Zenbu mawaru!)
[VERSE 4]
乗換も！（Norikae mo!）
D
湘南新宿、京王、京急（Shonan-Shinjuku, Keio, Keikyu_
田園都市、りんかい、小田急（Denen-toshi, Rinkai, Odakyu）
G
荒川、三田、丸ノ内、中央（Arakawa, Mita, Marunouchi, Chuo）
D
東横、大江戸、横須賀、最強！（Toyoko, Oedo, Yokosuka, Saikyo!）
A
本当に何でも、したかったら（Hontou ni nandemo, shitakattara）
D
山手でできる、最高だから！（Yamanote de dekiru, saikou dakara!）
[FINAL CHORUS]
D
全部まわるぜ！全部まわるぜ！(Zenbu mawaru ze! Zenbu mawaru ze!)

G D
緑線だぜ！絶対飽きないぜ！ (Midori sen da ze! Zettai aki-nai ze!_
A D
世界一電車ね？全部まわる！(Sekai ichi densha ne? Zenbu mawaru!)

車掌さん (Hey Porter by Johnny Cash)

これは、アメリカの南部が大好きで、早くそこに戻りたくてたまらない気持ちを歌った列車の曲だわ。私も九州（きゅうしゅう）、特に大分県（おおいたけん）に対して同じように感じていますわね。だから代わりに、日本の南部についての曲にしてみましたの。私の九州への愛が、みんなに伝わるんじゃないかしら。

[VERSE 1]

```
                          G
車掌さん！車掌さん！（Shashou-san! Shashou-san!）
今、何時かしら？（Ima, nanji kashira?）
                                              A              D
あとどれくらいで関門海峡か？（Ato dore kurai de Kanmon Kaikyō ka?）
                                        G                        C
夜が明けたら、速度を落として（Yo ga aketara, sokudo wo otoshite）
                                          G                      D        G
いや、電車を止めて周りが見たくて(Iya, densha wo tomete mawari ga mitakute...)
```

[VERSE 2]

```
                          G
車掌さん！車掌さん！（Shashou-san! Shashou-san!）
もう一回、何時？（Mou ikkai, nanji?）
                                              A           D
朝の光まであとどれくらい？(Asa no hikari made ato dore kurai?)
                            G                             C
九州に着いたらベルを鳴らせ(Kyūshū ni tsuitara beru wo narase)
                               G                    D      G
寝てない奴皆一緒に叫べ！ （Netenai yatsu mina issho ni sakebe!）
```

[VERSE 3]

```
                          G
車掌さん！車掌さん！（Shashou-san! Shashou-san!）
外は明るいぜ（Soto wa akarui ze）
                                                    A          D
九州が見える鉄塔の電気感じて(Kyūshū ga mieru Tettō no denki kanjite)
                                        G                            C
運転士に頼めアナウンスしてくれ（Untenshi ni tanome Anaunsu shite kure）
                                          G                      D           G
カボスの木の匂いやっと帰って来たぜ！(Kabosu no ki no nioi Yatto kaette kita ze!)
```

[VERSE 4]

```
                          G
車掌さん！車掌さん！ (Shashou-san! Shashou-san!)
荷物をお願い！ (Nimotsu wo onegai!)
                                                A          D
もう言われなくても大分は近い！(Mou iwarenakutemo Oita wa chikai!)
                             G                                C
機関士に頼めスロットル戻せ(Kikanshi ni tanome Surottoru modose)
                                        G         D       G
家はすぐそこゆっくり走れ！ (Ie wa sugu soko Yukkuri hashire!)
```

[VERSE 5]

```
                          G
車掌さん！車掌さん！ (Shashou-san! Shashou-san!)
ドア開けてくれ！ (Doa akete kure!)
                                                      A               D
電車が止まったら一番に飛び出すぜ！(Densha ga tomattara Ichiban ni tobidasu ze)
                                        G                                  C
乗務員に感謝を,料金に文句はねぇ！(Jōmuin ni kansha wo Ryōkin ni monku wa nee)
                                        G          D          G
大分の土踏むとり天を食うぜ！(Ōita no tsuchi fumu Toriten wo kuu ze!)
```

地下鉄の壁の詩（A Poem on the Underground Wall by Simon and Garfunkel）

この本全体を通しても、これが最も直訳（ちょくやく）に近い曲なのだわ。だって、余計（よけい）なアレンジなんて全く必要ないほど、ただただ完璧（かんぺき）な名曲なんですわね。本当に、これ以上手を加える余地（よち）なんてないんじゃないかしら。

[Intro] C G G E-

[Verse 1]

```
                          C            G
終電がもうすぐ来る（Shuuden ga mou sugu kuru）
                                      E-
地下鉄はもう閉まる（Chikatetsu wa mou shimaru）
                       C              G
暗く人気のない駅で（Kuraku hitoke no nai eki de）
                                    E-
焦燥と期待の中で（Shousou to kitai no naka de）
                     C          G        E-
男は影で待つ（Otoko wa kage de matsu）
```

[Verse 2]

```
                                C          G
落ち着かない目が引っ掻く（Ochitsukanai me ga hikkaku）
                                      E-
触れるもの全てを抱く（Fureru mono subete wo idaku）
                          C           G
ポケットの奥深くへと（Poketto no okufukaku e to）
                                       E-
沈黙のくぼみの中へと（Chinmoku no kubomi no naka e to）
                       C              G         E-
色付きクレヨン握る（Irotsuki kureyon nigiru）
```

[Verse 3]

```
                            C               G
トンネルの石の子宮から（Tonneru no ishi no shikyuu kara）
                                          E-
車両が花婿に出会うから（Sharyou ga hanamuko ni deau kara）
                          C                 G
歓迎の扉を広く開く（Kangei no tobira wo hiroku hiraku）
```

E-
だがためらい、そして引く (Daga tamerai, soshite hiku)
C G E-
さらに深い影へ (Sara ni fukai kage e)
[Bridge]
E-
そして電車は消え去り (Soshite densha wa kesari)
D
車輪は静かに回り (Sharin wa shizuka ni mawari)
C A-
優しく叩く祈り (Yasashiku tataku inori)
E- A-
クレヨンのロザリオ握り (Kureyon no rozario nigiri)
C G E-
強く手の中に (Tsuyoku te no naka ni)
[Verse 4]
C G
ポケットから素早く (Poketto kara subayaku)
E-
クレヨンで壁に切り裂く (Kureyon de kabe ni kirisaku)
C G
広告の上に記した (Koukoku no ue ni shirushita)
E- C G E-
四文字でできた一語の詩だ (Yon-moji de dekita ichigo no shi da)
[Verse 5]
C G
心は笑い、叫び、打ち鳴る (Kokoro wa warai, sakebi, uchinaru)
E-
詩は線路を越えて響き渡る (Shi wa senro wo koete hibikiwataru)
C G
出口の明かりに影落とし (Deguchi no akari ni kage otoshi)
E-
彼の足は駆け上がり (Kare no ashi wa kakeagari)
C G C G E-
闇の胸を求め,夜の乳を飲むため(Yami no mune wo motome, yoru no chichi wo nomu tame)

桜新幹線（The City of New Orleans by Willie Nelson）

元々は、アメリカの消えゆく旅客鉄道網に捧げられた、ある種の陽気な挽歌（ばんか）として書かれた曲なのですけれど。今回はあえて、日本の鉄道が誇る圧倒的な素晴らしさへの純粋な畏敬の念に、それがすっかり日常のありふれた風景と化してしまった出張族（しゅっちょうぞく）の、あの独特の疲労感をほんの少しだけスパイスとして混ぜ合わせたものに翻訳し直してみたのだわ。この驚異と退屈の絶妙なコントラストが、たまらなく良い味を出しているんじゃないかしら。

[Intro] G x2

[Verse 1]

```
                        G          D            G
さくら新幹線に乗ってる（Sakura Shinkansen ni notteru）
                   E-           C        G    D
新大阪駅、金曜朝（Shin-Osaka eki, kinyou asa）
                  G             D          G
八両編成も八十人（Hachiryou hensei mo hachijuunin）
                          E-                  D           G
車掌二人とワゴン販売もだ（Shashou futari to wagon hanbai mo da）
```

[Bridge 1]

```
                          E-
南へ向かう線路だな（Minami e mukau senro da na）
                                B-
出発してる、大阪から（Shuppatsu shiteru, Osaka kara）
                             D                    A
家、町も畑を過ぎていく（Ie, machi mo hatake wo sugiteiku）
                  E-
ガラスのビルと（Garasu no biru to）
               B-
見る,姫路城も（Miru, Himeji-jou mo）
                              D                    G
竹と静かな緑の丘よ（Take to shizuka na midori no oka yo）
```

[Chorus]

```
                                        C           D         G
歌って「おはよう岡山、元気な？」（Utatte, ”Ohayou Okayama, genki na?”）
                             E-             C        G
「知らないか？息子やねん」（”Shiranai ka? Musuko ya nen”）
                       D      G         D           E- A
夜まで五百マイルに行く（Yoru made gohyaku mairu ni iku）
```

D C D G
俺の名は、「さくら新幹線」 (Ore no na wa, "Sakura Shinkansen")
[Verse 2]
G D G
四列目でクソゲーしてる (Yon-retsume de kuso-gee shiteru)
E- C G D
昨夜のタイガズのスコアを探す (Sakuya no Taigazu no sukoa wo sagasu)
G D G
ぬるいレモンドの缶を飲んで (Nurui Remon-do no kan wo nonde)
E- D G
床下で滑る車輪を感じる (Yukashita de suberu sharin wo kanjiru)
[Bridge 2]
E- B-
建設者の夢,技術者の魂が(Kensetsusha no yume, gijutsusha no tamashii ga)
D A
この鋼の道に乗ってるさ (Kono hagane no michi ni notteru sa)
E- B-
静かな車内で,その歌を聞いて(Shizukana shanai de, Sono uta wo kiite)
D G
レールが歌う、あの音色だ (Reeru ga utau, ano neiro da)
[Chorus]
C D G
「おはよう広島、元気な？」 ("Ohayou Hiroshima, genki na?")
E- C G
「知らないか？息子やねん」 ("Shiranai ka? Musuko ya nen")
D G D E- A
夜まで五百マイルに行く (Yoru made gohyaku mairu ni iku)
D C D G
俺の名は、「さくら新幹線」 (Ore no na wa, "Sakura Shinkansen")
[Verse 3]
G D G
昼過ぎ、博多駅で (Hirusugi, Hakata eki de)
E- C G D
ラーメンの町、天国だぞ (Ramen no machi, tengoku da zo)

G D G
旅も半分、夕食一緒に (Tabi mo hanbun, yuushoku issho ni)
E- D G
カーブの先に鹿児島中央 (Kaabu no saki ni Kagoshima-Chuo)
[Bridge 3]
E-
すぐ家に着く気がして (Sugu ie ni tsuku ki ga shite)
B-
身を粉にして、疲れ果て (Mi wo ko ni shite, tsukarehate)
D A
グリーン車、前より硬いだ (Guriin-sha, mae yori katai da)
E-
窓の外、時代は変わる (Mado no soto, jidai wa kawaru)
B-
終わらない、この旅に乗る (Owaranai, kono tabi ni noru)
D G
すぐに到着する、感謝だ (Sugu ni touchaku suru, kansha da)
[Chorus]
C D G
歌って「こんにちは出水、愛してる」 (Utatte, "Konnichiwa Izumi, aishiteru")
E- C G
「知らないか？息子やねん」 ("Shiranai ka? Musuko ya nen")
D G D E- A
夜まで五百マイルに行く (Yoru made gohyaku mairu ni iku)
D C D G
俺の名は、「さくら新幹線」 (Ore no na wa, "Sakura Shinkansen")
[Outro Chorus]
C D G
歌って「おかえり鹿児島、元気な？」 (Utatte, "Okaeri Kagoshima, genki na?")
E- C G
「知らないか？お気に入りやねん」 ("Shiranai ka? Oki-ni-iri ya nen")
D G D E- A
五百マイル来たぜ、夕食の時間 (Gohyaku mairu kita ze, yuushoku no jikan)
D C D G
俺の名は、「さくら新幹線」 (Ore no na wa, "Sakura Shinkansen")

網走九六ブルース (Folsom Prison Blues by Johnny Cash)

(Folsom Prison Blues by Johnny Cash)

この曲の２番のヴァースときたら、初めて耳にした時は正気の沙汰とは思えないほど狂っているのだわ。徹底的に冷酷で、クソみたいに無慈悲であるにもかかわらず、音楽そのものが容赦なく聴き手を前へと突き動かしてくるのですわね。(架空の存在とはいえ）あんな血も涙もない殺人鬼を称え、もてはやすような楽曲のくせに、忌々しいほどキャッチーで耳にこびりついて離れないなんて、本当にどうかしているんじゃないかしら。

[Intro]

N.C. G

[Intro] {DDDF F D Bb/A G}

[Verse 1]

G

雪を切り裂き、来る九六 (Yuki wo kirisaki, kuru Kyuuroku)

港の流氷、冬の毒 (Minato no ryuuhyou, fuyu no doku)

C G

網走で腐る、日々が経つ (Abashiri de kusaru, hibi ga tatsu)

D G

汽車は行くのさ、俺の罰 (Kisha wa yuku no sa, ore no batsu)

[Verse 2]

G

母は泣いたぜ、「真っ当に生きる」 (Haha wa naita ze, "Mattou ni ikiru")

「炭鉱で下向き、ナイフを閉じる」 ("Tankou de shita muki, naifu wo tojiru")

C G

だが夕張で男、刺して殺した (Daga Yuubari de otoko, sashite koroshita)

D G

九六の汽笛に、涙を落とす (Kyuuroku no kiteki ni, Ochiru namida ga)

[Guitar Solo]G G G G C C G G D D G G

[Verse 3]

G

金持ち笑って、ゴールデンバット吸える (Kanemochi waratte, Gooruden Batto sueru)

高級温泉の煙が見える (Koukyuu onsen no kemuri ga mieru)

C G

俺の業（カルマ）は、もう自由を捨つ (Ore no karuma wa, mou jiyuu wo sutsu)

D G

貨車は行くのさ、この胸を打つ (Kasha wa yuku no sa, kono mune wo utsu)

[Guitar Solo]G G G G C C G G D D G G

[Verse 4]

G

この鉄の鎖切り、汽車を走らせ (Kono tetsu no kusari kiri, kisha wo hashirase)

ボイラーを白く、故郷へ焦がせ (Boiraa wo shiroku, kokyou e kogase)

C G

網走の氷結から、遠く消える (Abashiri no hyouketsu kara, tooku kieru)

D G

汽笛が鳴り響き、この罪が据える (Kiteki ga nari-hibiki, kono tsumi ga sueru)

SPORTS!
(and other fun things)
スポーツ！
（及び、娯楽）

さて、その他に私が好む「愉快なお楽しみ」を挙げるなら、こんなところかしら。
ビデオゲームに、美味しいお酒、アニメ。そして、廣島に對する格別な愛着。
あぁ、それと何より……救いようのないほど愚かなアメリカ人たちを小馬鹿にして笑い飛ばすこと、なのですわね。

闘牛 – (Rodeo, by Garth Brooks)

ロデオは、カウボーイが牛や馬を使った色々なスポーツで競争する、アメリカのスポーツだわ。闘牛（とうぎゅう)、特に徳之島（とくのしま）のような深い田舎の闘牛について聞いた時、私はどうしてもこの二つを繋げたいと思いましたわね。遠く離れた文化なのに、どこか同じような魂（たましい）があるんじゃないかしら。

[INTRO]> > G A |E |> > G A |E |> > G A

[VERSE 1]

```
                        E                A     E
冷たい目つき，乾いてる（Tsumetai metsuki, Kawaiteru）
                      A        E     A      E
牛と、海辺，歩いてる（ Ushi to, umibe, Aruiteru）
                                 E                    A
あの牛の蹄，ただ、守るため（Ano Ushi no Hizume, tada, mamoru tame）
                                    E                   B
嫁は分かってる，闘牛ってもんだぜ（Yome wa wakatteru, Tōgyū tte mon da ze）
```

[CHORUS]

```
                    E
牛と血，土俵の埃（Ushi to chi, Dohyō no hokori）
                A          E
新年の叫び（Shinnen no sakebi）
                           E
アグおにぎり，ビールの匂い（Agu Onigiri, Biiru no nioi）
             |B    >    D   G   |
勝利の泡盛（Shōri no Awamori）
                     E
世話係，と、手ぬぐい（Sewagakari, To tenugui）
                           A             E
と、その後のスナック（To sono ato no sunakku）
                   E
牛と愛，その戦い（Ushi to ai, Sono tatakai）
                          B
それを闘牛と呼ぶ（Sore wo tōgyū to yobu）
```

[VERSE 2]

```
                                 E                          A            E
嫁は朝飯を，ただ、奴と食べたい（Yome wa asameshi wo, Tada, yatsu to tabetai）
```

A E A E
でも優勝戦が来れば,あいつはもういない(Demo yūshō-sen ga kureba aitsu wa mou inai)
E
「行ってきます」奴は言う (”Ittekimasu” yatsu wa iu)
A
「いってらしゃい」答える (”Itterasshai” kotaeru)
E
嫁は奴が欲しい (Yome wa yatsu ga hoshii)
B
奴は優勝求める (Yatsu wa yūshō motomeru)

[CHORUS]

E
牛と血, 土俵の埃 (Ushi to chi, Dohyō no hokori)
A E
新年の叫び (Shinnen no sakebi)
E
アグおにぎり, ビールの匂い (Agu Onigiri, Biiru no nioi)
|B > D G |
勝利の泡盛 (Shōri no Awamori)
E
世話係, と、手ぬぐい (Sewagakari, To tenugui)
A E
と、その後のスナック (To sono ato no sunakku)
E
牛と愛, その戦い (Ushi to ai, Sono tatakai)
B
それを闘牛と呼ぶ (Sore wo tōgyū to yobu)

[VERSE 3]

E A E
あいつは馬鹿な, みんなが笑ってる (Aitsu wa baka na, Minna ga waratteru)
A E A E
次の勝負のために,嫁の浴衣も売る(Tsugi no shōbu no tame ni, Yome no yukata mo uru)
E A
逃げた嫁と, 空の泡盛だけ (Nigeta yome to, Kara no Awamori dake)

```
                                        E                              B
あいつの残りの人生は,その闘牛の夢(Aitsu no nokori no jinsei wa, Sono tōgyū no yume)
[CHORUS]
                      E
牛と血, 土俵の埃 (Ushi to chi, Dohyō no hokori)
                  A           E
新年の叫び (Shinnen no sakebi)
                              E
アグおにぎり, ビールの匂い (Agu Onigiri, Biiru no nioi)
               |B     >     D   G   |
勝利の泡盛 (Shōri no Awamori)
                       E
世話係, と、手ぬぐい (Sewagakari, To tenugui)
                                 A              E
と、その後のスナック (To sono ato no sunakku)
                     E
[OUTRO]
                              E
牛と血, それだけ欲しい  (Ushi to chi, Sore dake hoshii)
                       B             |E      |> > G A |E      |> > G A | E
嫁抜きの… 闘牛 (Yome nuki no... tōgyū)
```

山川に（All Kinds of Time by Fountains of Wayne

百人一首（ひゃくにんいっしゅ）かるたは、今までで一番素晴らしいスポーツだわ。頭と心と手を合わせるから、世界の他の何とも比べられないと私は思いますわね。元の曲は、アメフトのクォーターバックが後ろに下がって、パスを出して試合に勝とうとしている歌だけれど、次に読まれる音を待っているかるたの選手に、そのコンセプトがもっとぴったり合うんじゃないかしらと思いましたの。

[VERSE 1]

```
                          D                A           B-
読手、吸い込んで，始まるぜ（Yomite, suikonde, Hajimaru ze）
                       G
札が光ってる（Fuda ga hikatteru）
                    D            A             B-
帯結びは，きついから（Obimusubi wa, Kitsui kara）
                             G
でも全部見えてる（Demo zenbu mieteru）
```

[CHORUS]

```
                           D              A                C
時止まってる…時止まってる…(Toki tomatteru... Toki tomatteru...)
                             G
時止まってる…（Toki tomatteru...）
                           D              A                C
時止まってる…時止まってる…(Toki tomatteru... Toki tomatteru...)
                             G
時止まってる…（Toki tomatteru...）
```

[VERSE 2]

```
                                D                A                B-
「や」だけ聞いたら，二枚あるかな（”Ya” dake kiitara, Ni-mai aru kana）
                           G
でも両方は「山」（Demo ryōhō, wa ”Yama”）
                         D              A              B-
袖濡れている，汗多すぎる（Sode nureteiru, Ase ō-sugiru）
                                    G
でも次が、読めるな…（Demo tsugi ga, yomeru na...）
```

[CHORUS]

```
                           D              A                C
時止まってる…時止まってる…(Toki tomatteru... Toki tomatteru...)
```

G
時止まってる… (Toki tomatteru...)
D A C
時止まってる…時止まってる…(Toki tomatteru... Toki tomatteru...)
G
時止まってる… (Toki tomatteru...)
[BRIDGE]
G- D A
達人を想う, 昔の歌人を (Tatsujin wo omou, Mukashi no kajin wo)
G-
未来のために, 残された歌 (Mirai no tame ni, Nokosareta uta)
A
千年経っても… 色褪せないよ… (Sennen tattemo... Iroasenai yo...)
[SOLO] D A C G x2
[VERSE 3]
D A B-
敵陣見据え,自陣も捉え (Tekijin misue, Jijin mo torae)
G
一枚が、光り出す (Ichi-mai ga, hikaridasu)
D A B-
息を飲み込み, 腕を差し込み (Iki wo nomikomi, Ude wo sashikomi)
G
「が」の音で、勝てる… ("Ga" no oto de, kateru...)
[FINAL CHORUS]
D A C
時止まってる…時止まってる…(Toki tomatteru... Toki tomatteru...)
G
時止まってる… (Toki tomatteru...)
D A C
時止まってる…時止まってる…(Toki tomatteru... Toki tomatteru...)
G
時止まってる… (Toki tomatteru...)

リーチ麻雀（The Gambler by Kenny Rogers）

私自身はリーチ麻雀（まーじゃん）をやったことがないけれど、日本ではポーカーよりも人気があると知っているから、このケニー・ロジャースの名曲に重ね合わせるのに最高のゲームだと思ったのだわ。翻訳するためにルールを色々と調べてみたけれど、私にはまだ、このゲームがどうやって進むのか全然わかりませんわね。実際に遊んでみないと、本当のところは理解できないんじゃないかしら。

[VERSE 1]

```
                              D                G                D
蒸し暑い晩、終電の山陰本線(Mushi-atsui ban, shūden no San-in hon Sen)
                                 G           D          A
眠れない古株と、顔を合わせた（Nemurenai furukabu to, kao wo awaseta）
                                        D                          G          D
二人してネオンを、ぼんやり眺めたら（Futari shite neon wo, bon'yari nagametara）
                                 G           D          A         D
電車の揺れで、オヤジは話した（Densha no yure de, oyaji wa hanashita）
```

[Verse 2]

```
                                          D                    G            D
「坊や、他人の捨て牌で,生きてきたのさ(”Bōya, tanin no sutehai de, ikite kita no sa）
                                       G       D                A
ため息の隠し方で、待ち牌が分かる(Tameiki no kakushikata de, machihai ga wakaru）
                                        G                 G               D
悪く思わなけりゃ、点棒ないんだろ？（Waruku omowanakerya, tenbō nain daro?）
                                 G              D          A           D
その-196貸したら,忠告してやる」(Sono Ichi-Kyū-Roku kashitara, chūkoku shite yaru”）
```

[Verse 3]

```
                                 D                    G               D
-196を渡すと、最後まで飲んだ（Ichi-Kyū-Roku wo watasu to, saigo made nonda）
                                          G        D           A
そしてショトピースをせびり,火くれと言った(Soshite Shōtopīsu wo sebiri,hi kure to itta）
                                 D                   G                D
車内は静まった,オヤジの顔は無表情(Shanai wa shizumatta, oyaji no kao wa muhyōjō）
                                          G           D     A          D
「坊や,牌を押すなら,正しく押さなきゃ」(Bōya, hai wo osu nara,tadashiku osanakya）
```

[CHORUS]

```
                                       D           G              D
牌押すか降りるか、その時を知れ（Hai osu ka oriru ka, sono toki wo shire）
```

G D A
ポンと鳴く時、逃げる時分からなきゃ (Pon to naku toki, nigeru toki wakaranakya)
D G D
卓に座ったら、点棒数えるな (Taku ni suwattara, tenbō kazoeru na)
G D A D
数える時間は、半荘が終わったら (Kazoeru jikan wa, hanchan ga owattara)

[VERSE 4]

D G D
生き残る秘密は,打ち手なら知ってる (Ikinokoru himitsu wa, uchite nara shitteru)
G D A
どの風が安全、何を残すべきか (Dono kaze ga anzen, nani wo nokosu beki ka)
D G D
ツモは全て役満、同時に罰符よ (Tsumo wa subete Yakuman, dōji ni bappu yo)
G D A D
泣く奴見ながらツモる,最高の夢だ(Naku yatsu minagara tsumoru, saikō no yume da)

[Verse 5]

D G D
語り終えたオヤジは、窓へと振り返り (Katari oeta oyaji wa, mado e to furikaeri)
G D A
タバコをもみ消して、眠りに落ちた (Tabako wo momikeshite, nemuri ni ochita)
D G D
暗闇のどこかで,オヤジはリーチをかけた(Kurayami no dokoka de,oyaji wa Rīchi wo kaketa)
G D A D
その最後の言葉,残す牌を見つけた(Sono saigo no kotoba, nokosu hai wo mitsuketa)

[CHORUS]

D G D
牌押すか降りるか、その時を知れ (Hai osu ka oriru ka, sono toki wo shire)
G D A
ポンと鳴く時、逃げる時分からなきゃ (Pon to naku toki, nigeru toki wakaranakya)
D G D
卓に座ったら、点棒数えるな (Taku ni suwattara, tenbō kazoeru na)
G D A D
数える時間は、半荘が終わったら (Kazoeru jikan wa, hanchan ga owattara)

詩織を追いかけな (Waterfalls by TLC)

攻略本（こうりゃくぼん）を一切（いっさい）使わずに藤崎詩織（ふじさき しおり）を攻略（こうりゃく）できた人がいるなら、その人は間違いなく神様（かみさま）なのだわ。でも、最初から彼女には挑戦（ちょうせん）さえせずに、片桐彩子（かたぎり あやこ）に人生を捧（ささ）げた（グッドタイミング！）という人がいたら、その人は私と同じタイプですわね。これを翻訳（ほんやく）するのは、なんだかとても不思議（ふしぎ）で変わった経験（けいけん）だったんじゃないかしら。

[INTRO] D A C G x2

[Verse I]

D A
孤独な二年、机見て (Kodoku na ninen, tsukue mite)
C G
テストと体力悩む (Tesuto to tairyoku nayamu)
D A
きらめきアイドル、完璧求めて (Kirameki aidoru, kanpeki motomete)
C G
青春過ぎて、週末数学 (Seishun sugite, shuumatsu suugaku)
D A
魅力上げれば、わかるはず (Miryoku agereba, wakaru hazu)
C G
スタミナ切れで、体調は最悪 (Sutamina gire de, taichou wa saiaku)
D A
卒業式のプレッシャー無理だ (Sotsugyou shiki no puresshaa muri da)
C G
詩織の基準、目をそらす (Shiori no kijun, me wo sorasu)

[CHORUS]

D A
詩織を追いかけな (Shiori wo oikakena)
C G
綾子と結愛も本当に満足よ (Ayako to Yuki mo hontou ni manzoku yo)
D A
伝説の樹の下で、告白されたい (Densetsu no ki no shita de, kokuhaku saretai)
C G
でも早すぎるな (Demo hayasugiru na)

[Verse 2]

```
                        D                A
好男が警告サインを出す (Yoshio ga keikoku sain wo dasu)
                              C                    G
「他の女、無視してる」 (”Hoka no onna, mushi shiteru”)
                              D                  A
気にしないぜ、エリートを追う (Ki ni shinai ze, eriito wo ou)
                        C                    G
暗い噂、街を走る (Kurai uwasa, machi wo hashiru)
                                          D                    A
「爆弾がある」聞いた、ちょっと怖いな( “Bakudan ga aru” kiita, chotto kowai na)
                              C                    G
好感度下がる、馬鹿な奴 (Koukando sagaru, baka na yatsu)
                        D                    A
電話も無視、一緒に帰らず (Denwa mo mushi, issho ni kaerazu)
                         C                    G
爆発して、評判終わる (Bakuhatsu shite, hyouban owaru)
```

[Chorus]

```
                  D           A
詩織を追いかけな (Shiori wo oikakena)
                                    C                    G
綾子と結愛も本当に満足よ (Ayako to Yuki mo hontou ni manzoku yo)
                                          D                    A
伝説の樹の下で、告白されたい (Densetsu no ki no shita de, kokuhaku saretai)
                     C           G
でも早すぎるな (Demo hayasugiru na)
```

[Chorus]

```
                  D           A
詩織を追いかけな (Shiori wo oikakena)
                                    C                    G
綾子と結愛も本当に満足よ (Ayako to Yuki mo hontou ni manzoku yo)
                                          D                    A
伝説の樹の下で、告白されたい (Densetsu no ki no shita de, kokuhaku saretai)
                     C           G
でも早すぎるな (Demo hayasugiru na)
```

さあ行こう…（Saa ikou...）

[Rap Verse]

D
理系に美術、スポーツも全部（Rikei ni bijutsu, supootsu mo zenbu）

A
綾子は絵の具、英語を叫ぶ（Ayako wa enogu, eigo wo sakebu）

C
洋楽好きで、完璧いらない（Yougaku zuki de, kanpeki iranai）

G
結愛はゲーセン、授業サボりたい（Yuki wa geesen, jugyou saboritai）

D
幼馴染みになぜ苦しむ？（Osananajimi ni naze kurushimu?）

A
天才求めて、お前をいじめる（Tensai motomete, omae wo ijimeru）

C
そのままの君、好きな子を無視（Sono mama no kimi, suki na ko wo mushi）

G
三月一日に、一人で立ち尽くし（Sangatsu tsuitachi ni, hitori de tachitsukushi）

[Chorus]

D **A**
詩織を追いかけな（Shiori wo oikakena）

C **G**
綾子と結愛も本当に満足よ（Ayako to Yuki mo hontou ni manzoku yo）

D **A**
伝説の樹の下で、告白されたい（Densetsu no ki no shita de, kokuhaku saretai）

C **G**
でも早すぎるな（Demo hayasugiru na）

メキシコのワイン (Mexican Wine by Fountains of Wayne

はじめにでも申し上げたけれど、これは単（たん）なる特権階級（とっけんかいきゅう）への痛烈（つうれつ）な批判（ひはん）だけではないのだわ。ごく普通（ふつう）の人々に対する、心からの賛歌（さんか）でもありますわね。ちょっと変わった人や、最高にクールな人、お年寄りに若者……そして、自分では気づかないうちに罠（わな）に囚（とら）われてしまっている人たちのための歌なんじゃないかしら。

[Intro] D x4

[Verse 1]

D A
駅前ビラ配る宣伝 (Ekimae bira kubaru senden)
B- G
死後の期待語る講演 (Shigo no kitai kataru kouen)
D A
二十年休みなし当然 (Nijuunen yasumi nashi touzen)
B- G
悪いが救済、払えぬ一銭 (Warui ga kyuusai, haraenu issen)

[Chorus]

D A G
夏の太陽、光る世界 (Natsu no taiyou, hikaru sekai)
D A G
君がいるなら、俺もいたい (Kimi ga iru nara, ore mo itai)
D A G
変わろうとしたが、やっぱ辞めたい (Kawarou to shita ga, yappa yametai)
B- A D
もう一杯飲もう、メキシコのワイン (Mou ippai nomou, Mekishiko no wain)

[Verse 2]

D A
カラオケ、歌うの夢中 (Karaoke, utau no muchuu)
B- G
なぎら健壱、マジでクール (Nagira Kenichi, maji de kuuru)
D D
クラス奴ら、笑った低級 (Kurasu yatsura, waratta teikyuu)
B- G
TikTok 外人、褒めるバズー (TikTok gaijin, homeru bazuu)

[Chorus]

D A G
夏の太陽、光る世界 (Natsu no taiyou, hikaru sekai)
D A G
君がいるなら、俺もいたい (Kimi ga iru nara, ore mo itai)
D A G
変わろうとしたが、やっぱ辞めたい (Kawarou to shita ga, yappa yametai)
B- A D
もう一杯飲もう、メキシコのワイン (Mou ippai nomou, Mekishiko no wain)

[Verse 3]

D A
昔は山手、運転系 (Mukashi wa Yamanote, unten-kei)
B- G
クビになったさ、マリワナの刑 (Kubi ni natta sa, mariwana no kei)
D A
貯金はゼロだぜ、無給兵 (Chokin wa zero da ze, mukyuu-hei)
B- G
実家に住むから、マジＯＫ (Jikka ni sumu kara, maji ou-kei)
D A G
夏の太陽、光る世界 (Natsu no taiyou, hikaru sekai)
D A G
君がいるなら、俺もいたい (Kimi ga iru nara, ore mo itai)
D A G
変わろうとしたが、やっぱ辞めたい (Kawarou to shita ga, yappa yametai)
B- A D
もう一杯飲もう、メキシコのワイン (Mou ippai nomou, Mekishiko no wain)
B- A D
もう一杯飲もう、メキシコのワイン (Mou ippai nomou, Mekishiko no wain)
B- A D
もう一杯飲もう、メキシコのワイン (Mou ippai nomou, Mekishiko no wain)

恵まれた歩兵（Fortunate Son by Creedence Clearwater Revival）

この曲には何か深いメッセージが隠されているのかもしれないけれど、私にはよくわからないのだわ。支配（しはい）やコントロールについてのお話だったかしら？私としては、ただ純粋（じゅんすい）に将棋（しょうぎ）が大好きなだけなんですわね。

[Intro] D C G D x2

[Verse 1]

```
                        D                C
彫られてすぐに、捨て駒さ（Horarete sugu ni, sutegoma sa）
                       G                    D
あぁ、金には成れないぜ（Aa, kin ni wa narenai ze）
                     D                C
神の手に、拾われても（Kami no te ni, hirowarete mo）
                           G                   C
あぁ、永遠に消えはしねぇ！（Aa, eien ni kiewa shinee!）
```

[Chorus]

```
          D       A
俺な、俺な（Ore na, ore na）
                  G                 D
銀でも金でもないさ（Gin demo kin demo nai sa）
          D       A
俺な、俺な（Ore na, ore na）
                   G                      D
恵まれた魂じゃないな（Megumareta tamashii ja nai na）
```

[Verse 2]

```
                        D                C
空の陣地に、打たれるぜ（Sora no jinchi ni, utareru ze）
                           G                   D
あぁ、すぐに向きを変えられ（Aa, sugu ni muki wo kaerare）
                     D                C
だが兄弟の、顔を見りゃ（Daga kyoudai no, kao wo mirya）
                                G                              D
あぁ、あいつを斬れと命じられ！（Aa, aitsu wo kire to meijirare!）
```

[Chorus]

```
          D       A
俺な、俺な（Ore na, ore na）
```

G D
銀でも金でもないさ (Gin demo kin demo nai sa)
D A
俺な、俺な (Ore na, ore na)
G D
恵まれた魂じゃないな (Megumareta tamashii ja nai na)
[Verse 3]
D C
王は安全な、城の奥 (Ou wa anzen na, shiro no oku)
G D
あぁ、ただの駒と扱われ (Aa, tada no koma to atsukaware)
D C
少しの意志を、願っても (Sukoshi no ishi wo, negatte mo)
G D
あぁ、打たれて死ね、死ね！ (Aa, utarete shine, shine!)
[Chorus/Outro]
D A
俺な、俺な (Ore na, ore na)
G D
銀でも金でもないさ (Gin demo kin demo nai sa)
D A
俺な、俺な (Ore na, ore na)
G D
恵まれた魂じゃないな (Megumareta tamashii ja nai na)
D A
俺な、俺な (Ore na, ore na)
G D
恵まれた魂じゃないな (Megumareta tamashii ja nai na)
D A
俺な、俺な (Ore na, ore na)
G D
恵まれた魂じゃないな (Megumareta tamashii ja nai na)

一撃を撃て！（Hit Me With Your Best Shot – Pat Benetar）

弓道（きゅうどう）をされている、あのオーストラリア出身の女の子の動画をご覧になったことあるかしら？彼女、ものすごくお上手で、そこら辺の日本人よりもよっぽど「日本人らしい」美しい所作（しょさ）でしたわね。それなのに、コメント欄は「必死すぎる」「どうせ日本人にはなれない」なんていう、最低なレイシストたちの書き込みで溢（あふ）れかえっていたのだわ。彼女、れっきとした日本国民（にほんこくみん）だというのに。本当に……ああいうクソみたいな連中こそが、すべての問題の元凶（げんきょう）なんじゃないかしら。

[Intro] G C E- D | G C E-D C D|

[Verse 1]

```
                        G       D             E-       C
黒い袴で、線に立つ様（Kuroi hakama de, sen ni tatsu zama）
                                D
完璧な型、スターのつもりか？(Kanpeki na kata, sutaa no tsumori ka?)
                        G       D       E-      C
いいぜ、お手並み拝見だぜ（Ii ze, otenami haiken da ze）
                          D
弓を構えろ、見てるんだね！(Yumi wo kamaero, miteru n da ne!)
```

[Chorus]

```
             G          C     E-  D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                          G       C    E-D C D
最高な一撃撃て！(Saikou na ichigeki ute!)
             G          C   E-   D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                    G    C   E-D C D
放ちやれ！(Hanachi yare!)
```

[Verse 2]

```
                        G           D           E-    C
八節の動き、呼吸は遅く（Hassetsu no ugoki, kokyuu wa osoku）
                        D
非対称の弓、高く持つ（Hitaishou no yumi, takaku motsu）
                              G          D           E-      C
だが革の弾、手が震えてる（Daga kawa no yugake, te ga furueteru）
                                    D
俺を見るが、矢は高く飛んでく！(Ore wo miru ga, ya wa takaku tonde ku!)
```

[Chorus]

```
             G          C     E-  D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                          G       C    E-D C D
最高な一撃撃て！(Saikou na ichigeki ute!)
             G          C   E-   D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                    G    C   E-D C D
放ちやれ！(Hanachi yare!)
```

[Verse 3]

```
                              G           C        E-         D
長い歴史ある、タフな射手だな (Nagai rekishi aru, tafu na ite da na)
                               D
俺の目前で、竹を割るのさ (Ore no me mae de, take wo waru no sa)
                          G         C        E-        D
的を射る前、心澄ませよ (Mato wo iru mae, kokoro sumase yo)
                            F
離れは綺麗だ、型忘れたぞ！(Hanare wa kirei da, kata wasureta zo!)
```

[Chorus/Outro]

```
             G          C     E-  D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                          G       C    E-D C D
最高な一撃撃て！(Saikou na ichigeki ute!)
             G          C   E-   D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                    G    C   E-D C D
放ちやれ！(Hanachi yare!)
             G          C     E-  D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                          G       C    E-D C D
最高な一撃撃て！(Saikou na ichigeki ute!)
             G          C   E-   D
一撃を撃て！(Ichigeki wo ute!)
                    G    C   E-D C D
放ちやれ！(Hanachi yare!)
```

スウィート・ホーム・広島 (Sweet Home Alabama by Lynyrd Skynyrd)

この曲に登場するピザ屋さんは、この本の内容をいかなる形でも推奨（すいしょう）しているわけではありませんのだわ。たった一人の客が、「高市（たかいち）はレイシストの参政党支持者の波に便乗（びんじょう）した、戦争狂（せんそうきょう）のクソ袋だ」と思っているからといって、そのお店まで白い目で見られるようなことがあってはなりませんわね。どうか、お店そのものは悪く思わないであげてほしいんじゃないかしら。

[Intro] |D C |G | x4

[Verse 1]

```
              D       C           G
緑電車、走ってる (Midori densha, hashitteru)
           D        C         G
平和市のダチに (Heiwashi no dachi ni)
             D          C        G
学生が平和歌うさ(Gakusei ga heiwa utau sa)
                         D             C        G
広島がまた恋しい(久しぶり！) (Hiroshima ga mata koishii (Hisashiburi!))
```

[Interlude] |D C |G | x2

[Verse 2]

```
             D        C     G
大阪人、言うのさ (Oosaka-jin, iu no sa)
             D         C       G
生地が一番うまい (Kiji ga ichiban umai)
                D        C      G
関西人覚えとけ、なぁ (Kansai-jin oboetoke, naa)
                                 D          C             G
みんな重ねる麺が食べたい、アイアイ！ (Minna kasaneru men ga tabetai, ai ai!)
```

[Chorus]

```
                     D         C         G
スウィート・ホーム・広島 (Suwiito hoomu Hiroshima)
            D     C      G
青い瀬戸、最高 (Aoi Seto, saikou)
                     D         C         G
スウィート・ホーム・広島 (Suwiito hoomu Hiroshima)
           D         C         G  A- C
お前の元帰るぞ (Omae no moto kaeru zo)
```

[Verse 2]

```
                                  D          C         G
スタジアムで,カープ愛す（ゴ！ゴ！ゴ！）(Sutajiamu de, Kaapu aisu(Go! Go! Go!))
                    D         C           G
赤いギアを、着るんだ（Akai gia wo, kiru n da）
                        D          C            G
東京巨人は、気にしないぜ（Toukyou Kyojin wa, ki ni shinai ze）
                                  G         C            G
お前のブルペン,ヤバいな？（そうだね！）(Omae no burupen, yabai na? (Sou da ne!))
[Chorus]              D          C          G
スウィート・ホーム・広島（Suwiito hoomu Hiroshima）
              D      C       G
青い瀬戸、最高（Aoi Seto, saikou）
                      D          C          G
スウィート・ホーム・広島（Suwiito hoomu Hiroshima）
             D          C          G   A- C
お前の元帰るぞ（Omae no moto kaeru zo）
[Verse 3]
            D     C           G
宮島、寺ある（Miyajima, tera aru）
                D         C          G
アナゴも美味いけど（Anago mo umai kedo）
                      D          C         G
ブルーな気分にあったら（Buruu na kibun ni attara）
                   D            C          G
土橋のピザ世界一よ（Doubashi no piza Sekai-ichi yo）
[Chorus]
                      D          C          G
スウィート・ホーム・広島（Suwiito hoomu Hiroshima）
              D      C       G
青い瀬戸、最高（Aoi Seto, saikou）
                      D          C          G
スウィート・ホーム・広島（Suwiito hoomu Hiroshima）
             D          C          G   A- C
お前の元帰るぞ（Omae no moto kaeru zo）
```

アタシ出して（Centerfield by John Fogerty）

以前別の曲でも申し上げたことだけれど、愛子さまは女性天皇（じょせいてんのう）になられるべきだと、私は心から思っているのだわ。それに、もしご本人が望まれるのなら、他の女の子たちと全く同じように、野球だって自由に楽しめる環境であるべきですわね。本当に、立場や性別を理由にして、女の子がマウンドに立つ権利を奪うなんて、あってはならないことなんじゃないかしら。

[Intro] G C G D C B- A- D G

[Verse 1]

```
                              G
太鼓叩いて、時が来た（Taiko tataite, toki ga kita）
                                C              G
太陽が出た、この日に（Taiyou ga deta, kono hi ni）
                               G            E-            D
黒土のグラウンド、立つさ（Kurotsuchi no guraundo, tatsu sa）
                               G        G
三塁回って、ホームへ（Sanrui mawatte, hoomu e）
                              C                G
鋭い目の、可愛いエース（Surudoi me no, kawaii eesu）
                             G                E-              D
誰でもわかる、この気持ちな（Dare demo wakaru, kono kimochi na）
```

[Chorus]

```
            G
ねぇ監督（Ne-e kantoku）
                                    C      G
アタシ出して、プレイ！（Atashi dashite, purei!）
            G
ねぇ監督（Ne-e kantoku）
                                    C       B-
アタシ出して、プレイ！（Atashi dashite, purei!）
                                   A-      D-             G
タシを見ろ、センター守れる（'Tashi wo miro, sentaa mamoreru）
```

[Verse 2]

```
                            G
外の線で、過ごして（Soto no sen de, sugoshite）
                                C            G
スタンドから、見ていた（Sutando kara, mite ita）
```

```
                                G            E-          D
古いルールで、傷を負ったな (Furui ruuru de, kizu wo otta na)
                          G
「シキとエリとアユミ (”Shiki to Eri to Ayumi)
                        C      G
に行って言えよ」(ni itte ie yo”)
                                C                  D        G
「違う」と言うな、今だろさ (”Chigau” to iu na, ima daro sa)
[Chorus]
               G
ねぇ監督 (Ne-e kantoku)
                                       C      G
アタシ出して、プレイ！ (Atashi dashite, purei!)
               G
ねぇ監督 (Ne-e kantoku)
                                       C       B-
アタシ出して、プレイ！ (Atashi dashite, purei!)
                                     A-      D-              G
タシを見ろ、センター守れる ('Tashi wo miro, sentaa mamoreru)
[Verse 3]
                                   G
手入れしたグローブ、情熱 (Teire shita guroobu, jounetsu)
                             C             G
新品のスパイク靴 (Shinpin no supaiku gutsu)
                               G        E-        D
この試合に、乗る時だ (Kono shiai ni, noru toki da)
                               G
打ってベースを全部踏め (Utte beesu wo zenbu fume)
                        C             G
太陽の甲子園！ (taiyou no Koushien!)
                                                    C           D             G
あぁ,飛んでゆくぜ,さよならのホームラン！(Aa, tonde yuku ze sayonara no hoomuran!)
[Chorus]
               G
ねぇ監督 (Ne-e kantoku)
```

C G
アタシ出して、プレイ！ (Atashi dashite, purei!)
G
ねぇ監督 (Ne-e kantoku)
C B-
アタシ出して、プレイ！ (Atashi dashite, purei!)
A- D- G
タシを見ろ、センター守れる ('Tashi wo miro, sentaa mamoreru)
[Outro / Chorus]
G
ねぇ監督 (Ne-e kantoku)
C G
アタシ出して、プレイ！ (Atashi dashite, purei!)
G
ねぇ監督 (Ne-e kantoku)
C B-
アタシ出して、プレイ！ (Atashi dashite, purei!)
A- D- G
タシを見ろ、センター守れる ('Tashi wo miro, sentaa mamoreru)

真実は一つ（What Is Truth by Johnny Cash）

よく、どんなアニメが好きなのかと尋ねられるのだわ。日本人の方が外国人に対して、お決まりのように投げかける質問ですわね。これだけは申し上げておきますけれど、私のお気に入りのキャラクターは、二人とも主に青い服を着ているのだわ。そして、どちらも決してタヌキなんかじゃないんじゃないかしら。

[Intro] G C D G

[Verse 1]

```
          G
屋敷の床死体だ（Yashiki no yuka shitai da）
                    C
目暮が入る、ドアから（Megure ga hairu, doa kara）
                  A
小五郎、顎をなでる（Kogorou, ago wo naderu）
                   D
泣いてる女、指差す（Naiteru onna, yubisasu）
                          G
「彼女が刺したんだぜ」って（”Kanojo ga sashita n da ze”)tte
                        C
警察言う、「さすがだね」（Keisatsu iu, ”sasuga da ne”）
                  A
青いスーツの小学生（Aoi suutsu no shougakusei）
                          D
「ナイフなのに、血はなぜ？」（”Naifu na no ni, chi wa naze?”）
                               G          C       D      G
少年言う、「真実は…一つ」（Shounen iu, ”Shinjitsu wa... hitotsu”）
```

[Verse 2]

```
                    G
小さいのは、罪じゃない（Chiisai no wa, tsumi ja nai）
                C
元は高校天才（Moto wa koukou tensai）
                  A
黒ずくめの遊園地（Kurozukume no yuuenchi）
                  D
飲んだ毒で縮む日（Nonda doku de, chijimu hi）
                   G
一番好きな彼女と（Ichiban sukina kanojo to）
```

C
住んでるのに子供 (Sunderu no ni kodomo)
A
密室殺人が迷えば (Misshitsu satsujin ga mayoeba)
D
大人たちを導くわ (Otonatachi wo, michibiku wa)
G C D G
少年言う、「真実は…一つ」 (Shounen iu, "Shinjitsu wa... hitotsu")
[Verse 3]
G
時計のダイヤル開けて (Tokei no daiyaru akete)
C
麻酔針を撃つんだぜ (Masuibari wo utsu n da ze)
A
探偵がふらつき回る (Tantei ga furatsuki mawaru)
D
壁に倒れて真実語る (Kabe ni taorete shinjitsu kataru)
G
釣り糸とテープのトリック (Tsurito to teepu no torikku)
C
犯人はもう逃げれなく (Hannin wa mou nigere naku)
A
警察連行、目が覚める (Keisatsu renkou, me ga sameru)
D
おっちゃんが全て手柄取る (Occhan ga subete tegara toru)
G C D G
少年言う、「真実は…一つ」 (Shounen iu, "Shinjitsu wa... hitotsu")
G C D G
少年言う、「真実は…一つ」 (Shounen iu, "Shinjitsu wa... hitotsu")

滑るぜ（I Get Around by The Beach Boys）

ちょうど今、お豆腐（とうふ）がいただきたい気分なのだわ。あなたもいかがかしら？

[Intro]

```
                  D N.C.     D            B
回る、滑るぜ、俺滑る（Mawaru, suberu ze, ore suberu）
                             E-           C     A
回る、滑るぜ、俺滑る（Mawaru, suberu ze, ore suberu）
                         D
滑るぜ、回れ、俺滑る（Suberu ze, maware, ore suberu）
                           B
俺レッドまで回す、滑る（Ore reddo made mawasu, suberu）
                             E-
タイヤを焦がす、滑るぜ（Taiya wo kogasu, suberu ze）
                          C                A
俺回って、滑る滑るぜ（Ore mawatte, suberu, suberu ze）
```

[Verse 1]

```
                               E-    A        E-      A
同じ直線、もう飽き飽きだ（Onaji chokusen, mou akiaki da）
                               E-     A       E-         A
急な坂ある、新しい山さ（Kyuu na saka aru, atarashii yama sa）
```

[Interlude] |D |D

```
                               E-   A           E-        A
俺とダチは、有名になって（Ore to dachi wa, yuumei ni natte）
                                  E-   A           E-     A
グリップ組も、道を空けるぜ（Gurippu-gumi mo, michi wo akeru ze）
```

[Chorus]

```
                               D
回る、滑るぜ、俺滑る（Mawaru, suberu ze, ore suberu）
                               B
回る、滑るぜ、俺滑る（Mawaru, suberu ze, ore suberu）
                             E-
俺レッドまで回す、滑る（Ore reddo made mawasu, suberu）
                               C-                A
タイヤを焦がす、滑るぜ（Taiya wo kogasu, suberu ze）
```

[Verse 2]

```
                                  E-          A       E-        A
ハチロクスプリンター、無敵走り(Hachiroku Supurintaa, muteki ashiri)
                                  E-     A         E-      A
女子たちも、確実に落とし (Joshi-tachi mo, kakujitsu ni otoshi)
```

[Interlude] |D |D

```
                             E-         A       E-     A
だが誰も彼女は、作らな (Daga dare mo kanojo wa, tsukarana)
                                  E-   A            E-     A
土曜の夜は、エンジンいじりさ (Doyou no yoru wa, enjin ijiri sa)
```

[Chorus]

```
                                D
回る、滑るぜ、俺滑る (Mawaru, suberu ze, ore suberu)
                                B
回る、滑るぜ、俺滑る (Mawaru, suberu ze, ore suberu)
                             E-
俺レッドまで回す、滑る (Ore reddo made mawasu, suberu)
                                C-                A
タイヤを焦がす、滑るぜ (Taiya wo kogasu, suberu ze)
```

[Outro]

```
                                D
回る、滑るぜ、俺滑る (Mawaru, suberu ze, ore suberu)
                                B
回る、滑るぜ、俺滑る (Mawaru, suberu ze, ore suberu)
                             E-
俺レッドまで回す、滑る (Ore reddo made mawasu, suberu)
                                C-                A          D
タイヤを焦がす、滑るぜ (Taiya wo kogasu, suberu ze)
```

アメリカ　(America by Falco)

この曲、元々はドイツの……正確に申し上げるなら、オーストリアの楽曲なのだわ。けれど、そこで描かれている海の向こう側の情景というものは、どこの海を隔てていようとも、見事に共通していると思いますわね。本当に、海を越えた先にある世界へのイメージは、どの海であろうと変わらないんじゃないかしら。

[Intro] G D E- B- C G C D

[Verse 1]

```
                                        G          D            E-            B-
まあ話はこうや,誰でも知ってるで (Maa hanashi wa kou ya, dare demo shitteru de)
                                        C          G            C             D
この国でロックやるん,楽やなかったね (Kono kuni de rokku yaru n, raku ya nakatta ne)
                                      G             D          E-          B-
俺が飲んでるコックテール,薄いとわかる(Ore ga nonderu cokuteeru, usui to wakaru)
                                        C          G          C           D
日本行ってから,バ梅乃宿柚子酒を飲む (Nippon itte kara, umenoyado yuzushu wo nomu)
                                             G          D           E-        B-
向こうは HACHINOKO WONDERFUL,ほっといてくれ(Mukou wa "Hachinoko, wonderful!", hottoite kure)
                                        C          G            C         D
でもこの本盗んだなら,文句は言わねぇ(Demo kono hon nusunda nara, monku wa iwanee)
                                      G              D        E-              B-
俺の普通は,本当普通じゃないのさ (Ore no futsuu wa, hontou futsuu ja nai no sa)
                                        C          G          C             D
ハイやロー,酔ったり,シラフだったりや (Hai ya roo, yottari, shirafu dattari ya)
                                      C            G            D             G
そのままの俺を受け入れ,今すぐ言うわ (Sono mama no ore wo ukeire, ima sugu iu wa)
                                        C             G         D           D
次のいいの見せりゃ,ライブに行くな！ (Tsugi no ii no miserya, raibu ni iku na!)
```

[Chorus]

```
                                      G      D    E-       B-      C
アメリカ、信じてくれたら、恋しいよ (Amerika, shinjite kuretara, koishii yo)
                                |G > C D |G       D    E-       B-      C
アメリカ、信じてくれたら、恋しいよ (Amerika, shinjite kuretara, koishii yo)
```

[Verse 2]

|G > C D |G D E- B-

雑誌は大阪が一番って誰が文句だ？(Zasshi wa Oosaka ga ichiban tte dare ga monku da?)

C G C D

高市がハゲでも,クシを売ってな (Takaichi ga hage demo, kushi wo utte na)

G D E- B-

デブのオッサン,賢い女、酔って聞くを見た (Debu no ossan, kashikoi onna, yotte kiku wo mita)

C G C D

Whats your name？った「二万円だわ」その女答えた(What your Name?tta"Ni-man en da wa"sono jo kotaeta)

C G D G

そのままの俺らを受け入れ、言うで (Sono mama no orera wo ukeire, iu de)

C G D D

次の総理を見せな,祝福してやるぜ。なんちゃって(Tsugi no souri wo misena,shukufuku shite yaru ze.

G D E- B- C Nanchatte!)

アメリカ,信じてくれたら,恋しいよ (Amerika, shinjite kuretara, koishii yo)

|G > C D |G D E- B- C

アメリカ、信じてくれたら、恋しいよ (Amerika, shinjite kuretara, koishii yo)

[The Sushiro Breakdown - Spoken Word]

|G > C D | G

"I want to have that wonderful omakase course!"

D

「おい,回転の安いマグロ,出してくれ」("Oi, kaiten no yasui maguro, dashite kure.")

E-

"Yeah, that's really great!"

「そうだな、あれ一万円よ」 ("Sou da na, are ichi-man yo.")

"Here you go!"

B-

まあまあ,円だよ,ダラーじゃない,やりすぎ,このアホ(Maa, maa,Yen da yo,doraa ja nai,yarisugi,kono ahou)

[Outro]

G D E- B- C

アメリカ… ラララ・ララ・ララ (Amerika... Ra ra ra - ra ra - ra ra)

|G > C D |G D E- B- C G

Inaka Life: Real and Imagined
ふるさとの姿: 現実と夢物語

これまで政府や体制の連中を散々クソミソにこき下ろしてきましたけれど、それでもやはり、都市という空間には何か魔法のような魅力があることは認めざるを得ないのだわ。
日本中の若者たちが、こぞって東京や大阪へと吸い寄せられていくのには、ちゃんとした理由があるのですわね。私はどこの国であろうと「田舎(いなか)」という場所を深く愛していますけれど、そこには特有の問題が山積みであることも、認めざるを得ないのだわ。このセクションに収録されているいくつかの楽曲は、まさにそうしたテーマを掘り下げているのですわね。
厄介なのは、政府のシステムと全く同じで、利己的な権力が一箇所に集中しすぎると、その構造自体がいとも簡単に崩壊してしまうということなのだわ。今この瞬間でさえ、あの自民党(LDP)の連中ときたら、地方都市からさらに資金を搾取して、東京での自分たちの身勝手な欲望を満たそうと画策しているのだから、本当に救いようがないわね。
そんなやり方で、国が豊かになるわけがないのだわ。「上げ潮はすべての船を等しく持ち上げなければならない」――発展というものは、等しく全体を潤すべきなのよ。今の田舎は、現状よりもっとずっと、真っ当で報われる扱いを受けてしかるべきなんじゃないかしら。

ふるさとの恋（Dixieland Delight by Alabama）

これがプロジェクトのきっかけの曲だわ。山陰線に乗った時、私が子供の頃によく行ったアメリカの田舎にとても似ていると気づきましたの。本当にそっくりですわね。だから、カントリーの言葉だけじゃなく、その感情も日本の田舎に合わせて翻訳できないかしら、と思いましたわ。

Intro **G D E- C x2**

[Verse I]

G D
田んぼの間の、砂利道を（Tanbo no aida no, jari-michi o）
E- C
片手ハンドル（Katate handoru）
G D
空いた手で、おめえを抱いて（Aita te de, omee o daite）
E- C
胸ドキドキ する(Mune doki-doki suru)
E- D
働きすぎた， 小遣い持って(Hatarakisugita, Kozukai motte)
E- C
茨城の土曜の夜（Ibaraki no doyō no yoru）
G D
いい塩梅だっぺ，おいらの天使…（Ii anbe dappe, Oira no tenshi...）
C- G
ふるさとの恋（Furusato no koi）

[Chorus]

D
銭を使って（Zeni o tsukatte）
E- C
筑波の影で、月が照らす（Tsukuba no kage de, tsuki ga terasu）
G D
ぎゅっと抱いて愛を語って（Gyutto daite, Ai o katatte）
E- C
誰も知らない、場所が秘密（Dare mo shiranai, basho ga himitsu）
G D
おいらの、生きがいさ（Oira no, ikigai sa）

C- G

ふるさとの恋 (Furusato no koi)

[Solo over verse chords]

[Verse 2]

```
                                  G                    D
闇に光るは、カモシカの目 (Yami ni hikaru wa, kamoshika no me)
                                E-                 C
トンビ止まった、枝の上 (Tonbi tomatta, eda no ue)
                                     G               D
まるまるタヌキ、カエルの歌 (Maru-maru tanuki, kaeru ga utai)
                                  E-                   C
吹き抜けるさ、 自由な風 (fukinukeru sa, Jiyū na kaze)


                                     E-          D
地元のあの娘、めんこい娘 (Jimoto no anoko, menkoi ko)
                               E-                      C
祭りの夜は、終わらねぇ (Matsuri no yoru wa, owaranee)
                                  G           D
運がいいだっぺ、天国さ (Un ga ii dappe, tengoku sa)
                      C-        G
ふるさとの恋 (Furusato no koi)
```

[Chorus]

```
                        D
銭を使って (Zeni o tsukatte)
                                     E-                    C
筑波の影で、月が照らす (Tsukuba no kage de, tsuki ga terasu)
                                  G             D
ぎゅっと抱いて愛を語って (Gyutto daite, Ai o katatte)
                                E-                               C
誰も知らない、場所が秘密 (Dare mo shiranai, basho ga himitsu)
                             G           D
おいらの、生きがいさ (Oira no, ikigai sa)
                      C-        G
ふるさとの恋 (Furusato no koi)
```

ふるさと （Old Kentucky Home by Johnny Cash / Randy Newman）

これは、私が今までで一番好きな曲の一つだわ。ある生活への懐かしさと、現実には多くの人にとってその生活がどれだけ問題が多かったかを比べていますの。３番目の歌詞は元の曲にはなくて、私が自分で付け加えましたわね。都会と田舎のギャップが、日本でその懐かしさを生み出す大きな理由になっているんじゃないかしら、と感じたからですわ。

[Intro]

```
                              D
メタノールに、どぶろく（Metanooru ni, doburoku）
                        D              G
気分は最高、絶好調（Kibun saikou, zekkou-chou）
                           G                 D
電線のカラス、ぶっ放せ（Densen no karasu, buppanase）
                         A                  D
空気銃で、仕留めるぜ（Kuuki-juu de, shitomeru ze）
                              G                D
腹も頭も、に大火事だ（Hara mo atama mo,ni oo-kaji da）
                             A                      D
天まで昇る、俺が死んだら（Ten made noboru, ore ga shindara）
[Verse 1: 妹のお花 - Sister O-Hana]
                          D
妹の花、チビデブ（Imouto Hana, chibi debu）
                             D         G
背は伸びず、横出た（Se wa nobizu, yoko deta）
                             G                       D
袋は「普通」と、庇うや （Fukuro wa ”futsuu” to, kabau ya）
                                      A                       D
親父は「べっぴん」、ただの盲（めくら（Oyaji wa ”beppin”, tada no mekura）
                             G                       D
夜しか外には、出さねぇが（Yoru shika soto ni wa, dasanee ga）
                                    A                 D
俺はいいのさ、気楽なもんだ（Ore wa ii no sa, kiraku na mon da）
```

[Chorus]

```
                  D     A       D
兎追いし、かの山 (Usagi oishi, kano yama)
                           A                          D
若造どもは、転がってる (Wakazou-domo wa, korogatteru)
                    D       A         D
小鮒釣りし、かの川 (Kobuna tsurishi, kano kawa)
                           A               D
貧乏神、あっち行け (Binbou-gami, acchi ike)
```

[Verse 2: 兄貴の次郎 - Brother Jirou]

```
                                D
兄貴の次郎、バカでクズ (Aniki no Jirou, baka de kuzu)
                                   D             G
喋る言葉も、持っちゃいず (Shaberu kotoba mo, motcha izu)
                     G                D
女を毎日、殴ってた (Onna wo mainichi, nagutteta)
                                  A                 D
だけどあいつは、逃げ出した (Dakedo aitsu wa, nigedashita)
                           G              D
袋 階段、蹴り落とした (fukuro kaidan, keri-otoshi-ta)
                             A                 D
それでも俺は、構わねぇや (Soredemo ore wa, kamawanee-ya)
```

[Chorus]

```
                  D     A       D
兎追いし、かの山 (Usagi oishi, kano yama)
                           A                          D
若造どもは、転がってる (Wakazou-domo wa, korogatteru)
                    D       A         D
小鮒釣りし、かの川 (Kobuna tsurishi, kano kawa)
                           A               D
貧乏神、あっち行け (Binbou-gami, acchi ike)
```

[Verse 3: 服部の叔父貴 - Uncle Hattori]

```
                          D
服部の叔父貴、東京で (Hattori no ojiki, Tokyo de)
                     D             G
```

背広着込んで、勤め (Sebiro kikonde, tsutome)

```
                    G             D
```
俺と同じ、飲んだくれ (Ore to onaji, nondakure)
```
                           A              D
```
なのに俺を、ゴミと見て (Nano ni ore wo, gomi to mite)
```
                     G                 D
```
平和だぜ、この田舎は (Heiwa da ze, kono inaka wa)
```
                           A              D
```
あいつの、知ったことか！ (Aitsu no, shitta koto ka!)

[Chorus]
```
                 D     A       D
```
兎追いし、かの山 (Usagi oishi, kano yama)
```
                           A                        D
```
若造どもは、転がってる (Wakazou-domo wa, korogatteru)
```
                   D       A         D
```
小鮒釣りし、かの川 (Kobuna tsurishi, kano kawa)
```
                           A              D
```
貧乏神、あっち行け (Binbou-gami, acchi ike)

[Intro]
```
                            D
```
メタノールに、どぶろく (Metanooru ni, doburoku)
```
                    D              G
```
気分は最高、絶好調 (Kibun saikou, zekkou-chou)
```
                      G                D
```
電線のカラス、ぶっ放せ (Densen no karasu, buppanase)
```
                     A                 D
```
空気銃で、仕留めるぜ (Kuuki-juu de, shitomeru ze)
```
                           G                D
```
腹も頭も、に大火事だ (Hara mo atama mo,ni oo-kaji da)
```
                          A                       D
```
天まで昇る、俺が死んだら (Ten made noboru, ore ga shindara)

[Chorus]
```
                 D     A       D
```
兎追いし、かの山 (Usagi oishi, kano yama)

A D
若造どもは、転がってる (Wakazou-domo wa, korogatteru)
D A D
小鮒釣りし、かの川 (Kobuna tsurishi, kano kawa)
A D
貧乏神、あっち行け (Binbou-gami, acchi ike)

軽トラのこと（Something　‘bout a Truck by Kip Moore）

アメリカの多くの場所で、軽トラックがようやく公道を走れるようになってきたところなのだわ。
この本に詰まっている他の『素晴らしい文化』も、その流れに続いてくれると嬉しいんですわね。
ええ、きっとそう遠くない未来に、現実になるんじゃないかしら。

[VERSE 1]

D　　G
軽トラのこと…田んぼの間（Kei-tora no koto...Tanbo no aida）
D　　A
「入るな」の看板，読まなかった（”Hairuna” no kanban, Yomanakatta）
D　　G
誰も知らない…なら、しょうがねぇな。（Daremo shiranai... Nara, shō ga nee na.）
|D　A　　|D
軽トラのこと…田んぼの間。（Kei-tora no koto...Tanbo no aida.）

[VERSE 2]

D　　G
クーラーの中…サッポロがある（Kūrā no naka... Sapporo ga aru）
D　　A
暑かったら，絶対に飲む（Atsukattara, Zettai ni nomu）
D　　G
荷台の上…夏の夜。（Nidai no ue...Natsu no yoru）
|D　A　　|D
クーラーの中…サッポロがある。（Kūrā no naka...Sapporo ga aru.）

[VERSE 3]

D　　G
浴衣を着てる…彼女のこと（Yukata wo kiteru...Kanojo no koto）
D　　A
その唇に,あのサッポロ（Sono kuchibiru ni, Ano Sapporo）
D　　G
その田んぼで，大人になろう（Sono tanbo de, Otona ni narou）
|D　A　　|D
浴衣を着てる…彼女のこと。（Yukata wo kiteru...Kanojo no koto.）

[VERSE 4]

D G
キスをしたら…もう少しする（Kisu wo shitara...Mou sukoshi suru）
D A
荷台の上，誰も見えぬ（Nidai no ue, Dare mo mienu）
D G
自然なことだ，もちろん分かる（Shizen na koto da, Mochiron wakaru）
|D A |D
キスをしたら…もう少しする。（Kisu wo shitara...Mou sukoshi suru.）
[CHORUS]
軽トラのこと…田んぼの間よサッポロ飲む女と楽しめよう
D B- G
(Kei-tora no koto...Tanbo no aida yo Sapporo nomu jo to Tanoshimeyou)
D A
キスが欲しいぜ！(Kisu ga hoshii ze!)
君も俺も蜂の受粉よ神のおかげで、バッチリだぞ
D B- G
(Kimi mo ore mo, Hachi no jufun yo, Kami no okage de, bacchiri da zo!)
D A D
運じゃないだろ！軽トラのこと…！（Un janai daro! Kei-tora no koto...!）
[VERSE 5]
D G
田舎の川…朝二時くらい（Inaka no kawa...Asa niji kurai）
D A
あの彼女と，ヌード泳ぎたい（Ano kanojo to, Nūdo oyogitai）
D G
ビール飲んだから，それしよう、絶対（Bīru nonda kara, Sore shiyō, zettai）
|D A |D
田舎の川…朝二時くらい。（Inaka no kawa... Asa niji kurai.）
[CHORUS]
軽トラのこと…田んぼの間よサッポロ飲む女と楽しめよう
D B- G
(Kei-tora no koto...Tanbo no aida yo Sapporo nomu jo to Tanoshimeyou)
D A
キスが欲しいぜ！(Kisu ga hoshii ze!)

君も俺も蜂の受粉よ神のおかげで、バッチリだぞ
D B- G
(Kimi mo ore mo, Hachi no jufun yo, Kami no okage de, bacchiri da zo!)
D A D
運じゃないだろ！軽トラのこと…！ (Un janai daro! Kei-tora no koto...!)

白塗りの娘（Tennessee Flat Top Box by Johnny Cash）

私がここでやっているのと同じように、伝統的（でんとうてき）な世界に現代のアイデアを重ね合わせるのが大好きなのだわ。若い舞妓（まいこ）さんが三味線（しゃみせん）でロックンロールを弾く姿は、無視（むし）するにはあまりにも素晴らしすぎましたわね。その最高の組み合わせに、あなたも夢中になってしまうんじゃないかしら。

[Intro] **|A| |D |**

[VERSE 1] **D**

提灯灯る、京都のお茶屋で（Chōchin tomoru, Kyōto no ochaya de）

A

三味線抱えた、白塗りの娘（Shamisen kakaeta, shironuri no musume）

D

東京から、スーツの群れが（Tōkyō kara, sūtsu no mure ga）

A

仕事サボり、電車で行って、集まった（Shigoto sabori, densha de itte, atsumatta）

D **A**

聞きに来た、旅をして（Kiki ni kita, tabi wo shite）

D

ロックンロール弾く、白塗りの娘（Rokkunrōru hiku, shironuri no musume）

G

そして、弾いた…！(Soshite, hiita...!)

[4 bar solo]

[VERSE 2] **D**

舞も踊れず、酒も注げない（Mai mo odorezu, sake mo tsugenai）

A

重いバチ持ちゃ、朝まで止まらない（Omoi bachi mocha, asa made tomaranai）

D **A**

ガキもジジイ、客はみんな（Gaki mo jijii, kyaku wa minna）

D

指と足鳴らし、「アンコール」叫んだ（Yubi to ashi narashi, ”ankōru” sakenda）

A

魅了され、虜になった（Miryō sare, toriko ni natta）

D

ロックンロール弾く、白塗りの娘（Rokkunrōru hiku, shironuri no musume）

G

そして、弾いた…！（Soshite, hiita...!）

[Another 4 bar solo]

[VERSE 3]

D

ある日彼女は、消えていなくなり（Aru hi kanojo wa, kiete inakunari）

A

風のように去り、あの町で忘れられ(Kaze no yō ni sari, ano machi de wasurerari）

D **A**

でも彼女は、皆の夢の中（Demo kanojo wa, mina no yume no naka）

D

ドアが閉まるまで、路地裏にいた（Doa ga shimaru made, rojiura ni ita）

A

あと、いつか、ラジオから（Ato, itsuka, rajio kara）

D

ロックンロール弾く、白塗りの娘（Rokkunrōru hiku, shironuri no musume）

G

そして、弾いた…！（Soshite, hiita...!）

[One more solo to end]

子供はダメさ（The Kids Aren't Alright by The Offspring）

この曲の最初のアイデアは、ディズニープラスとあのちゃんのおかげで再び世間（せけん）の注目（ちゅうもく）を集めていることもあって、押見修造（おしみ しゅうぞう）の『惡の華（あくのはな）』に重ね合わせることだったのだわ。舞台（ぶたい）はそのまま群馬（ぐんま）の田舎（いなか）にしているけれど、私はもう少しみんなが共感（きょうかん）できるようにアレンジしてみましたわね。結局（けっきょく）のところ、政府（せいふ）の失敗（しっぱい）によって町が廃（すた）れていくというのは、決して大都市（だいとし）だけの問題（もんだい）ではないんじゃないかしら。

[Verse 1]

B-
この山町、生きていた（Kono yama machi, ikite ita）
G
店が全部、死ぬ前さ（Mise ga zenbu, shinu mae sa）
D
中学の、ガキの群れ（Chuugaku no, gaki no mure）
A
田舎の掟、壊すぜ（Inaka no okite, kowasu ze）
B-
空を見る、たびに誓う（Sora wo miru, tabi ni chikau）
G
ここで死なない、ここを出向く（Koko de shinanai, koko wo demuku）
D
どうやって、この町みんあに（dou yatte kono machi minna ni）
A
打ちのめされた？（uchinomesareta?）

[CHORUS]

B-
投げ捨てた（Nagesuteta）
G
タダじゃねぇ（Tada ja ne-e）
D **A**
昔を（想う）、辛いぜ（Mukashi wo (omou), tsurai ze）
B-
見えない（Mienai）
G
かしら（Kashira）

D A
悲惨な（青春)、本当だ（Hisan na (seishun), hontou da)
[Verse2]
B-
ケンジの腕は、もうダメ（Kenji no ude wa, mou dame)
G
工場勤務で、嫌だぜ（Koujou kinmu de, iya da ze)
D
ユカは妊娠、高校中退（Yuka wa ninshin, koukou chuutai)
A
パチンコ横の、ボロ屋住まい（Pachinko yoko no, boroya zumai)
B-
サトシは鍵かけ、人生忘れ（Satoshi wa kagi kake, jinsei wasure)
G
引きこもりで、二度と出れねー（Hikikomori de, nido to derene-e)
D
何 が 起きているんだ（Nani ga okiterun da)
A
現実は悪魔さ（Genjitsu wa akuma sa)
[CHORUS]
B-
投げ捨てた（Nagesuteta)
G
タダじゃねぇ（Tada ja ne-e)
D A
昔を（想う)、辛いぜ（Mukashi wo (omou), tsurai ze)
B-
見えない（Mienai)
G
かしら（Kashira)
D A
悲惨な（青春)、本当だ（Hisan na (seishun), hontou da)
[CHORUS]
B-
投げ捨てた（Nagesuteta)

G
タダじゃねぇ (Tada ja ne-e)
D A
昔を (想う)、辛いぜ (Mukashi wo (omou), tsurai ze)
B-
見えない (Mienai)
G
かしら (Kashira)
D A
悲惨な (青春)、本当だ (Hisan na (seishun), hontou da)

生臭坊主とイノシシ（The Preacher and the Bear by a lot of different people）

これは祖父（そふ）の一番お気に入りの曲だったのだわ。差別的（さべつてき）なバージョンも多かったけれど、マシなものもありましたわね。仏教（ぶっきょう）や神道（しんとう）に「洗礼（せんれい）」のぴったりな言葉はないけれど、私は「灌頂（かんじょう）」ならジョークが伝わるくらいには十分近いんじゃないかしらと思いましたの。

[Verse 1]

```
                              D                    G
生臭坊主が歩いた、日曜の朝（Namagusa bouzu ga aruita, nichiyou no asa）
                          D                   A
戒律破って、弓持ち歩いた（Kairitsu yabutte, yumi mochi aruita）
                              D                        G
キジとウサギを撃ち、抱える獲物（Kiji to usagi wo uchi, kakaeru emono）
                                   D                       G     A   D
帰り道で出会った,イノシシあったぞ！（Kaerimichi de deatta, inoshishi atta zo!）
```

[Verse 2]

```
                          D                G
イノシシ座って、唸り声（Inoshishi suwatte, unarigoe）
                          D                   A
坊主は震えて、桜の木の上（Bouzu wa furuete, sakura no ki no ue）
                           D               G
イノシシ立って、牙を剥き（Inoshishi tatte, kiba wo muki）
                            D                       G     A   D
坊主は空見ながら、これ叫び（Bouzu wa sora mitenagara, kore sakebi）
```

[Chorus]

```
                            D
鬼ヶ島の商人、救った観音な（Onigashima no shounin, sukutta Kannon na）
                                                      A
賽の河原の子供、救った地蔵様（Sai-no-kawara no kodomo, sukutta Jizou-sama）
                        D                G
極楽約束、読んだお経（Gokuraku yakusoku, yonda okyou）
                    D
俺を助けないなら（Ore wo tasukenai nara）
                          G          A     D
あのバケ助けるなよ！（ano bake tasukeru na yo!）
```

[Verse 3]

```
                              D                        G
イノシシ木を突き、坊主は怒り (Inoshishi ki wo tsuki, bouzu wa ikari)
                           D                    A
一番上まで、登って止まり (Ichiban ue made, nobotte tomari)
                         G                G
枝が折れて、転げ落ちる (Eda ga orete, koroge ochiru)
                                D                            G     A     D
地面の前に、彼のナイフを抜く！ (Jimen no mae ni, kare no naifu wo nuku!)
```

[Verse 4]

```
                         D                   G
右へ左へ、切りつけ戦い (Migi e hidari e, kiritsuke tatakai)
                                D                   A
ナイフに牙が、刺さってヤバい (Naifu ni kiba ga, sasatte yabai)
                           D                   G
ナイフを捨てて、後ずさり (Naifu wo sutete, atozusari)
                           D                    G         A  D
イノシシ迫り、坊主は叫び (Inoshishi semari, bouzu wa sakebi)
```

[Chorus]

```
                               D
鬼ヶ島の商人、救った観音な (Onigashima no shounin, sukutta Kannon na)
                                                              A
賽の河原の子供、救った地蔵様 (Sai-no-kawara no kodomo, sukutta Jizou-sama)
                        D                   G
極楽約束、読んだお経 (Gokuraku yakusoku, yonda okyou)
                    D
俺を助けないなら (Ore wo tasukenai nara)
                           G          A     D
あのバケ助けるなよ！ (ano bake tasukeru na yo!)
```

[Verse 5]

```
                         D                   G
川まで戦い、坊主は無事 (Kawa made tatakai, bouzu wa buji)
                      D                   A
水に三回、沈む二人 (Mizu ni sankai, shizumu futari)
```

D G
イノシシは起きて、岸へ歩く（Inoshishi wa okite, kishi e aruku）
D G A D
川の真ん中、坊主が叫ぶ（Kawa no mannaka, bouzu ga sakebu）
[Punchline]
D
鬼ヶ島の商人、救った観音な（Onigashima no shounin, sukutta Kannon na）
A
賽の河原の子供、救った地蔵様（Sai-no-kawara no kodomo, sukutta Jizou-sama）
D G
神様,天から見れば,大したことねぇが(Kamisama, ten kara mireba, taishita koto ne-e ga）
D G A D
一番きつい仕事,イノシシへの灌頂さ！(Ichiban kitsui shigoto,inoshishi e no kanjou sa!）

北海道の冬の歌（Valley Winter Song by Fountains of Wayne）

北海道が本当に恋しいのだわ。なんとかして時間（とお金）をひねり出して、また絶対に戻らなければいけませんわね。すすきので唯一のレズビアンバーに腰を下ろして、ママが作ってくれる完璧（かんぺき）なハムチーズカツをいただく……ああ、本当に恋しくてたまらないんじゃないかしら。

[Intro] G B- C x2

[Verse I]

```
                          E-          C          G
ねぇ由美ちゃん、落ち込まない（Ne-e Yumi-chan, ochikomana）
                  D                          A
夏はもうすぐ、来る（Natsu wa mou sugu, kuru）
                                C           D     B-         C
ラッセル車通って、線路は埋ま（Rasseru-sha tootte, senro wa uma）
                              A-                      C
太陽は月に、隠れてる（Taiyou wa tsuki ni, kakureteru）
                        G           C             D       G
パパが言ったね、子供の時（Papa ga itta ne, kodomo no toki）
                              B                       C
待つ者は福が、来ると（Matsu mono wa fuku ga, kuru to）
                                C      G      C          G
休んでお願い、深呼吸したい（Yasunde onegai, shinkokyuu shitai）
                       A-                 C
今夜駅前で、会おう（Konya ekimae de, aou）
```

[Chorus]

```
                          D
そして雪が降り（Soshite yuki ga furi）
                     C           G
この北海道街（Kono Hokkaidou machi）
                          D                   A-
一日中降っているな？(Ichinichijuu futteiru na?)
                                C      D       C        E-
いつものこと、何をしよう？(Itsumo no koto, nani wo shiyou?)
                  C
冬の歌書いた（fuyu no uta kaita）
                       G
これ君の。(Kore kimi no.)
```

[Interlude] G B- C x2

[Verse 2]

```
                  E-            C      G
十二月末、落ち込むぜ (Juunigatsu sue, ochikomu ze)
                  D                     A
腹にその感じだな (Hara ni sono kanji da na)
                       C          D           B-        C
短い午後をただゴロゴロと (Mijikai gogo wo tada gorogoro to)
                                 A-                      C
暗い家の中、窓閉じたまま (Kurai ie no naka, mado tojita mama)
                     G         C        D     G
すすきの街、覚えてる？(Susukino machi, oboeteru?)
          B                      C
冬が道をゆく (Fuyu ga michi wo yuku)
                    C      G     C        G
大通から、石狩まで (Odori kara, Ishikari made)
                        A-                   C
あの道を白く染める (Ano michi wo shiroku someru)
```

[Chorus]

```
                        D
そして雪が降り (Soshite yuki ga furi)
                    C           G
この北海道街 (Kono Hokkaidou machi)
                        D                 A-
一日中降っているな？(Ichinichijuu futteiru na?)
                                C      D       C        E-
いつものこと、何をしよう？(Itsumo no koto, nani wo shiyou?)
                 C
冬の歌書いた (fuyu no uta kaita)
                    G
これ君の。(Kore kimi no.)
```

[Chorus/outro]

```
                        D
そして雪が降り (Soshite yuki ga furi)
```

```
                    C            G
この北海道街（Kono Hokkaidou machi）
                           D                  A-
一日中降っているな？(Ichinichijuu futteiru na?)
                                C      D       C        E-
いつものこと、何をしよう？(Itsumo no koto, nani wo shiyou?)
                  C
冬の歌書いた（fuyu no uta kaita）
                    G
これ君の。(Kore kimi no.)
```

健二さん（The Ballad of Curtis Loew by Lynyrd Skynyrd）

長い間、年代物の立派なお箏（こと）を手に入れて、たしなんでみたいと思っていたのだわ。
でも、その費用と場所の確保を正当化する理由なんて、到底（とうてい）見つからないんですわね。代わりに、安くて小さな十三弦の古箏（グーチェン）を持っていて、似たような音色は出せるのだけれど……やっぱり、あの大きくて本物のお箏を手に入れて、泥臭（どろくさ）いブルースをかき鳴らしてやりたいんじゃないかしら。

[Intro]G A- C G

[Verse 1]

```
                          G                D
電車動く前で、目を覚まし（Densha ugoku mae de, me wo samashi）
                      G                       C              A
百円玉探す、自販機の下に（Hyakuen dama sagasu, jihanki no shita ni）
                          G                       D
コンビニの角へと、持っていく（Conbini no kado e to, motte iku）
                      C                       C      G
老人の空鉢に、投げ入れる（Roujin no karabachi ni, nageireru）
                       G             D             C        G
健二は静かで、銀色の髪が（Kenji wa shizuka de, giniro no kami ga）
                              G           D          A-           G
ワンカップ飲めば、気にしないのさ（Wankappu nomeba, ki ni shinai no sa）
                      G             D        C          G
膝の上に置く、古い箏立て（Hiza no ue ni oku, furui koto date）
                      G             D          A-           G
百円渡せば、一日中弾くで（Hyaku-en wataseba, ichinichijuu hiku de）
```

[Chorus]

```
                          C                   G
歌ってくれ、健二さん、健二さん（Utatte kure, Kenji-san, Kenji-san）
                          C                   G
酒代はあるぜ、箏鳴らせじゃん（Sakedai wa aru ze, koto narase jaan）
                          C                          G        A
浮浪者と呼ぶ奴は、ただの馬鹿（Furousha to yobu yatsu wa, tada no baka）
                                  G             A-           C       G
健二じいちゃんは世界一の箏弾きだ（Kenji-jii-chan wa sekai-ichi no kotohiki da）
```

[Verse 2]

G D C G
健二は七十歳くらい,俺は十歳だけ (Kenji wa nanajuu-sai kurai, ore wa juusai dake)
G D A- C
母はダメと言うが、会うの止めねぇ (Haha wa dame to iu ga, au no tomenee)
G D C G
爪は使わず、弦を押し切る (Tsume wa tsukawazu, gen wo oshikiru)
G D A- G
古い歌弾いて、安い日本を酒飲む (Furui uta hiite, yasui nihonshu wo nomu)

[Chorus]

C G
歌ってくれ、健二さん、健二さん (Utatte kure, Kenji-san, Kenji-san)
C G
酒代はあるぜ、箏鳴らせじゃん (Sakedai wa aru ze, koto narase jaan)
C G A
浮浪者と呼ぶ奴は、ただの馬鹿 (Furousha to yobu yatsu wa, tada no baka)
G A- C G
健二じいちゃんは世界一の箏弾きだ (Kenji-jii-chan wa sekai-ichi no kotohiki da)

[Verse 3]

G D C G
夏の暑さで、彼が死んだ日 (Natsu no atsusa de, kare ga shinda hi)
G D A- C
誰も泣かずに、道が綺麗になり (Dare mo nakazu ni, michi ga kirei ni nari)
G D C G
ファミマの明かりで、あの音色思う (Famima no akari de, ano neiro omou)
G D A- G
酒飲んで今夜も,上手く弾いてるだろう (Sake nonde konya mo, umaku hiiteru darou)

[Chorus] C G
歌ってくれ、健二さん、健二さん (Utatte kure, Kenji-san, Kenji-san)
C G
酒代はあるぜ、箏鳴らせじゃん (Sakedai wa aru ze, koto narase jaan)
C G A
浮浪者と呼ぶ奴は、ただの馬鹿 (Furousha to yobu yatsu wa, tada no baka)
G A- C G
健二じいちゃんは世界一の箏弾きだ (Kenji-jii-chan wa sekai-ichi no kotohiki da)

大分の道(Country Roads by John Denver)

皮肉なことに、この曲はおそらく私がわざわざ翻訳する必要なんてまったくなかった、唯一の楽曲なのだわ。なぜなら、日本にいる人間でさえ全員が知っているほどクソ有名な曲ですし、それに何より、すでに誰か別の人間が翻訳してしまっているからですわね。とはいえ、私自身が手がけたバージョンのほうが、遥（はる）かに気に入っておりますの。誰が何と言おうと、私の訳のほうが最高なんじゃないかしら。

[Intro] G E- C D

[Verse 1]

```
                    G              E-
天国みたい、大分の景色（Tengoku mitai, Oita no keshiki）
                          D               C       G
かぼす酒も、とり天美味しい（Kabosu-shu mo, Toriten oishii）
                    G              E-
いい生活、待っているさ（Ii seikatsu, matteiru sa）
                          D                     C     G
その県に戻って、行かなくちゃ（Sono ken ni modotte, ikanakucha）
```

[Chorus]

```
          G          D
カントリー・ロード、で行こう（Kantorii roodo, de ikou）
     E-     C
大分県、までよ（Oita-ken, made yo）
    G          D
九州天気、みんな元気（Kyuushuu tenki, minna genki）
      C              G
行こうよ、カントリー・ロード（Ikou yo, kantorii roodo）
```

[Verse 2]

```
                G         E-
記憶が、そこにある（Kioku ga, soko ni aru）
                D               C        G
温泉煙、青空になる（Onsen kemuri, aosora ni naru）
             G            E-
山道、星明かり（Yamamichi, hoshiakari）
                           D                     C          G
気持ちがいいな、その焼酎の麦（Kimochi ga ii na, sono shouchuu no mugi）
```

[Chorus]

```
          G           D
カントリー・ロード、で行こう (Kantorii roodo, de ikou)
     E-     C
大分県、までよ (Oita-ken, made yo)
    G           D
九州天気、みんな元気 (Kyuushuu tenki, minna genki)
      C               G
行こうよ、カントリー・ロード (Ikou yo, kantorii roodo)
```

[Bridge]

```
                     E-        D       G
朝の声が、俺を呼んでる (Asa no koe ga, ore wo yonderu)
                           C        G        D
ラジオ聴けば、故郷を想う (Rajio kikeba, furusato wo omou)
                    E-         A-        C           G
車走らせ、ふと感じる (Kuruma hashirase, fu to kanjiru)
                                  D               D
昨日帰れば、よかったと… (Kinou kaereba, yokatta to...)
```

[Chorus]

```
          G           D
カントリー・ロード、で行こう (Kantorii roodo, de ikou)
     E-     C
大分県、までよ (Oita-ken, made yo)
    G           D
九州天気、みんな元気 (Kyuushuu tenki, minna genki)
      C               G
行こうよ、カントリー・ロード (Ikou yo, kantorii roodo)
```

[Outro]

```
                                      D            G
行こうよ、カントリー・ロード… (Ikou yo, kantorii roodo...)
```

Indices

By Japanese Song Title

赤い天使（Singin’ in Vietnam Talkin’ Blues by Johnny Cash）62
朝から晩まで（9 to 5 by Dolly Parton）83
足の指（Toes by Zac Brown Band）166
アタシ出して（Centerfield by John Fogerty）207
アナタハンの島（Hotel California by The Eagles）78
姉川（The Battle of New Orleans by Johnny Horton）86
網走九六ブルース（Folsom Prison Blues by Johnny Cash）186
尼崎事件（The Wreck of the Old ’97 by Johnny Cash）173
アメリカ（America by Falco）214
一撃を撃て！（Hit Me With Your Best Shot – Pat Benetar）203
いろな人（All Kinds of Kinds by Miranda Lambert）16
馬にお茶よ！(Beer for my Horses by Toby Keith and Willie Nelson）66
右翼の女王（Viva La Vida by Coldplay）40
江戸の華（Like A Rock by Bob Seeger）106
大分の道（Country Roads by John Denver）239
オォリリ（Sweet Annie by Zak Brown Band）133
犯してくれ（Rape Me by Nirvana）115
覚えとけ、高遠！（Remember the Alamo– Johnny Cash and Jane Bowers）89
俺たちの火じゃねぇ（We Didn’t Start the Fire - The Sengoku Cut）100
小野田（Ira Hayes by Johnny Cash）52
外人なのに（Pretty Fly for a White Guy by The Offspring）29
火事の湖（Lake of Fire by Nirvana / The Meat Puppets）117
「カズ」の残骸（The Wreck of the Edmund Fitzgerald by Gordon Lightfoot）91
風亡霊武者（Ghost Riders in the Sky by Johnny Cash / Stan Jones）71
壁（The Wall, by Johnny Cash）10
神奈川女子（California Girls by The Beach Boys）151
キッコーマン（2 become 1 by The Spice Girls）97
君へ,どこでも（For Emily, Wherever I May Find Her by Simon and Garfunkel）136
気楽にな（Take it Easy by The Eagles）81
クレイジー（Crazy by Patsy Cline / Willie Nelson）126
軽トラのこと（Something ‘bout a Truck by Kip Moore）223

健二さん（The Ballad of Curtis Loew by Lynyrd Skynyrd）237
国府（Kokomo by The Beach Boys）163
牛頭流のなみ（God Only Knows by the Beach Boys）153
ここ大好き（I Love This Bar by Toby Keith）146
子供はダメさ（The Kids Aren't Alright by The Offspring）228
桜新幹線（The City of New Orleans by Willie Nelson）183
サザン オールスターズ（Mountain Music by Alabama）160
サソリ（Mad Woman by Taylor Swift）36
参政党の馬鹿（American Idiot by Green Day）24
詩織を追いかけな（Waterfalls by TLC）196
車掌さん（Hey Porter by Johnny Cash）179
白塗りの娘（Tennessee Flat Top Box by Johnny Cash）226
真実は一つ（What Is Truth by Johnny Cash）210
スウィート・ホーム・広島（Sweet Home Alabama by Lynyrd Skynyrd）205
滑るぜ（I Get Around by The Beach Boys）212
諏訪之瀬島（If you're going to San Francisco – by Scott McKenzie）60
戦争の主（Masters of War by Bob Dylan）39
ゾンビ（Zombie by The Cranberries）22
高市さん（Mrs. Robinson by Simon and Garfunkel）43
タダで働けよ！（Why Don't You Get a Job by The Offspring）33
地下鉄の壁の詩（A Poem on the Underground Wall by Simon and Garfunkel）181
茅ヶ崎（Surf City by Jan and Dean）155
茅ヶ崎女子（California Gurls by Katy Perry ft. Snoop Dog）157
ティーンエイジャーの魂のような匂い（It smells like Teen Spirit, by Nirvana）119
哲也と言う人（The Hero of Canton by Ben Edlund）27
闘牛 –（Rodeo, by Garth Brooks）189
どうしても知りたいというなら（For What It's Worth by Buffalo Springfield）12
飛び加藤（Secret Agent Man by Johnny Rivers）76
なぎら健壱（Buddy Holly by Weezer）48
生臭坊主とイノシシ（The Preacher and the Bear by a lot of different people）231
虹の終わりのキス（A Kiss at the End of the Rainbow by Mitch & Mickey）138
日本の子供（Kids in America by Kim Wilde）19
ハナの母（Stacy's Mom by Fountains of Wayne）131

一人のオランダ人船員（One Tin Soldier by Coven）56
無事で（Safe and Sound by Taylor Swift and the Civil Wars）104
降っている、日曜の朝が（Sunday Morning Comin’ Down by Johnny Cash）112
ふるさと（Old Kentucky Home by Johnny Cash / Randy Newman）219
ふるさとの恋（Dixieland Delight by Alabama）217
変態野郎（Creep by Radiohead）110
崩壊の前（Eve of Destruction by Barry McGuire）14
北海道の冬の歌（Valley Winter Song by Fountains of Wayne）234
ボロ着物（Coat of Many Colors by Dolly Parton）69
毎日（二〇五〇問題）（Everyday by Buddy Holly）46
真夜中（I go out walking after midnight – by Patsy cline）127
耳かき（Light my Fire by The Doors）142
武者だ（The Warrior by Scandal）73
メキシコのワイン（Mexican Wine by Fountains of Wayne）199
恵まれた歩兵（Fortunate Son by Creedence Clearwater Revival）201
申し訳ない（All Apologies by Nirvana）122
奴らを引き離せ（Come Out and Play by The Offspring）94
山川に（All Kinds of Time by Fountains of Wayne）192
山手線（I’ve Been Everywhere by Johnny Cash）175
リーチ麻雀（The Gambler by Kenny Rogers）194
リカ（Brandy [You’re a Fine Girl] by Looking Glass）128
リコーのカメラ（Kodachrome by Paul Simon）140
リチウム（Lithium by Nirvana）123
竜宮城（Catch a Wave by the Beach Boys）170
レモンサワー町（Margaritaville by Jimmy Buffet）148

By English Song Title

2 become 1（キッコーマン）by The Spice Girls 97
9 to 5（朝から晩まで）by Dolly Parton 83
A Kiss at the End of the Rainbow（虹の終わりのキス）by Mitch & Mickey 138
A Poem on the Underground Wall（地下鉄の壁の詩）by Simon and Garfunkel 181
All Apologies（申し訳ない）by Nirvana 122
All Kinds of Kinds（いろな人）by Miranda Lambert 16
All Kinds of Time（山川に）by Fountains of Wayne 192
America（アメリカ）by Falco 214
American Idiot（参政党の馬鹿）by Green Day 24
Beer for my Horses（馬にお茶よ！）by Toby Keith and Willie Nelson 66
Brandy [You’re a Fine Girl]（リカ）by Looking Glass 128
Buddy Holly（なぎら健壱）by Weezer 48
California Girls（神奈川女子）by The Beach Boys 151
California Gurls（茅ヶ崎女子）by Katy Perry ft. Snoop Dog 157
Catch a Wave（竜宮城）by the Beach Boys 170
Centerfield（アタシ出して）by John Fogerty 207
Coat of Many Colors（ボロ着物）by Dolly Parton 69
Come Out and Play（奴らを引き離せ）by The Offspring 94
Country Roads（大分の道）by John Denver 239
Crazy（クレイジー）by Patsy Cline / Willie Nelson 126
Creep（変態野郎）by Radiohead 110
Dixieland Delight（ふるさとの恋）by Alabama 217
Eve of Destruction（崩壊の前）by Barry McGuire 14
Everyday（毎日（二〇五〇問題））by Buddy Holly 46
Folsom Prison Blues（網走九六ブルース）by Johnny Cash 186
For Emily, Wherever I May Find Her（君へ,どこでも）by Simon and Garfunkel 136
For What It’s Worth（どうしても知りたいというなら）by Buffalo Springfield 12
Fortunate Son（恵まれた歩兵）by Creedence Clearwater Revival 201
Ghost Riders in the Sky（風亡霊武者）by Johnny Cash / Stan Jones 71
God Only Knows（牛頭流のなみ）by the Beach Boys 153
Hey Porter（車掌さん）by Johnny Cash 179
Hit Me With Your Best Shot（一撃を撃て！）by Pat Benetar 203

Hotel California（アナタハンの島）by The Eagles 78
I Get Around（滑るぜ）by The Beach Boys 212
I go out walking after midnight（真夜中）by Patsy cline 127
I Love This Bar（ここ大好き）by Toby Keith 146
If you’re going to San Francisco（諏訪之瀬島）by Scott McKenzie 60
Ira Hayes（小野田）by Johnny Cash 52
It smells like Teen Spirit（ティーンエイジャーの魂のような匂い）by Nirvana 119
I’ve Been Everywhere（山手線）by Johnny Cash 175
Kids in America（日本の子供）by Kim Wilde 19
Kodachrome（リコーのカメラ）by Paul Simon 140
Kokomo（国府）by The Beach Boys 163
Lake of Fire（火事の湖）by Nirvana / The Meat Puppets 117
Light my Fire（耳かき）by The Doors 142
Like A Rock（江戸の華）by Bob Seeger 106
Lithium（リチウム）by Nirvana 123
Mad Woman（サソリ）by Taylor Swift 36
Margaritaville（レモンサワー町）by Jimmy Buffet 148
Masters of War（戦争の主）by Bob Dylan 39
Mexican Wine（メキシコのワイン）by Fountains of Wayne 199
Mountain Music（サザン オールスターズ）by Alabama 160
Mrs. Robinson（高市さん）by Simon and Garfunkel 43
Old Kentucky Home（ふるさと）by Johnny Cash / Randy Newman 219
One Tin Soldier（一人のオランダ人船員）by Coven 56
Pretty Fly for a White Guy（外人なのに）by The Offspring 29
Rape Me（犯してくれ）by Nirvana 115
Remember the Alamo（覚えとけ、高遠！）by Johnny Cash and Jane Bowers 89
Rodeo（闘牛）by Garth Brooks 189
Safe and Sound（無事で）by Taylor Swift and the Civil Wars 104
Secret Agent Man（飛び加藤）by Johnny Rivers 76
Singin’ in Vietnam Talkin’ Blues（赤い天使）by Johnny Cash 62
Something ‘bout a Truck（軽トラのこと）by Kip Moore 223
Stacy’s Mom（ハナの母）by Fountains of Wayne 131
Sunday Morning Comin’ Down（降っている、日曜の朝が）by Johnny Cash 112

Surf City（茅ヶ崎）by Jan and Dean 155
Sweet Annie（オォリリ）by Zak Brown Band 133
Sweet Home Alabama（スウィート・ホーム・広島）by Lynyrd Skynyrd 205
Take it Easy（気楽にな）by The Eagles 81
Tennessee Flat Top Box（白塗りの娘）by Johnny Cash 226
The Ballad of Curtis Loew（健二さん）by Lynyrd Skynyrd 237
The Battle of New Orleans（姉川）by Johnny Horton 86
The City of New Orleans（桜新幹線）by Willie Nelson 183
The Gambler（リーチ麻雀）by Kenny Rogers 194
The Hero of Canton（哲也と言う人）by Ben Edlund 27
The Kids Aren't Alright（子供はダメさ）by The Offspring 228
The Preacher and the Bear（生臭坊主とイノシシ）by a lot of different people 231
The Wall（壁）by Johnny Cash 10
The Warrior（武者だ）by Scandal 73
The Wreck of the Edmund Fitzgerald（「カズ」の残骸）by Gordon Lightfoot 91
The Wreck of the Old ' 97（尼崎事件）by Johnny Cash 173
Toes（足の指）by Zac Brown Band 166
Valley Winter Song（北海道の冬の歌）by Fountains of Wayne 234
Viva La Vida（右翼の女王）by Coldplay 40
Waterfalls（詩織を追いかけな）by TLC 196
We Didn't Start the Fire（俺たちの火じゃねぇ）100
What Is Truth（真実は一つ）by Johnny Cash 210
Why Don't You Get a Job（タダで働けよ！）by The Offspring 33
Zombie（ゾンビ）by The Cranberries 22

後書き

これが普通のまともな本じゃないことくらい、百も承知よ。あなたが最初から最後まで律儀に通して読んできたとも思っていないけれど……まあ、そういうことにしておいてあげるわね。

ここまで来れば、あなたは私のことを……たとえ「私」が一体何者なのか分からなくても……ずいぶんと知ってしまったはずなのだわ。きっと色々な推測を巡らせているのでしょうね。当たっている部分もあるでしょうし、大外れしている部分もたくさんあるはずよ。

まあ、そんなことはどうでもいいのだけれど。もちろん、あなたが梶芽衣子や村重杏奈ご本人だと言うなら話は別ですけれどね。

誤解しないでほしいのだけれど、私は日本の政府「だけ」を特別に憎んでいるわけじゃないの。少なくとも、アメリカ政府に對する嫌悪感に比べれば可愛いものなのだわ。もし私が韓国語を話せたなら、彼らの言語でも同じように大量の歌を翻譯して、あの国の政府について名譽毀損レベルの悪口をたっぷり書き連ねていたはずよ。もし私がロシア語を話せたなら……そうね……おそらく今頃はもうこの世にはいないでしょうから。……しょうがないわね。

ここから先は、心からの本心よ。お願いだから、これらの歌を演奏してちょうだい。公園でも、バーでも、抗議デモの最中でも、ライブ配信でも、場所なんてどこだって構わないわ。これはあなたの歌であり、私たちの歌であり、みんなの歌なのだわ。世界中どこにいても人間は皆同じなのだと……少なくとも、あなたのいる小さな世界にだけでも、それを示してあげてちょうだい。

(ちなみに言っておくけれど、私は普段からこんな言葉遣いをしているわけじゃないの。ただ、この本の收錄曲にはあまりにも無骨で男臭いものが多すぎるから、せめてフレーバーテキストくらいは「お嬢様」風に味付けして、バランスを取るべきだと思っただけなのだわ)

それでは、心ゆくまで樂しんで。

……そして、体制側の連中が何かくだらない呪文を仕掛けてきた時に備えて、いつでも「島」を 2 枚、アンタップ狀態のまま殘しておくことを、絕對に忘れないでちょうだいね。

－ 蜂の子ハスラー

－ The Hachinoko Hustler－

この機械はファシストを殺す
This Land is Your Land

[Intro] A D A D

[Verse 1]

```
                                    G                  D
この島お前の、僕の島も（Kono shima omae no, boku no shima mo）
                                 A                D
沖縄から、北の北海道（Okinawa kara, kita no Hokkaidou）
                             G                   D
竹の森から、温かい海（Take no mori kara, atatakai umi）
               A                    D
僕らのための島（Bokura no tame no shima）
```

[Verse 2]

```
                              G              D
湘南の道、歩く時（Shounan no michi, aruku toki）
                                       A              D
茅ヶ崎の歌、聞こえる響き（Chigasaki no uta, kikoeru hibiki）
                                    G            D
見上げた空は終わらない海（Miageta sora wa owaranai umi）
               A                    D
僕らのための島（Bokura no tame no shima）
```

[Verse 3]

```
                                    G           D
歩いて歩いて、足跡を追い（Aruite aruite, ashiato wo oi）
                                    A                D
島根のビーチ、夕日の匂い（Shimane no biichi, yuuhi no nioi）
                                      G            D
宮島の鳥居、浮かんでる海（Miyajima no torii, ukanderu umi）
               A                    D
僕らのための島（Bokura no tame no shima）
```

[Verse 4]

```
                                      G                   D
九州の山を、越えて行く道（Kyuushuu no yama wo, koete iku michi）
```

A D
別府の温泉、湯けむりの街 (Beppu no onsen, yukemuri no machi)
G D
霧が晴れゆく、歌が鳴る海 (Kiri ga hareyuku, uta ga naru umi)
A D
僕らのための島 (Bokura no tame no shima)

[Verse 5]

G D
ネオンが光る、夜を歩き (Neon ga hikaru, yoru wo aruki)
A D
山手周り、都会の響き (Yamanote mawari, tokai no hibiki)
G D
電車が轟く、新しい波 (Densha ga todoroku, atarashii nami)
A D
僕らのための島 (Bokura no tame no shima)

[Verse 6]

G D
この島お前の、僕の島も (Kono shima omae no, boku no shima mo)
A D
沖縄から、北の北海道 (Okinawa kara, kita no Hokkaidou)
G D
竹の森から、温かい海 (Take no mori kara, atatakai umi)
A D
僕らのための島 (Bokura no tame no shima)

[Verse 7]

G D
都会の広場、教会の影に (Tokai no hiroba, kyoukai no kage ni)
A D
深い田舎で、仲間に会い (Fukai inaka de, nakama ni ai)
G D
みんなぼやいて、心に問い (Minna boyaite, kokoro ni toi)
A D
まだ俺たちの、島そうかな…… (Mada oretachi no, shima sou kana.....)

つづく